Printia LASER

B5WY-0901-04

Printia LASER XLシリーズ

取扱説明書

ページプリンタ XL-9500

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。
富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

● VCCI 適合基準について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。本製品は、突入電流がありますので、無停電電源装置（UPS）などに接続しないでください。故障するおそれがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●漏えい電流自主規制について

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950）の漏えい電流基準に適合しております。

●電源高調波について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

●本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

●レーザ規格について

本製品は、危険なレーザ光を出さない「クラスⅠ」のレーザシステムです。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

クラス1レーザ製品

●本製品の粉塵、オゾン、スチレンの拡散について

本製品の粉塵、オゾン、スチレンの拡散については、エコマーク No.122 「プリンタ Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。
トナーは本製品にて推奨しておりますトナーカートリッジを使用し、印刷を行った場合について、試験方法：JBMS-66 に基づき試験を実施しております。
推奨トナーカートリッジについては、「サプライ品一覧」（224 ページ）をご覧ください。

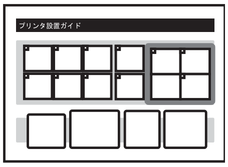
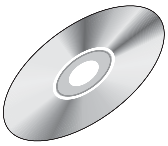
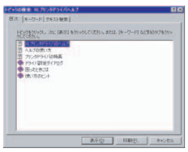
はじめに

このたびは、弊社のページプリンタ XL-9500 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
XL-9500 は最大 50 ページ／分の高速印刷が可能なページプリンタです。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらについて説明しています。
本書に従って正しく取り扱い、本プリンタを有効にご利用ください。
なお、本書で使用する画面表示例では、プリンタ名を XL-XXXX と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。機種やソフトウェアのバージョン、OS によっては表示内容が一部異なることがあります。

2008 年 4 月

マニュアルの種類

本プリンタでは、次のマニュアルを用意しています。目的に応じて参照してください。

	**設置ガイド** 同梱品のご案内と箱を開けてから印刷できるまでの手順および取扱説明書での参照先を紹介しています。まず、この設置ガイドを見て同梱品を確認してください。
	**取扱説明書** プリンタの設置と運用について、基本的なことを説明した印刷物です。 同じ内容の PDF ファイルが、添付の CD-ROM に収められています。
	**オンラインマニュアル（PDF）** 添付の CD-ROM 内にソフトウェア編、取扱説明書等、機能ごとにいくつかの PDF ファイルが収められています。 本製品の設置・運用に必要な手順および本プリンタの持つすべての機能について説明しています。
	**オンラインヘルプ** 「オンラインヘルプ」では、プリンタドライバのプロパティ、および添付ソフトウェアの各機能について調べることができます。ヘルプを参照するには、次の 2 つの方法があります。 ・[?] をクリックする ・各画面にある［ヘルプ］ボタンをクリックする

マニュアルの構成

本プリンタのマニュアルの構成を以下に説明します。

取扱説明書

●セットアップ編

目次	内容
第 1 章　　お使いになる前に	本プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明しています。
第 2 章　　プリンタ本体の設置	プリンタ本体の設置方法からプリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明しています。
第 3 章　　オプションの装着	オプションの取り付け方について説明しています。

●運用編

目次	内容
第 4 章　　日常の操作	本プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明しています。
第 5 章　　オペレータパネルの操作	プリンタの液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明しています。
第 6 章　　用紙について	本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかたについて説明しています。
第 7 章　　こんなときには	故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明しています。
付録	本プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明しています。

オンラインマニュアル

目次	内容
ソフトウェア編	プリンタ設置後、パソコンから印刷を行えるようにするまでの手順や、プリンタドライバや添付ソフトウェアの使い方などの、ソフトウェアに関することがらについて説明しています。 主な記載内容： ・プリンタドライバのインストール手順 ・プリンタを共有するときの設定方法 ・プリンタドライバの機能と利用方法 ・プリンタ管理ソフトウェアの使い方 ・Web ブラウザからのプリンタの状態参照や設定方法 ・プリンタドライバ、添付ソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項
エミュレーション編	本プリンタをエミュレーションモード（ESC/P モード）で印刷する場合の設定方法について説明しています。

章構成についての詳細は、オンラインマニュアルを参照してください。

オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されている CD-ROM に、PDF ファイルとして収録されています。
PDF ファイルの内容を参照するには、「Adobe Reader」というソフトウェアが必要です。お使いのパソコンに「Adobe Reader」がインストールされていない場合は、本製品添付の CD-ROM からインストールしてください。

● Adobe Reader のインストール

添付の CD-ROM から次の手順で Adobe Reader をインストールすることができます。

1 添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、Printianavi インストーラが自動的に起動したら[Adobe Reader]をクリックする

Adobe Reader のインストーラが起動します。
画面の指示に従ってインストールを行ってください。

ガイド

- Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の「Adreader」フォルダにある「Adrdr.exe」をダブルクリックし、インストールを行ってください。
- Adobe Reader は PDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Adobe Reader は、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
- 最新版の Adobe Reader の入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。
  アドビシステムズ社　URL：http://www.adobe.com/jp/
  ※上記 URL は、本書発行時点でのものです。

●オンラインマニュアルの使いかた

オンラインマニュアルは、Adobe Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

1 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

Printianavi インストーラが自動的に起動します。

> **ガイド**
>
> Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM ドライブ直下の xlsetup.exe（CD-ROM ドライブが D: のときは「D:¥xlsetup.exe」）を実行するか、CD-ROM の「Manual」フォルダにある「Index.pdf」をエクスプローラから開き、3 に進んでください。

2 ［オンラインマニュアル］をクリックする

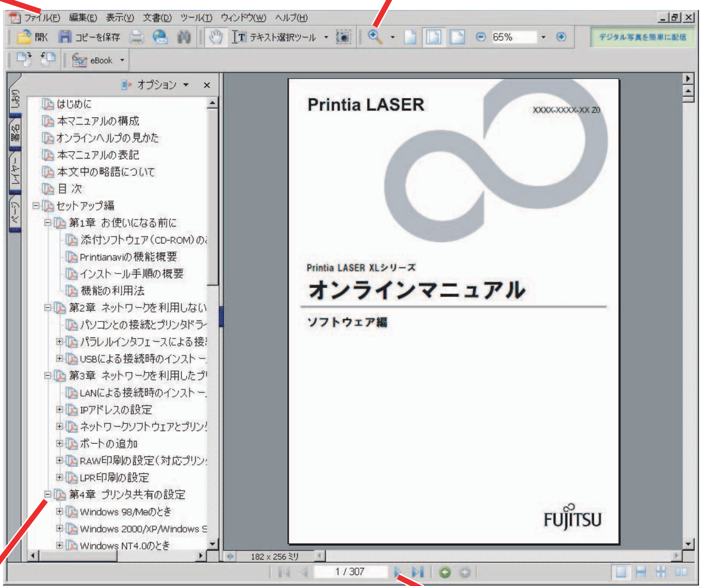
Adobe Reader が起動し、オンラインマニュアルの表紙が表示されます。

3 参照するマニュアル名をクリックする

マニュアルの本文は、次のような画面となります。

メニューバー
プルダウンメニューから印刷やAdobe Readerのヘルプの表示などを行うことができます。

ツールバー
をクリックすると表示を拡大します。
また、検索などの操作を行うことができます。



しおり
見出しをクリックすると、そのページを表示します。
⊞が表示されている場合、これをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

ステータスバー
をクリックすると次のページを表示します。

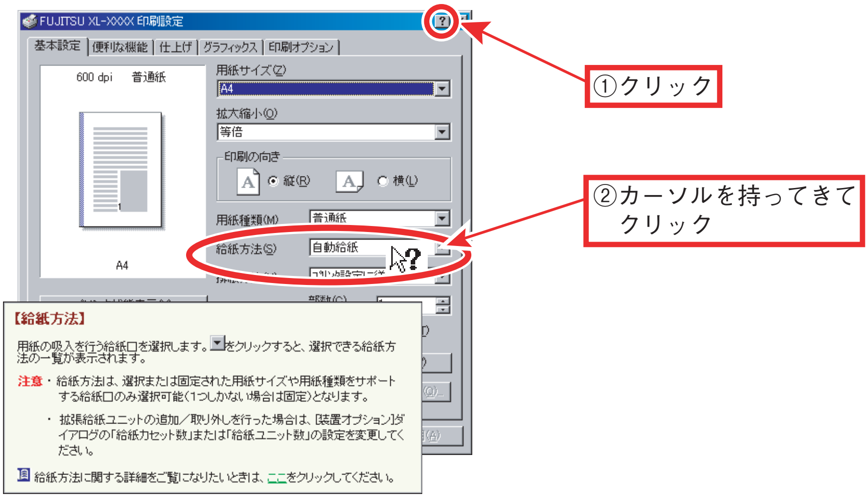
オンラインヘルプの見かた

オンラインヘルプを参照する方法を、以降に示します。

[?] をクリックする

ダイアログの右上にある ? をクリックするとカーソルの形が ? に変わります。その状態のまま、説明が必要な項目をクリックするとダイアログ上にポップアップウィンドウが表示されます。
また、項目の上でマウスを右クリックしても表示することができます。
? は、Windows Vista/Windows Server 2008 環境では表示されません。

（例）給紙方法についてのヘルプを見る場合



[ヘルプ] ボタンをクリックする

[ヘルプ] ボタンがあるダイアログで [ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのダイアログに関する詳細なヘルプが表示されます。
詳しい利用方法については、ヘルプの［目次］の「ヘルプの使いかた」を参照してください。

製品に関する注意事項

ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳細は、本文をよくお読みになったうえで本プリンタを正しくお使いください。

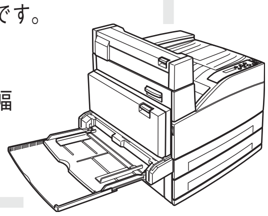
製品寿命（耐用期間）について

本プリンタの耐用期間（寿命）は、以下のいずれか早いほうです。

- ・200万ページ印刷（A4サイズ横送り）
- ・5年（8時間/日）

注）耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。

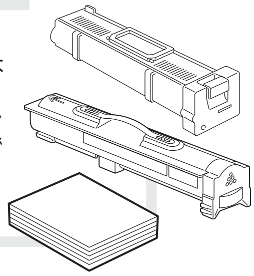
参照「プリンタの基本仕様」（216 ページ）参照



サプライ品（消耗品）について

ドラムカートリッジやトナーカートリッジ、用紙などは、本プリンタ専用の純正サプライ品をお使いください。
非純正サプライ品をお使いになったことによる、製品のトラブル、誤動作については当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

参照「サプライ品一覧」（224 ページ）参照



定期交換部品について

定期交換部品の交換時期の目安は以下になります。

・定着器	約30万ページ印刷
・定期交換キットA	約6万枚印刷
・定期交換キットB	約30万ページ印刷
・定期交換キットC	約30万ページ印刷

上記は、A4サイズ横送り/片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期がずれることがあります。

参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照

オンラインマニュアルについて

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されているCD-ROMに、PDFファイルとして収録されています。

参照「オンラインマニュアルの見かた」（3 ページ）参照



プリンタドライバのバージョンを確認する方法

本プリンタに関するお問合せをするときに、お問い合わせの内容によってプリンタドライバのバージョンを聞かれる場合があります。
プリンタドライバのバージョンをご確認のうえ、お問い合わせください。

参照『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照



本マニュアルの表記

本マニュアルでは、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

お願い	本製品を正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。操作する前に必ずお読みください。
ガイド	本製品を使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。必要に応じてお読みください。
参照	本書内で参照していただきたい参照先を示します。
参照	本プリンタに添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」に収められている『XL-9500 オンラインマニュアル』内の参照先を示します。

本文中の略語について

各製品を以下のように略記しています。

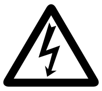
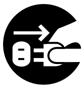
製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise	Windows Server 2008
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition	
Windows Vista® Ultimate	Windows Vista
Windows Vista® Home Premium	
Windows Vista® Home Basic	
Windows Vista® Business	
Windows Vista® Enterprise	
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 Server	
Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me
Microsoft® Windows® 98	Windows 98
Microsoft® Windows® 95	Windows 95
Microsoft® Windows® Version 3.1	Windows 3.1
Adobe® Reader®	Adobe Reader

注：Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 のように併記する場合があります。

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⦸ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

設置および移動に関するご注意

⚠ 警告

次の場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。

- 火気のある場所
- ストーブやヒーター等の発熱器具に近い場所、高温になる場所
- アルコール、シンナー、ガソリン等の揮発性可燃物やカーテン等の燃えやすい物に近い場所
- 風呂場、シャワー室等の水場、水気のある場所

プリンタの上に次のような物を置かないでください。火災や感電の原因になります。

- 花瓶、植木鉢、コップ等の水や液体の入った容器
- クリップ、アクセサリー等の金属物

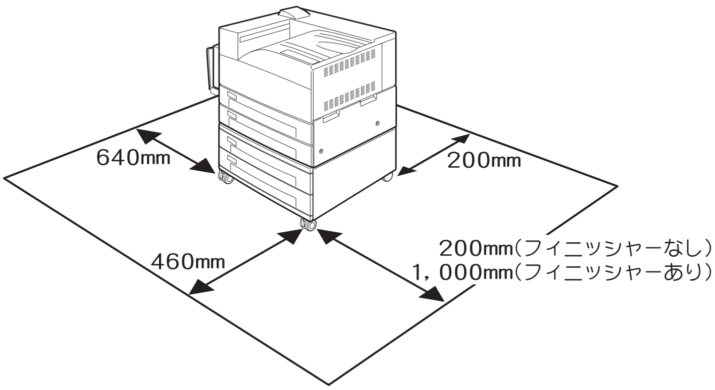
⚠ 注意

次の場所には設置しないでください。火災や感電、怪我の原因になります。

- 湿気・埃・油煙の多い場所
- 通気性の悪い場所
- 直射日光のあたる場所
- 振動の激しい場所や傾いた場所等の不安定な場所

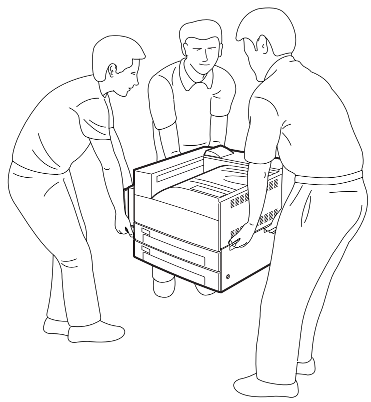
⚠ 注意

プリンタの通風口を塞ぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。プリンタの操作および消耗品の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。



本プリンタは、オプションや消耗品、用紙がない状態で約48.3kgあります。プリンタを動かす場合は必ず３人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、給紙トレイ両端の下部とプリンタ右側面にあるくぼみをしっかりと持ってください。指定場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

落下により怪我の原因になることがあります。



プリンタの重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

本プリンタは本体のみで約48.3kg、最大で約160kg（フルオプション、消耗品含む）の重さがあります。

注意

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下して怪我の原因になることがあります。

プリンタを移動する場合は、10度以上傾けないでください。

　　転倒などにより怪我の原因になることがあります。

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブル等も外してください。作業は足元には充分注意して行ってください。

　　電源コードが傷つき、火災や感電の原因になったり、本プリンタが倒れたりして怪我の原因になることがあります。

電源に関するご注意

警告

添付されている電源コード以外は使用しないでください。また、添付の電源コードは、他の製品に使用しないでください。

　　火災や感電の原因になります。

電源プラグは、交流100Ｖ、12Ａ以上のコンセント以外には差し込まないでください。本プリンタの定格電源は100Ｖ、12Ａです。また、タコ足配線はしないでください。

　　火災や感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また重い物を置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。

　　火災や感電の原因になります。

延長コードは、定格（125Ｖ、15Ａ）未満の物は使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

　　火災や感電の原因になります。

電源プラグおよびその周辺に埃が付着しているときは、乾いた布でよく拭いてください。

　　そのまま使用すると火災の原因になります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

　　埃が付いたりして、火災や故障の原因になります。

⚠ 警告

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

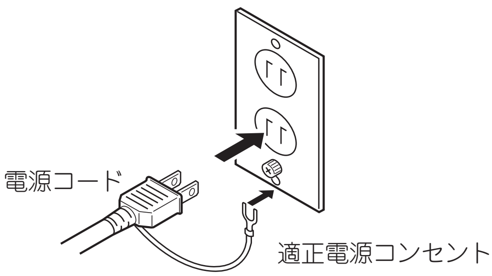
　感電の原因になります。

電源プラグから出ているアース線は、必ず次のいずれかに接続してください。

- 電源コンセントのアース線端子
- 銅片等を650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（第３種）を行っている接地端子

アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。またアース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。アース接続できない場合は「ハードウェア修理相談センター」（236ページ）にご連絡ください。

　アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災や感電の原因になります。



次のような箇所には絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチック等になっている場合は、アースの役目を果たしません。）

オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

　感電の原因になります。

近くで落雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて雷が治まるのを待ってください。

　入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し火災の原因になります。

⚠ 注意

プリンタの電源スイッチを入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因になることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり断線したりして、火災や感電の原因になることがあります。

１ヶ月に一度はプリンタの電源を切り、次のようなことを点検してください。

- **電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？**
- **電源プラグに異常な発熱および錆、変形などはありませんか？**
- **電源プラグやコンセントに埃が付いていませんか？**
- **電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか？**
- **アース線はアース接続端子に取り付けられていますか？**

なお異常があるときは、「ハードウェア修理相談センター」（236ページ）にご連絡ください。

長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのままにしておくと、劣化により火災や感電の原因になることがあります。

プリンタの清掃、保守および故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜かずに清掃や保守を行うと、火傷や感電の原因になることがあります。

取り扱いに関するご注意

⚠ 警告



プリンタに水を掛けたり、濡らしたりしないでください。

火災や感電の原因になります。

通風口等の開口部から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

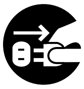
火災や感電の原因になります。

カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源スイッチを入れたりしないでください。

火災や感電の原因になります。

プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。

火災や故障の原因になります。



次のようなときは、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 発煙や発火、異臭、異常音がするなどの異常が発生したとき
- 異物（金属片、水などの液体）が内部に入ったとき
- プリンタを落としたり、カバーなどを破損したとき

その後「ハードウェア修理相談センター」（236ページ）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



プリンタ、オプション品、サプライ品（ドラムカートリッジ、トナーカートリッジなど）を分解したり改造したりしないでください。このマニュアルで指示している箇所以外のネジやカバーは絶対に外さないでください。

内部には電圧の高い部分があるため感電の原因になったり、レーザ光漏れにより失明する恐れがあります。



トナーカートリッジやドラムカートリッジを火中に投じないでください。

トナー粉が跳ねて火傷の原因になります。使用済みのトナーカートリッジやドラムカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。

参照 「使用済みカートリッジの回収サービス」（236ページ）参照

注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には絶対に触れないでください。

火傷の原因になることがあります。

つまった用紙を取り除くときは次のことをお守りください。

- 本書をよくお読みください。
- ネクタイやネックレス等がプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。
- 鋭利部に触れないよう注意してください。
- プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因になることがあります。
- 定着器やローラー部に用紙が巻き付いているときは、無理に取らないで直ちに電源を切り、「ハードウェア修理相談センター」（236ページ）にご連絡ください。

使用中のプリンタは布などで覆ったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因になることがあります。

プリンタ内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、怪我の原因になることがあります。

トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。

また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。

換気の悪い部屋で長時間ご使用になる場合や、大量印刷する場合は、充分な換気を行ってください。

用紙排出部のローラーが作動しているときは作動部には触れないでください。

指を挟み、怪我をする原因になることがあります。

トナーが目や口に入らないように注意してください。手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。

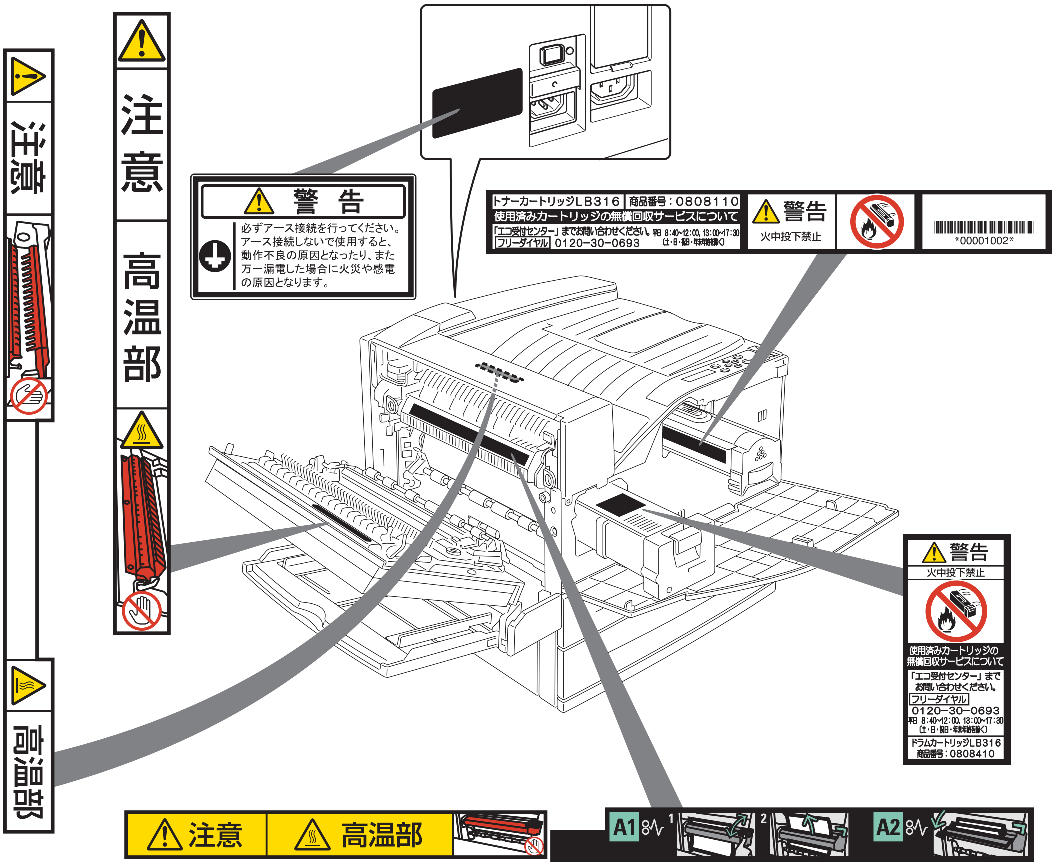
万一、目や口に入った場合は、直ちに医師と相談してください。

トナーカートリッジやドラムカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置

本プリンタを安全にお使いいただくために、以下のような警告ラベルおよび注意ラベルがプリンタ内部に貼ってあります。指示内容をよく読み安全にご利用ください。



目 次

セットアップ編

運　用　編

セットアップ編

第１章

お使いになる前に

この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本機の特長

本機の特長を示します。

1 高速で高品位な印刷

XL-9500は最大50ページ/分の高速印刷が可能です。また、1200dpiの高解像度で印刷できます。

2 ３つのポートに対応

USB2.0、パラレル、LAN の３つのポートを標準装備しており、各ポートの同時接続による運用が可能です。

3 高性能なプリンタドライバとネットワークソフトウェア

・プリンタドライバの設定により、N-up 印刷や拡大縮小印刷など、さまざまな印刷が可能です。
・Printianavi 機能を利用することにより、プリンタの状態表示、印刷中止、印刷完了通知などがパソコンで行えるようになります。
・ネットワークソフトウェアにより、LAN やインターネット環境への対応や複数のプリンタの管理を実現します。

参照　詳細は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

4 さまざまな用紙サイズに対応

定形では、最大 A3 サイズの用紙への印刷が可能です。また、はがき、ユーザ定義サイズといったさまざまな種類の用紙への印刷も可能です。

5 便利な機能

・給紙カセットごとに、自動給紙の指定（有効／無効）が可能です。(定形サイズ印刷時のみ)
・給紙カセットからのユーザ定義サイズの用紙への印刷が可能です。

6 優れた拡張性

次のオプションを用意しており、使用環境に合わせて機能を拡張することができます。
・２種類の拡張給紙ユニットを選べます。プリンタ本体と合わせて最大 3,500 枚の用紙をセットすることができます。(拡張給紙ユニット -B 使用時)
・フィニッシャーを取り付けることにより、最大 3,800 枚の排出容量、パンチ処理およびステープル処理ができます。

7 各種ユーティリティを添付

プリンタの状態監視、複数文書のまとめ印刷、帳票作成、バーコード印刷などを簡単に行える各種ユーティリティソフトウェアを添付しています。
※ 詳細は添付の CD-ROM を参照してください。

8 セキュリティ機能の充実

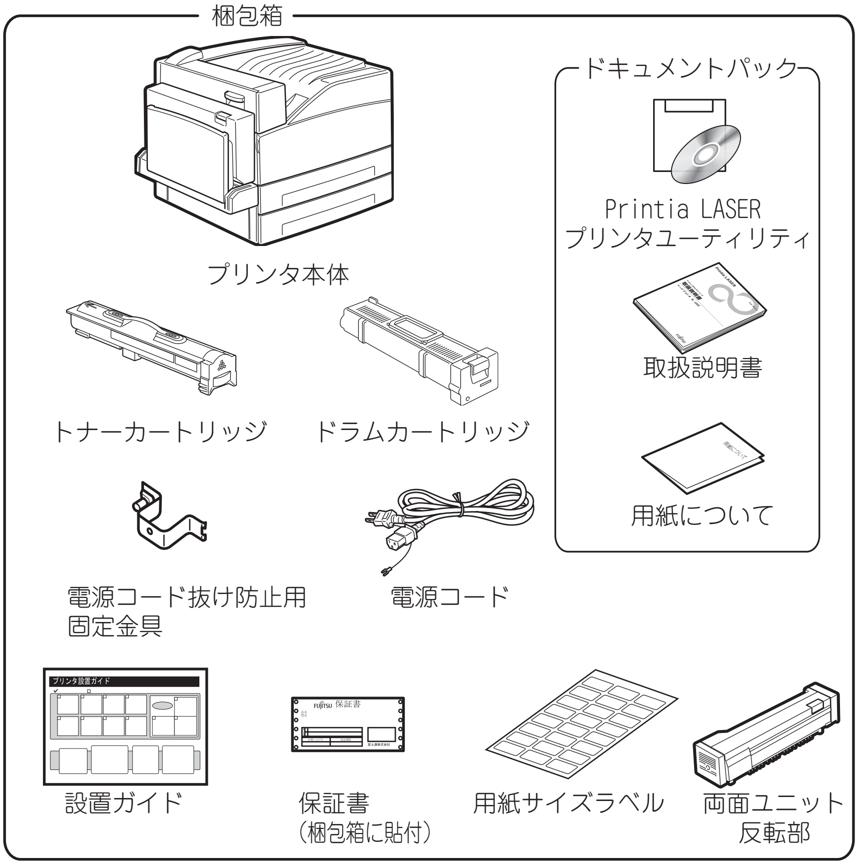
ネットワーク経由でプリンタを使用する場合、指定した IP アドレスのホストのみにプリンタへのアクセスを許可したり、管理者以外のユーザがプリンタの設定を勝手に変更したりできないようにするなどセキュリティ面でも優れた機能を持っています。

9 CIDR（サイダー）のサポート

IP アドレス空間を効率的に利用できる CIDR 技術に対応しています。

製品の確認（梱包されている製品）

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。
※プリンタは、必ず３人以上で持ち運んでください。



お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル（パラレルケーブル、USB ケーブル）は添付されていません。
別売ケーブルをお使いください。
参照 「プリンタケーブル」（69 ページ）参照

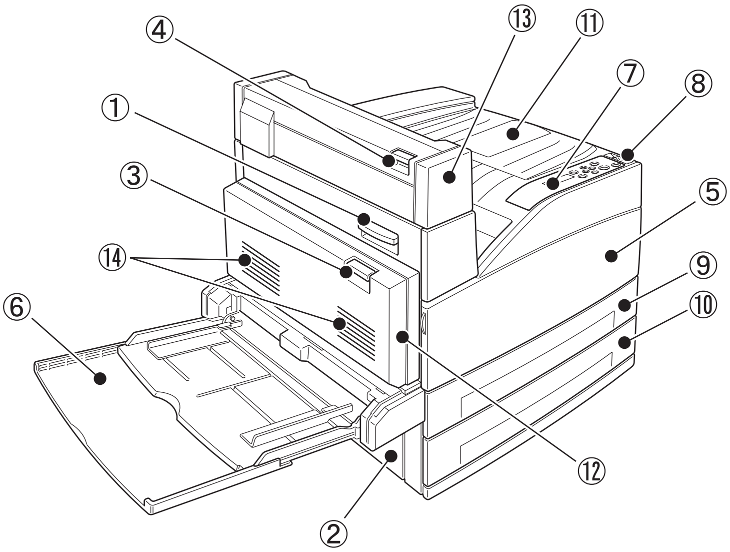
ガイド

移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

各部の名称と機能

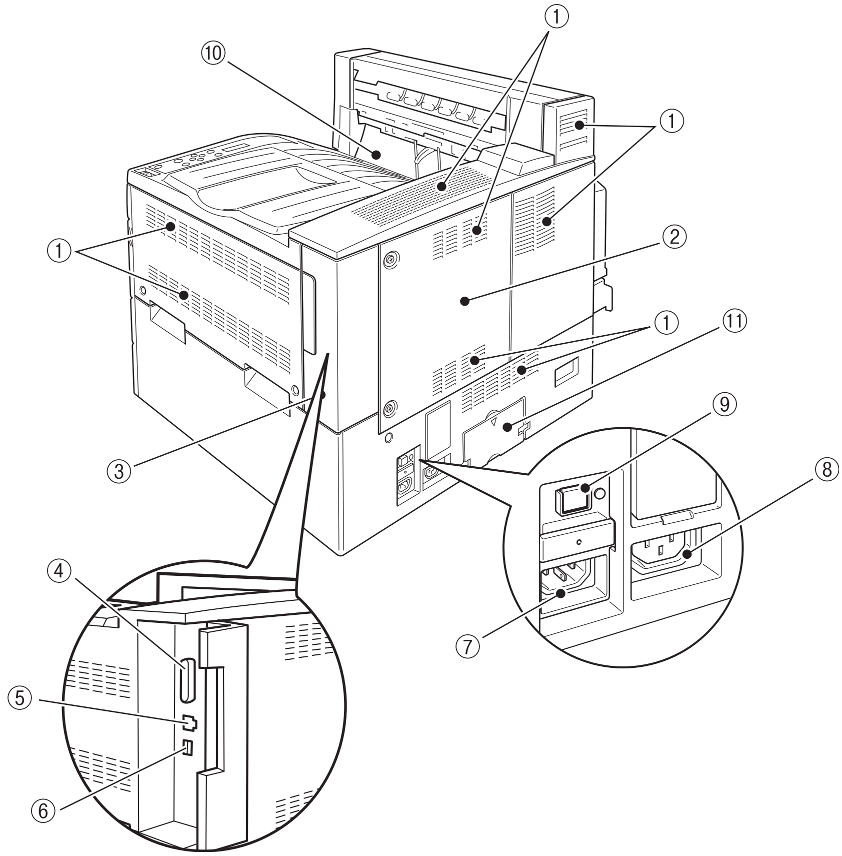
本製品の主要各部の名称と機能について説明します。

●前面



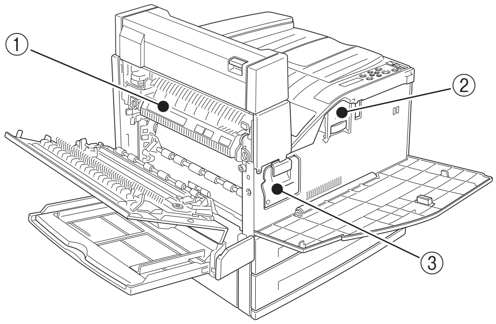
①	カバー A	つまった用紙を取り除くときに開けます。
②	カバー B	
③	カバー D	
④	カバー E	
⑤	フロントカバー	トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときに開けます。
⑥	給紙トレイ	はがき～ A3 までの用紙をセットできます。使用する際には開けてください。
⑦	オペレータパネル	操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。 参照「第 5 章　オペレータパネルの操作」(129 ページ)参照
⑧	電源スイッチ	電源を入／切します。
⑨	給紙カセット 1	A5 ～ A3 までの普通紙を 550 枚（64g/m^2 用紙の場合）セットできます。
⑩	給紙カセット 2	A5 ～ A3 までの用紙を 550 枚（64g/m^2 用紙の場合）セットできます。厚紙、ラベル紙、OHP フィルムにも対応しています。
⑪	補助ガイド	A3 や B4 などの用紙を排出するときに使用します。上に引き上げると使用できます。
⑫	両面ユニット	両面印刷を行うユニットです。
⑬	両面ユニット反転部	両面印刷を行うユニットです。オプションのフィニッシャーを取り付けたときはフェイスダウントレイにもなります。
⑭	通風口	プリンタ内部の過熱を防ぐため、熱が放出されます。通風口をふさがないでください。

●背面



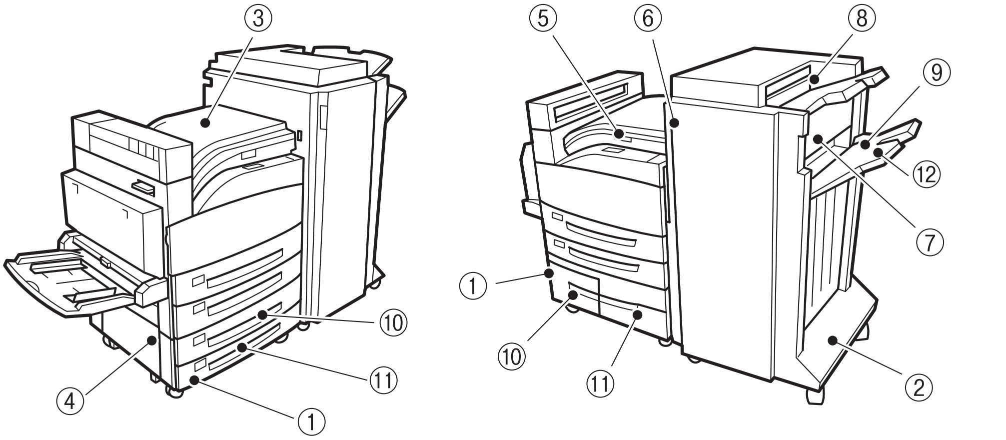
①	通風口	プリンタ内部の過熱を防ぐため、熱が放出されます。通風口をふさがないでください。
②	リアカバー	プリンタ RAM モジュールを取り付けるときに開けます。
③	コネクタカバー	インターフェースケーブルを接続するときに開けます。
④	パラレルケーブルコネクタ	プリンタとパソコンをパラレルインターフェースで接続するためのコネクタです。
⑤	LAN ケーブルコネクタ	プリンタとパソコンを LAN 経由で接続するためのコネクタです。
⑥	USB ケーブルコネクタ	プリンタとパソコンを USB インターフェースで接続するためのコネクタです。
⑦	電源コードコネクタ	電源コードを差し込むコネクタです。
⑧	オプション用電源コードコネクタ	フィニッシャーの電源コードを差し込むコネクタです。
⑨	リセットボタン	漏電を検知すると、自動的に解除されて電源を切ります。通常は操作しません。
⑩	排紙トレイ (フェイスダウントレイ)	印刷された用紙が、おもて面を下にして排出されます。
⑪	コネクタカバー	オプション用のコネクタカバーです。オプションを接続するときに開けます。

●内部



①	定着器	用紙にトナーを定着させるユニットです。プリンタ使用時や使用直後は、高温になっているので手を触れないように注意してください。
②	トナーカートリッジ	トナーが入っています。
③	ドラムカートリッジ	感光ドラム、現像部などで構成されるユニットです。

●オプション接続時



①	拡張給紙ユニット	オプションの拡張給紙ユニットです。 拡張給紙ユニット -A（左）、拡張給紙ユニット -B（右）
②	フィニッシャー	オプションのフィニッシャーです。大容量排紙、パンチ、ステープルを行うときに必要です。
③	フィニッシャー接続部	
④	カバー C	つまった用紙を取り除くときに開けます。
⑤	カバー F	
⑥	カバー G	つまった用紙を取り除くとき、ステープル針の補給やパンチ穴のクズを捨てるときに開けます。
⑦	カバー H	つまった用紙を取り除くときに開けます。
⑧	トップトレイ	印刷された用紙が、おもて面を下にして排出されます。オプションのフィニッシャーを装着したときに、使用できます。
⑨	スタッカトレイ	印刷された用紙が、おもて面を下にして排出されます。オプションのフィニッシャーを装着したときに、使用できます。パンチやステープルを行ったときは、ここに排出されます。
⑩	給紙カセット３	オプションの拡張給紙ユニットを装着したときに使用できます。$64g/m^2$ 用紙の場合の積載可能枚数は次のようになります。 ・拡張給紙ユニット -A：550 枚（A3 ～ A5 サイズ） ・拡張給紙ユニット -B：1,000 枚（A4、B5、レター）
⑪	給紙カセット４	オプションの拡張給紙ユニットを装着したときに使用できます。$64g/m^2$ 用紙の場合の積載可能枚数は次のようになります。 ・拡張給紙ユニット -A：550 枚（A3 ～ A5 サイズ） ・拡張給紙ユニット -B：1,300 枚（A4、B5、レター）
⑫	延長トレイ	A3、B4 サイズを排紙するときに引き出します。

添付ソフトウェア（CD-ROM）について

添付 CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」には、パソコンから印刷するために必要なプリンタドライバやネットワークで使用するために必要なソフトウェア、プリンタをより快適に使用するために便利な各種のソフトウェアが収録されています。
これらのソフトウェアは、Printianavi インストーラからインストールできます。Printianavi インストーラは、添付 CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットすると自動的に起動します。

ガイド

- Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。
- CD-ROM に収録されているソフトウェアの詳細は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」、および CD-ROM ドライブ直下にある「Readme.txt」を参照してください。

第２章

プリンタ本体の設置

この章では、プリンタ本体の設置方法と、プリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明します。

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

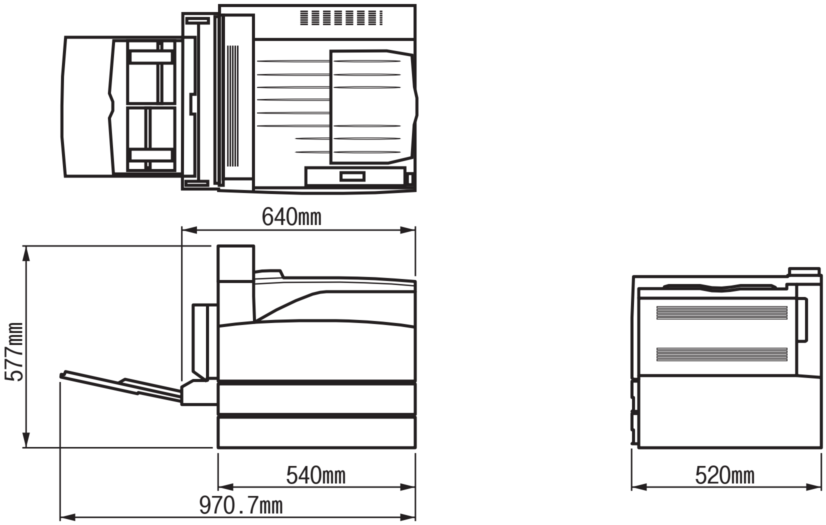
・いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
　温度 :10 ～ 32 ℃　　湿度 :15 ～ 85％RH
　温度 28 ℃以上のときは湿度 80％RH 以下、湿度が 80％RH 前後のときは温度 28 ℃以下でご使用ください。（ただし、結露しないこと。）
　冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。
・サーバ接続などによりプリンタの夜間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙感知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
　また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。
・プリンタを前後左右に 5 度以上傾けないでください。
　トナーがこぼれるなど故障の原因となります。
・プリンタは凹凸のない、平らな場所に設置してください。
　斜行等により印字ズレが大きくなったり、故障の原因となったりします。
・ラジオの雑音、テレビやディスプレイ（CRT）のチラツキやゆがみなど電波や磁気による障害が発生し、原因が本プリンタであると考えられる場合は、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
　- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ (CRT) の距離を離してみる。
　- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ (CRT) の位置や向きを変えてみる。
　- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ (CRT) の電源を別系統のものに変えてみる。
　- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
　- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。
・化学薬品や油分を使用または保管している環境では、本プリンタを使用しないでください。故障の原因となります。
・プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。
　電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

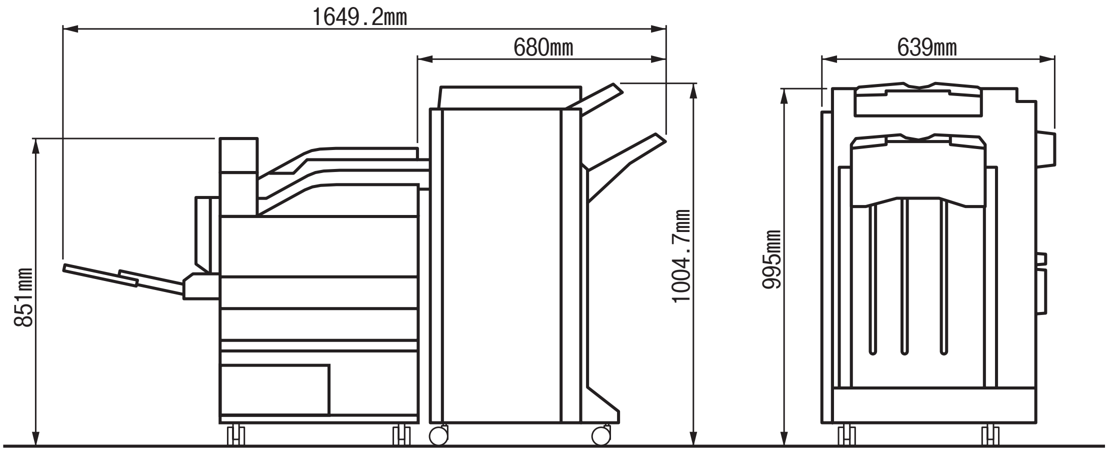
お願い

ー超音波加湿器をご使用のお客様へー
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。
ー拡張給紙ユニット -A または B をご使用のお客様へー
拡張給紙ユニット -A または B をご使用になる場合は、床上に設置してください。卓上での設置は転倒するおそれがありますので絶対におやめください。

プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。





⚠ 注意

火　災	プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から十分離して設置してください。
参照	「安全上のご注意」（9 ページ）参照
け　が	設置する台は、プリンタの足全体が十分に載る大きさのものを準備してください。

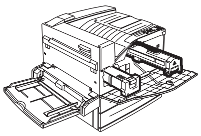
プリンタの設置からインストールまで

プリンタの設置から印刷するために必要な設定までの流れを説明します。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なります。次の図を参照し、必要な設定を行ってください。

プリンタ本体の設置

参照 「第２章　プリンタ本体の設置」（35 ページ）参照

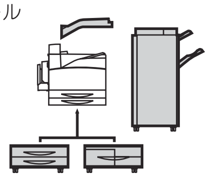
プリンタから印刷が行えるように、プリンタ本体の設置や用紙のセットを行います。



オプションの取り付け

参照 「第３章　オプションの装着」（65 ページ）参照

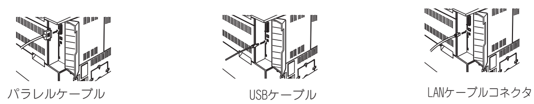
- 拡張給紙ユニット
- プリンタRAMモジュール
- フィニッシャー



ケーブルの接続

参照 「ケーブルの接続」（57 ページ）参照

お使いの接続、運用形態にあわせてケーブルを接続します。

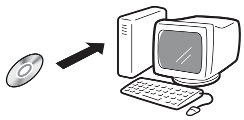


ソフトウェアのインストール

参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

お使いの接続、運用形態にあわせて必要なソフトウェアをインストールします。

※　添付の「Printia LASERプリンタユーティリティ」CD-ROMをパソコンにセットしてください。

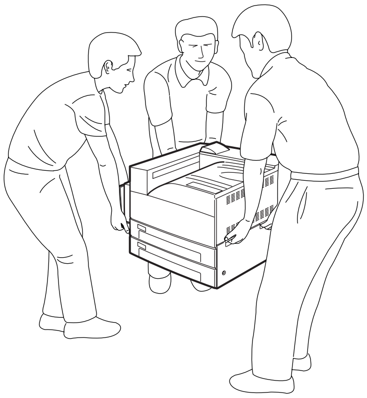


梱包品の確認

製品がすべて揃っていることを確認してください。
梱包されている製品は、「製品の確認（梱包されている製品）」（28 ページ）に記載してあります。

本体の取り出し

1. 梱包箱を開け、緩衝材や同梱品を取り出す
2. 梱包箱の両脇にある止め具（白い部品）を外し、梱包箱の上側を外す
3. ビニールを外し、プリンタの左右の取っ手部を持ち、水平に保ちながら取り出す



お願い

本体は約 48.3kg の重さがあります。プリンタを動かす場合は必ず３人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、給紙トレイ両端の下部とプリンタ右側面にあるくぼみをしっかりと持ってください。指定場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

4. 水平でしっかりした机などの上に静かに置く

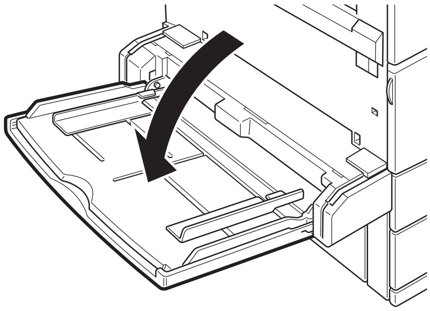
固定テープ、保護シートの取り外し

プリンタ各部に貼られている固定テープおよび保護シートを取り外し、給紙カセット内部の緩衝材を取り除きます。

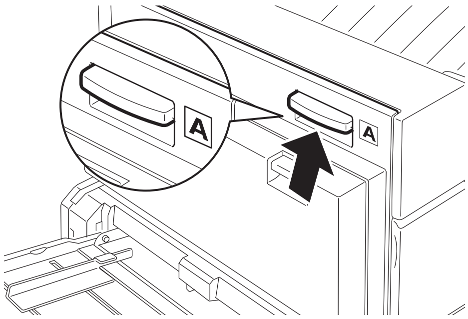
両面ユニット反転部の取り付け

両面ユニットは、出荷時に取り付けられています。ここでは、両面ユニット反転部の取り付けを行います。

1. 両面ユニット反転部を梱包箱から取り出す
2. 給紙トレイを開く



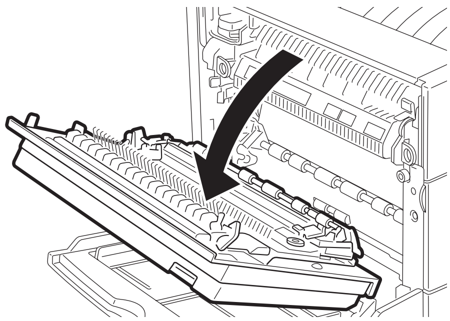
3. カバー A の右側上部にあるレバーを押し上げて、ロックを解除する



4. カバー A を開く

お 願 い

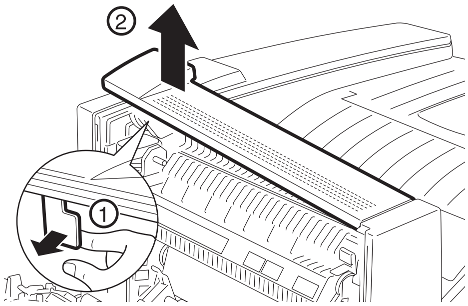
プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

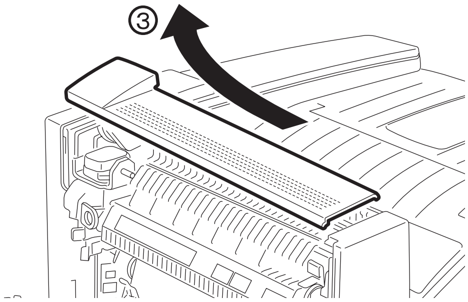


5 プリンタの上部カバーの左側の裏にあるツメを手前に引き①、上部カバーを上げ②、左側にずらしながら外す③

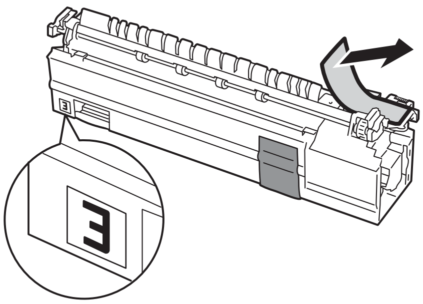
ガイド

取り外した上部カバーは、大切に保管してください。

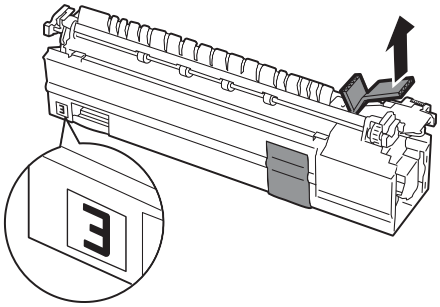




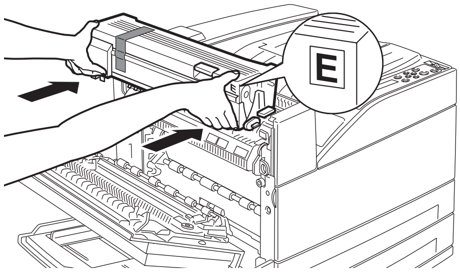
6 両面ユニット反転部底面の、図の位置にあるテープを外す



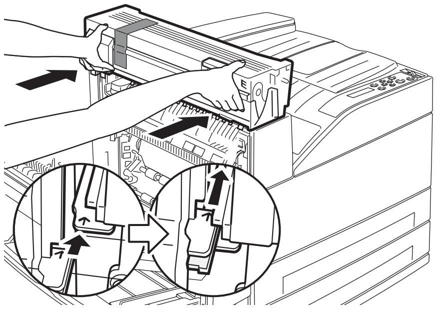
7 手順**6**でテープを外した箇所の内部にある緩衝材を取り外す



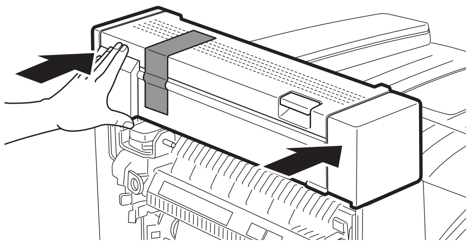
8 両面ユニット反転部の両側を図のように持つ



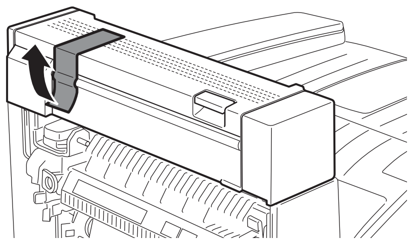
9 両面ユニット反転部右側の下部にある挿入部を、プリンタ側の図の位置に、すべらせるように挿入しながら、両面ユニット反転部をセットする



10 両面ユニット反転部をカチッと音がするまでしっかり押し込む



11 両面ユニット反転部左側に巻かれているテープを、図のように外す



12 カバー A を閉じる

お願い

両面印刷を行う際は、両面ユニット内のファンが稼動するため、通風口をふさがないように給紙トレイを開けた状態でご使用ください。

オプション品の取り付け

お願い

以下のオプション品は、トナーカートリッジやドラムカートリッジ、および用紙を取り付ける前に、プリンタ本体に取り付けてください。
- 拡張給紙ユニット－Ａ
- 拡張給紙ユニット－Ｂ
- フィニッシャー
- プリンタ拡張 RAM モジュール -256MB

各オプション品の取り付けは、第 3 章の目的の項目を参照してください。

参照 「拡張給紙ユニットの取り付けかた」（76 ページ）参照

参照 「フィニッシャーの取り付けかた」（82 ページ）参照

参照 「プリンタ RAM モジュールの取り付けかた」（71 ページ）参照

トナーカートリッジとドラムカートリッジの取り付け

ドラムカートリッジまたはトナーカートリッジを取り扱う場合は、次の点に注意してください。

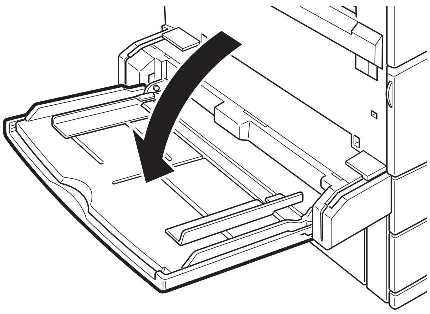
⚠ 警告	故　障　ドラムカートリッジまたはトナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

お願い

- 直射日光や強い光に当てないでください。
- ドラムカートリッジまたはトナーカートリッジの取り付け作業は、強い光の当たる場所を避け、できるだけ５ 分以内に終了してください。
- ドラム表面には手を触れないでください。また、ドラムカートリッジを立てたり、裏返して置いたりしないでください。ドラムを傷つけることがあります。
- ドラムシャッターは、中の感光体（ドラム）に光が当たらないように保護しています。ドラムシャッターをむやみに開けないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
- トナーカートリッジは、開封後、1 年以内で使い切ることをお勧めします。

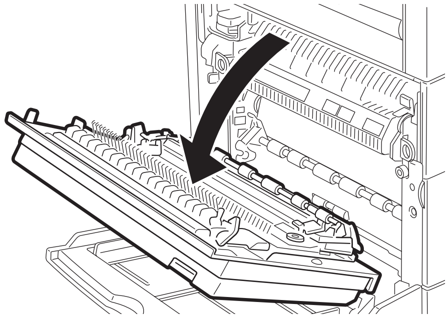
トナーカートリッジを取り付ける

1. 給紙トレイを開く



2

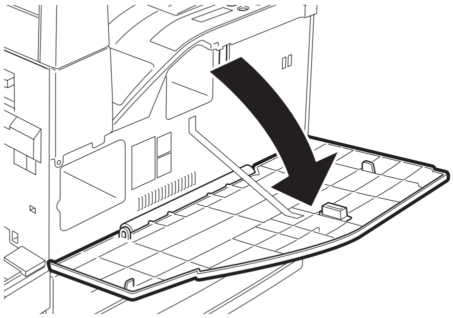
2 カバー A の右側上部にあるレバーを押し上げて、ロックを解除し、カバー A を開く



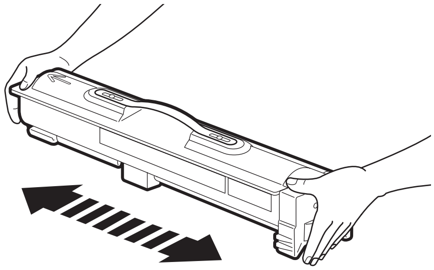
お願い

プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

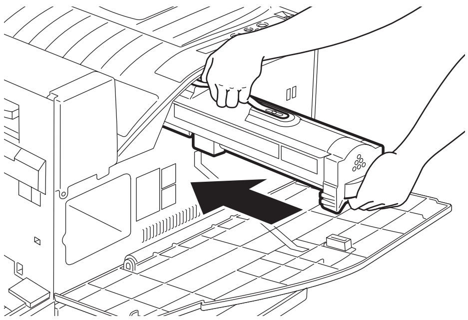
3 フロントカバーの左右に手を掛け、フロントカバーを開く



4 トナーカートリッジを梱包箱から取り出し、図のように 7 ～ 8 回振る



5 トナーカートリッジの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に挿入する



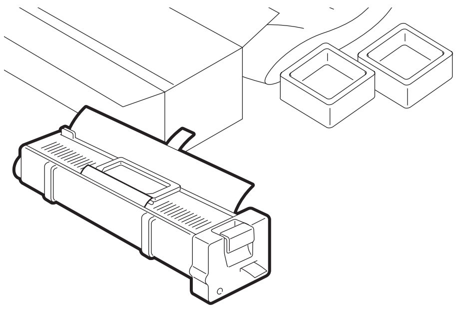
お願い

- プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。
- トナーカートリッジが確実にセットされていることを確認してください。

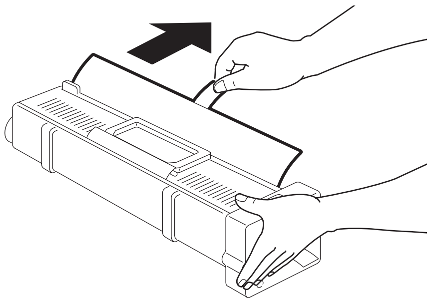
セットアップ編

ドラムカートリッジを取り付ける

1 ドラムカートリッジを梱包箱から取り出す



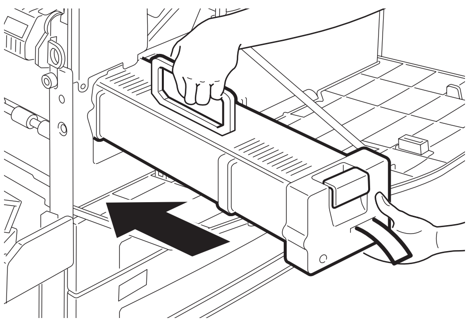
2 ドラムカートリッジを平らな場所に置き、保護紙に付いているテープを持って、図のように保護紙を静かに引き抜く



お願い

- 保護紙を引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中で紙が切れてしまうことがあります。
- 保護紙を引き抜いたあとは、ドラムカートリッジを振ったり、ドラムカートリッジに衝撃を与えたりしないでください。

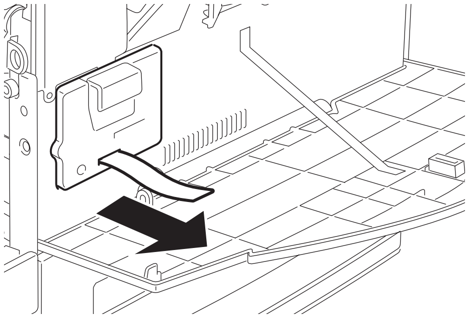
3 ドラムカートリッジの取っ手を持って、プリンタ内部の溝に沿って、奥に突き当たるまで差し込む



お願い

- プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。
- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

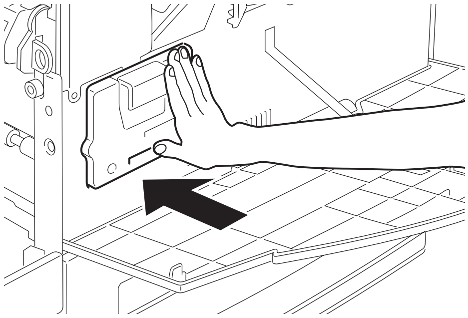
4 ドラムのテープを水平に静かに引き抜く



お願い

テープを引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。
テープの全長は約 67cm あります。

5 ドラムカートリッジを再度押し込む



6 カバー A をしっかり閉じる

7 フロントカバーをしっかり閉じる

ガイド

フロントカバーやカバー A が少しでも開いていると、メッセージが表示され、プリンタが作動しません。

電源の投入

電源コードを接続し、プリンタの電源が入るかどうか確認します。

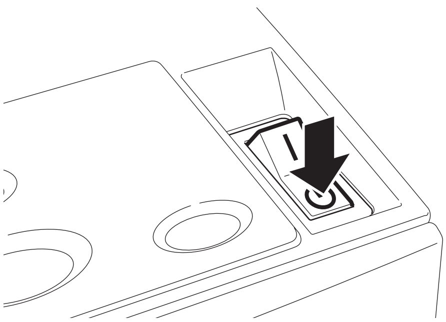
電源コードを接続する

次の手順で、電源コードを接続します。
本プリンタの電圧定格値は、AC100V です。
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

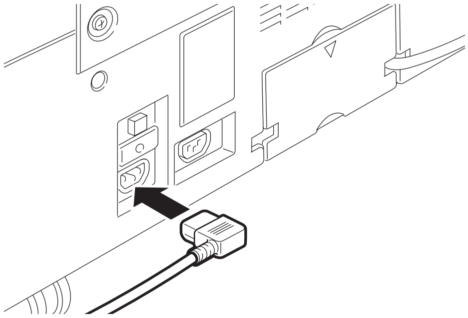
⚠ 警告

感　電	電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをオフ（「⏻」側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。
火　災	電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。
感　電	危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。 ・ガス管（火災や爆発の危険があります。） ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。） ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）
感　電	プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタを載せないでください。電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

1 スイッチがオフ（「⏻」側）であることを確認する

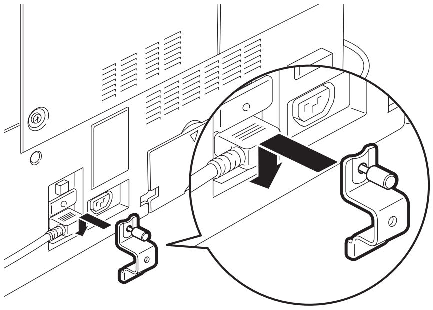


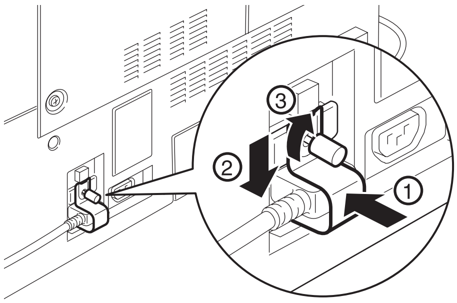
2 電源コードをプリンタ背面にある電源コードコネクタに差し込む



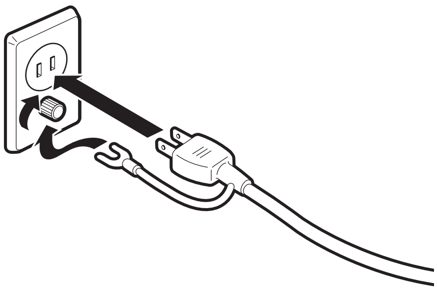
3 固定金具を電源コードコネクタにかぶせるようにセットし（①）、コネクタ下の切れ込み部分に差し込むように押し下げる（②）

固定金具の上部を付属のネジで固定する（③）





4 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

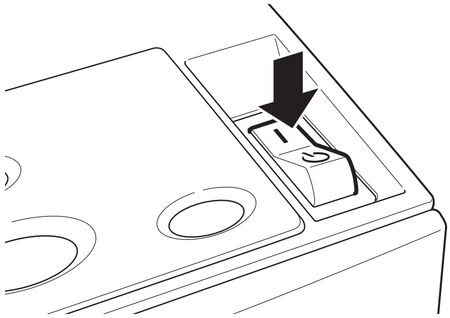


お願い

・アース接続は必ず行ってください。
・アース接続を行ってから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

電源スイッチをオンにする

電源スイッチを「｜」側に倒して電源を入れる



プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認

電源を入れると、オペレータパネルの「オンライン」「エラー」「節電」の各ランプが点灯し、液晶ディスプレイの表示が次のように切り替わります。

```
XL－XXXX
Ver　XX．XX　　YYYMB
```

ファームウェアのバージョン、メモリの総容量を示します。

↓

```
ファーム ロードﾞチュウ
×××××××××××××
```

ファームロード中を示します。下段にMACアドレスを表示します。

↓

初期化動作およびファームロード動作に45秒程度かかりますので、そのままお待ちください。

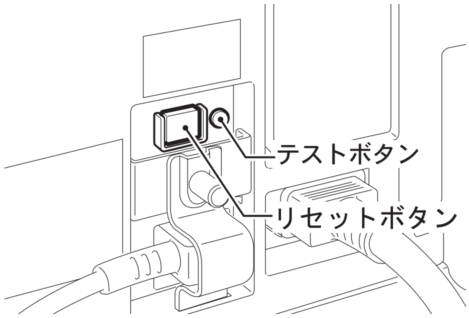
```
オンライン
```

※カセットが未装着の場合、下段に「カセットカクニン」と表示されます。

参照　オペレータパネルが上記の表示にならないときは、「オペレータパネルのエラーメッセージ」（198 ページ）参照

漏電ブレーカーについて

本プリンタには漏電ブレーカーが付いています。
漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して、漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。
リセットボタンは通常、右図のように押し込まれた状態にしておきます。本プリンタを長期間使わないときや移動する場合は、ボールペンなどの先の尖ったものでテストボタンを軽く押して、押し込まれていたリセットボタンを解除してください。



１ヶ月に１度は漏電ブレーカーが正常に働くどうかを確認してください。また、アースを必ず接続してください。アースを接続していないと漏電ブレーカーが働かなくなり、感電の原因となるおそれがあります。
漏電ブレーカーに異常などがある場合は、「ハードウェア修理相談センター」（236 ページ）へご連絡ください。

ガイド

- リセットボタンは、漏電を検知すると自動的に電源を切ります。通常は操作しないでください。
- 押し込まれていたリセットボタンを解除するときは、電源スイッチが切れていることを確認してください。

用紙のセット

ここでは、給紙カセットや給紙トレイに用紙をセットする手順について説明します。

ガイド

異なるサイズの用紙を、同時に１つの給紙カセットにセットすることはできません。

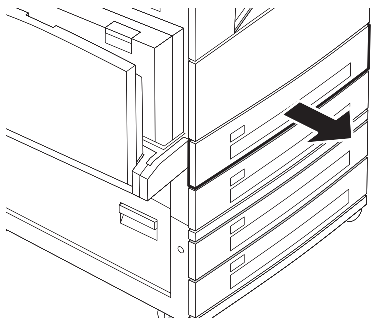
給紙カセットに用紙をセットする

ここでは、給紙カセットに用紙をセットする手順について説明します。

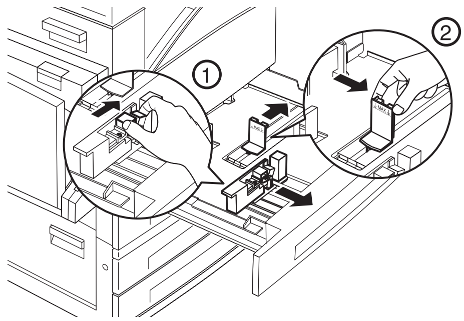
ガイド

拡張給紙ユニット -A（オプション）に用紙をセットする場合も給紙カセットと同じ手順でセットできます。

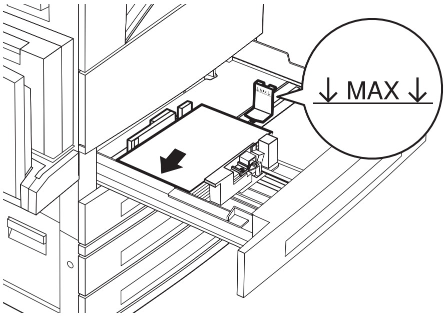
1. 給紙カセットを引き出す



2. 縦ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせる①
右側の横ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせる②



3 紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にしてセットする



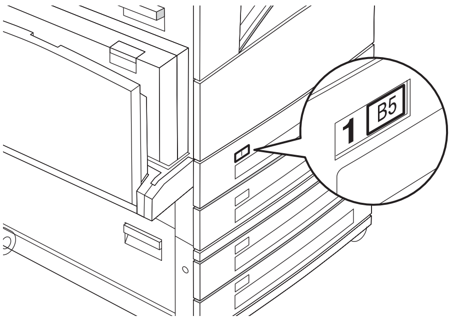
お願い

- 反り、しわ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- 最大積載可能枚数または用紙上限線を超える枚数の用紙は､セットしないでください。
- ガイドは､用紙に正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず､紙づまりの原因になったり、印刷位置がずれたりすることがあります。また、定着の温度制御が正しく行われず、装置の故障の原因になります。

ガイド

給紙カセットに収容できる枚数は、約550 枚（64g/m^2 用紙の場合）です。

4 セットした用紙に合わせて、ラベルを貼る



5 プリンタの奥に突き当たるまで、給紙カセットをしっかりと押し込む

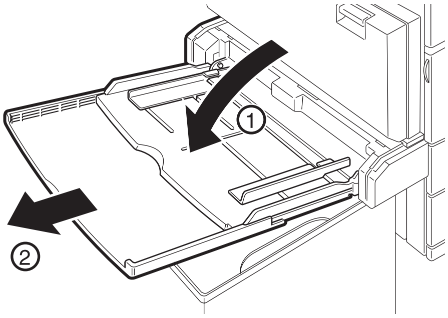
お願い

給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

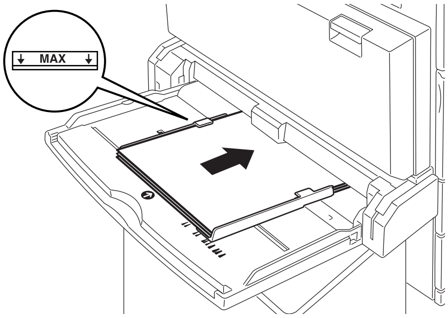
給紙トレイに用紙をセットする

ここでは、給紙 トレイに用紙をセットする手順について説明します。

1 給紙トレイを開く①
長い用紙をセットするときは、延長トレイを引き出す②

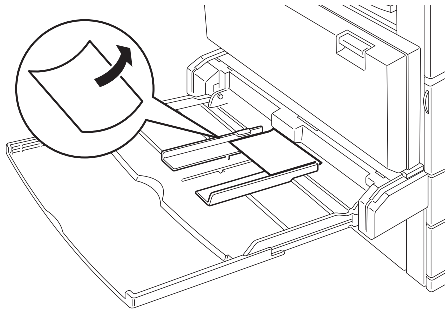


2 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にし、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる

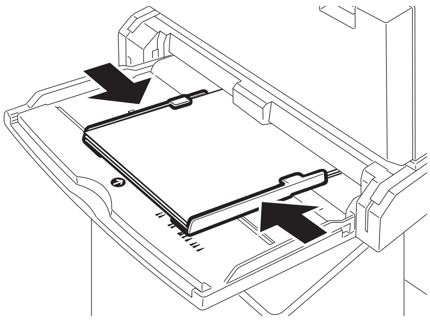


お願い

- 反り、しわ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- 最大積載可能枚数または用紙上限線を超える枚数の用紙は、セットしないでください。
- ガイドは、用紙に正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になったり、印刷位置がずれたりすることがあります。また、定着の温度制御が正しく行われず、装置の故障の原因になります。
- はがきなどの厚い紙に印刷する場合で、用紙が装置に送れないときは、用紙全体を右図のようにカールさせてからセットしてください。ただし、用紙を曲げすぎたり、折り目を付けてしまうと紙づまりの原因になります。



3 ガイドを用紙サイズに合わせる



設定一覧の印刷

次の操作で設定の一覧を印刷し、プリンタが正しく動作することを確認します。

1 印刷可能状態であることを確認する

次のいずれかの状態であることを確認します。

・オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されている
・オペレータパネルに「オフライン」と表示されている
・オペレータパネルに「セツデン」と表示されている

2 「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

↓「メニュー」

```
メニュー
▶システム　　インサツ　　　　▼
```

3 「▼」スイッチを押す

↓「▼」

```
　システム　　インサツ
▶セッテイ　ノ　インサツ　　　▲
```

4 「設定」スイッチを押す

設定の一覧の印刷が開始されます。

↓「設定」

印刷開始

5 印刷状態を確認する

参照　正常に印刷されないときは、「第 7 章　こんなときには」（165 ページ）参照

↓

印刷終了

↓

```
　システム　　インサツ
▶セッテイ　ノ　インサツ　　　▲
```

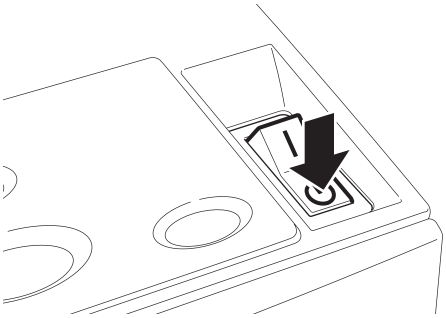
6 「メニュー」スイッチを押して、印刷可能状態に戻す

↓「メニュー」を押す

```
オンライン
```

電源の切断

電源を切るときは、電源スイッチをオフ（「⏻」側）に倒します。



電源が切断されると、オペレータパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。

お願い

・印刷中は電源を切らないでください。もし電源を切ってしまったときは、プリンタ内に残っている用紙を取り除いてください。

参照　「紙づまりになったとき」（166 ページ）参照

・電源スイッチを切ったあと、しばらくしてから LED のランプが消えることがあります。

・電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。

以上でプリンタ本体の設置は完了です。目的に合わせて次の設定に進んでください。

参照　パソコンとパラレルケーブルで接続するには
「パラレルケーブルの接続」（58 ページ）参照

参照　パソコンと USB ケーブルで接続するには
「USB ケーブルの接続」（60 ページ）参照

参照　LAN ケーブルで接続するには
「LAN ケーブルの接続」（61 ページ）参照

ケーブルの接続

お使いの環境、運用形態にあわせ、プリンタにケーブルを接続します。

ガイド

- 接続方法は、お使いの環境、運用形態に合わせて以下を目安に選択してください。
  - パラレルケーブル /USB ケーブルで接続
    1 台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。
    より速く印刷したい場合は、USB ケーブルによる接続をおすすめします。
  - LAN ケーブルで接続
    プリンタの設置場所を自由に動かしたい場合や、インターネットを利用して印刷する場合に選択します。
    LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。
- サーバ経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。
- 本プリンタは、パラレル／ＵＳＢ／ＬＡＮ のケーブルを同時に接続することができます。

参照「複数のポートに同時接続するときの注意事項」(63 ページ) 参照

パラレルケーブルの接続

IEEE1284 準拠のパラレルインターフェースにパソコンを接続するときの注意事項と手順について説明します。

環境

・パソコン
双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
・OS
Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 日本語版

⚠警告	感　電	パラレルケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。

⚠注意	故　障	ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因になることがあります。

お願い

パソコンとプリンタの接続に使用するパラレルケーブルは、1.5m 以下のシールドケーブルをお使いください。

ガイド

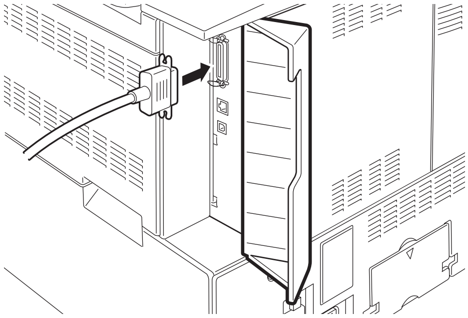
本プリンタには、パラレルケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。
参照　「プリンタケーブル」（69 ページ）参照

1 **電源スイッチを「⏻」側に倒し、プリンタの電源を切断する**

パソコンの電源も切断してください。

2 **パラレルケーブルをプリンタ背面にあるパラレルケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定する**

パソコン側の接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。



3 **電源スイッチを「|」側に倒し、プリンタの電源を入れる**

4 **パソコンの電源を入れ、Windows を起動する**

この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」で、パラレル接続時のプリンタドライバのインストール方法の説明を参照してください。

USB ケーブルの接続

USB インターフェースにパソコンを接続するときの注意事項と手順について説明します。

環境

・パソコン
USB インターフェースを内蔵する PC/AT 互換機
・OS
Windows 98/Me/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 日本語版

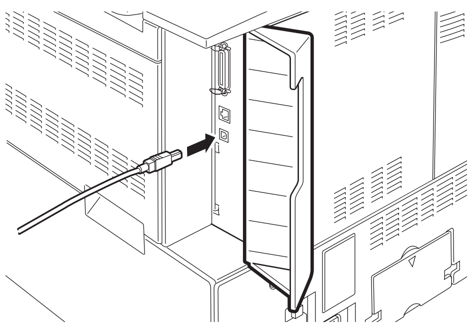
お願い

・Windows 3.1/95 から Windows 98/Me へアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。
・Windows 95/NT4.0 では動作しません。
・パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
・印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
・USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
・本プリンタと接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
・USB2.0 に準拠した USB ケーブルを用意してください。

ガイド

・USB2.0 でお使いになるにはパソコンが USB2.0 に対応している必要があります。
・USB ケーブルは本製品には添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。
参照「プリンタケーブル」（69 ページ）参照

1 USB ケーブルをプリンタ背面にある USB ケーブルコネクタに差し込む



2 パソコンに USB ケーブルを接続する

パソコン側の接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」で、USB 接続時のプリンタドライバのインストール方法の説明を参照してください。

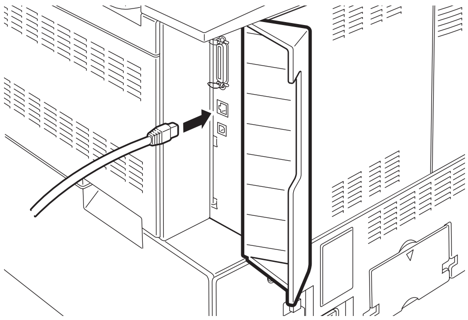
LAN ケーブルの接続

プリンタをネットワークに接続する手順について説明します。
プリンタをネットワーク経由で接続するときは、ハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー 5 またはエンハンスドカテゴリー 5 のツイストペアケーブルをご使用ください。
また、次ページの「LAN に接続するときの注意事項」もあわせてお読みください。

1 プリンタの電源の切断（電源スイッチが「⏻」側）を確認する

2 プリンタ背面にある LAN ケーブルコネクタにLAN ケーブルを接続し、電源を入れる

この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」で、ネットワーク接続時の設定方法の説明を参照してください。



ガイド

LAN ケーブルで接続した場合は、プリンタにIP アドレスを設定する必要があります。
IP アドレスは、添付の CD-ROM に収められたソフトウェアから設定可能ですが、オペレータパネルからプリンタ本体で直接設定することもできます。

参照 オペレータパネルで IP アドレスを設定する方法は、「IP アドレスの設定」（149 ページ）参照

LAN に接続するときの注意事項

・LAN ケーブルをハブユニットに接続した場合に、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方の Ethernet タイプを同じ規格に設定してください。
本プリンタの Ethernet タイプは、「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタの Ethernet タイプは、メニューモードの［初期設定］－［LAN 設定］にある「Ethernet タイプ」で変更します。本製品の「10Mbps」は、「Half」です。

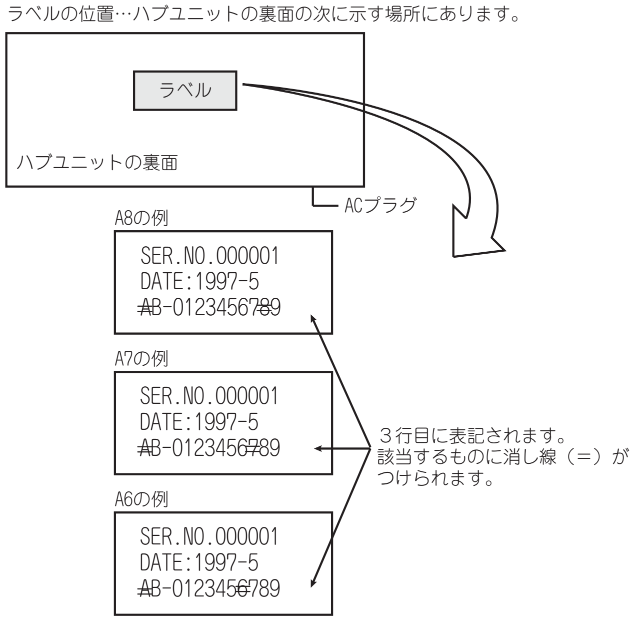
参照　メニューモードについては、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（136 ページ）参照

ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。
なお、プリンタとハブユニットの Ethernet タイプを「自動」以外の固定値に設定することで、なんらかの要因で回線の切断が一時的に発生しても、その後の通信再開がより速やかになります。

・ハブユニットに STP（スパニングツリープロトコル）の設定がある場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定することをお勧めします。
「有効」に設定している場合は、なんらかの要因でネットワーク通信が途切れると、通信が再開されるまでに数十秒程度を要する場合があります。詳しくはハブユニットのマニュアルをご覧ください。

・ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
  - ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
  - ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「ハードウェア修理相談センター」（236 ページ）にご相談ください。

ラベルの見かたを次の図に示します。



複数のポートに同時接続するときの注意事項

本プリンタは、LAN 経由でサーバプリンタとして動作するとともに、他のパソコンをパラレルポートや USB ポートにそれぞれ接続することができます。
複数のポートにプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

- ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 使用中のポートがある場合、他のポートは使用できません。複数のポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、印刷中のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
- Printianavi および Printianavi ネットワークポートモニタを使用して複数台のパソコンから同時に印刷した場合、一台のパソコンから印刷中のときは、残りのパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
- 使用中のポートで未印刷データがある場合、他のポートには切り替わりません。

お願い

印刷中は、プリンタから他のケーブルを抜き差ししないでください。

参照　ポートの切り替え時間については、「第 5 章　オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」の「ポート設定」の「タイムアウト時間」（141 ページ）参照

第3章
オプションの装着

本プリンタのオプションには、プリンタ RAM モジュール、拡張給紙ユニット、およびフィニッシャーがあります。これらの取り付けかたについて説明します。

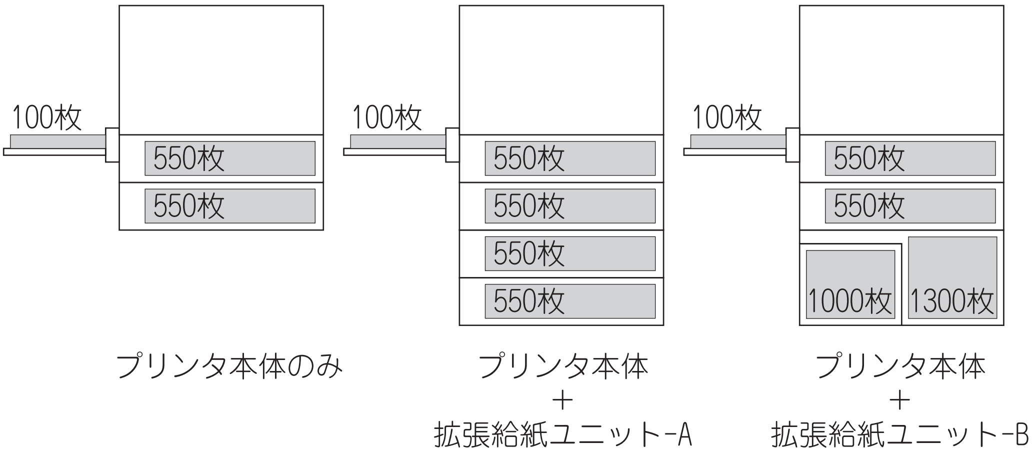
オプション品のご紹介

本製品は、次のオプションを用意しています。必要に応じてご購入ください。
なお、オプション品の情報は、本書発行時点のものです。
最新情報は富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット -A	XL-EF110MA	３段目、４段目の給紙ユニットです。 550 枚(64g/m^2 用紙の場合)積載可能な給紙カセット２段で構成されています。
拡張給紙ユニット -B	XL-EF230MA	３段目、４段目の給紙ユニットです。 1000 枚（64g/m^2 用紙の場合）積載可能な給紙カセットと、1300 枚（64g/m^2 用紙の場合）積載可能な給紙カセットで構成されています。

●形態



ガイド

・異なるサイズの用紙を、同時に１つの給紙カセットにセットすることはできません。
・印刷中でも、用紙が走行していない給紙カセットであれば、印刷を停止することなく用紙をセットすることができます。

フィニッシャー

品目	型名	内容
フィニッシャー	XL-FINMA	3000 枚（スタッカトレイ）と 500 枚（トップトレイ）の排紙が可能なユニットです。

オプションのフィニッシャーをプリンタに取り付けると、3000 枚（A4 以下の同一サイズ）と 500 枚の排紙が可能になります。また 3000 枚排紙トレイ（スタッカトレイ）において、パンチ（2 穴）処理とステープル処理が可能になります。ご購入時の設置はサービスエンジニアが行います。

参照　「フィニッシャーの基本仕様」（219 ページ）参照

プリンタ RAM モジュール

本プリンタには、次のプリンタ RAM モジュールを搭載することができます。

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール -256MB	XL-EM256MA	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

●用途

プリンタ RAM モジュールの容量を増やすことにより、サポートするすべての用紙サイズ、解像度、両面印刷の組み合わせで確実に印刷できるようになります。

参照　印刷保証範囲については､「プリンタ RAM モジュールの有無と印刷可能範囲」（68 ページ）参照

3

セットアップ編

●プリンタ RAM モジュールの有無と印刷可能範囲

搭載されている RAM の容量によって、印刷できる用紙サイズが異なります。これらの関係を次の表に示します。

	64MB（プリンタ RAM モジュールなし）						320MB（プリンタ RAM モジュールあり [256MB]）					
用紙サイズ/解像度	片面			両面			片面			両面		
	300 dpi	600 dpi	1200 dpi	300 dpi	600 dpi	1200 dpi	300 dpi	600 dpi	1200 dpi	300 dpi	600 dpi	1200 dpi
A3	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B4	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
Legal	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
Letter	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
はがき	◎	◎	◎	—	—	—	◎	◎	◎	—	—	—
ユーザ定義サイズ	◎	◎	◎	—	—	—	◎	◎	◎	—	—	—

◎： どんなデータも確実に印刷できます。
○： データの内容によって印刷できない場合があります。（プロテクトモード使用時は印刷できません。）
—： 本設定では印刷できません。
解像度、プロテクトモード：プリンタドライバで設定します。

参照　プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

プリンタケーブル

ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

ガイド

本製品にはプリンタケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。

お願い

以下の長さのシールドケーブルをお使いください。
パラレルケーブル：1.5m 以下
USB ケーブル：5m 以下

別売ケーブルは以下のものが用意されています。

●パラレルケーブル

品名	型名	内容
プリンタケーブル	FMV-CBL716	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。

● USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2G	Windows 98/Me/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。

⚠ 警告	感　電	オプションを接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。 当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意	け　が	オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、ケガや故障の原因になることがあります。

お願い

オプション品の取り付け、取り外しを行う際は、必ず電源を切った状態で作業してください。

プリンタ RAM モジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタ RAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。

警告	感　電	プリンタ RAM モジュールの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「⏻」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

お願い

静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。

- 本製品に取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
- モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。

プリンタ RAM モジュールを取り付ける

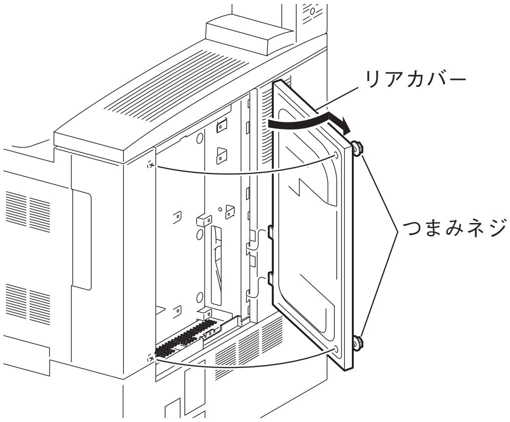
プリンタ RAM モジュールは、次の手順で取り付けます。

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「⏻」側に倒します。電源コードを電源コンセントから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 リアカバーを外す

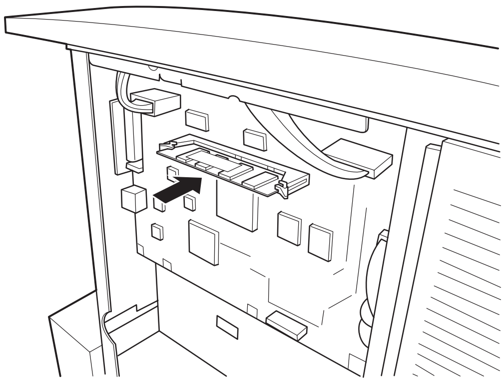
背面のつまみネジを緩め、右図の矢印のようにリアカバーを外します。



お願い

つまみネジを緩め右図の矢印のように開いていくとリアカバーが落下しますので、リアカバーを落とさないように手で支えながら取り外してください。

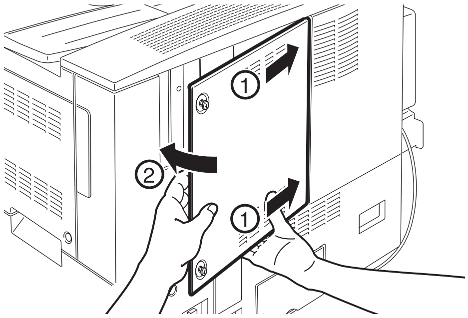
3 コネクタ両端のレバーを開き、プリンタ RAM モジュールの向きに注意し、コネクタの溝に合わせてゆっくりと差し込む



お願い

プリンタ RAM モジュールの基板は壊れやすいので、取り扱いには十分注意してください。

4 リアカバーの右側のツメをプリンタ本体の穴に差し込んでから取り付け、つまみネジを締めて固定する



ガイド

プリンタ RAM モジュールを増設したときは、電源を投入した直後にオペレータパネルの液晶ディスプレイの下段に表示される「YYYMB」でメモリの総容量を確認します。メモリを増設したときは「320MB」と表示されます。

```
XL－XXXX
Ver  XX. XX    YYYMB
```

お願い

・プリンタRAMモジュールを増設した場合は、必ずプリンタドライバで装置オプションの設定を行ってください。

参照 プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

・はじめてプリンタ RAM モジュールを増設した場合は、動作に問題がないか、次ページの操作で確認してください。

プリンタ RAM モジュールをチェックする

次の操作でプリンタ ＲＡＭ モジュールをチェックし、プリンタが問題なく動作することを確認します。

1 電源スイッチがオフ（⏻側）であることを確認する

2 オペレータパネルの「リセット」スイッチを押しながら、電源スイッチをオン（「｜」側）に倒して電源を入れる

ＲＡＭ モジュールのチェックが開始されます。

ガイド

- 「ＲＡＭ １　チェック」と表示されたら、「リセット」スイッチを放しても構いません。
- オプション　ＲＡＭ　モジュール未装着時は、「ＲＡＭ ２　チェック」は表示されません。

3 エラーメッセージが出ないことを確認する

「オンライン」が表示されれば、ＲＡＭ モジュールに問題はありません。

参照　オペレータパネルが「オンライン」表示にならないときは、
「オペレータパネルのエラーメッセージ」（198 ページ）参照

↓

ＲＡＭ１　チェック　００％

↓

標準ＲＡＭのチェック開始

↓

ＲＡＭ２　チェック　００％

↓

オプションＲＡＭモジュールのチェック開始

↓

ＲＡＭモジュールのチェック終了

↓

ＸＬ－ＸＸＸＸ Ｖｅｒ　ｘｘ．ｘｘ　ｘｘｘＭＢ

↓

ファーム　ロードﾞ　チュウ ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ

↓

オンライン

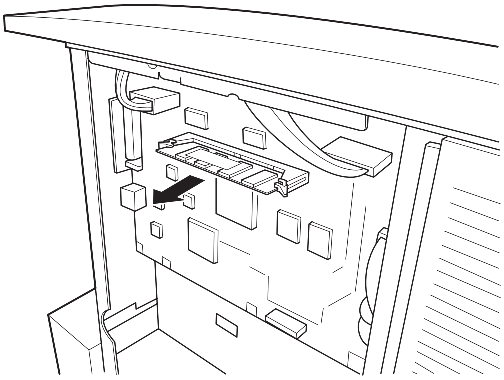
プリンタ RAM モジュールを取り外す

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「⏻」側に倒します。電源コードを電源コンセントから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 リアカバーを外す

3 左右のレバーを指で開き、手前に引き抜く



参照　リアカバーの外しかたや取り付けかたは、
「プリンタRAMモジュールを取り付ける」（72 ページ）参照

拡張給紙ユニットの取り付けかた

本プリンタに取り付けることができる拡張給紙ユニットには、拡張給紙ユニット -A と拡張給紙ユニット -B があります。プリンタへの取り付け / 取り外しかたは、どちらの拡張給紙ユニットの場合も同様です。
本製品には、どちらか 1 つのユニットを取り付けることができます。

参照　拡張給紙ユニットの取り付け形態については、「オプション品のご紹介」（66 ページ）参照

⚠ 警告

感　電	拡張給紙ユニットの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「⏻」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

⚠ 注意

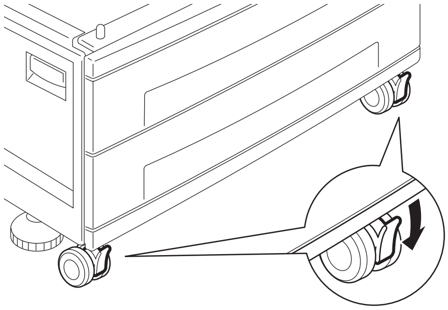
故　障	拡張給紙ユニットは、本製品用の製品を取り付けてください。指定外の拡張給紙ユニットを取り付けると、拡張給紙ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因になります。
け　が	・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つける恐れがあります。 ・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因になることがあります。 ・本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 48.3kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 3 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、給紙トレイ両端の下部とプリンタ右側面にあるくぼみをしっかり持ってください。指定場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

拡張給紙ユニットを取り付ける

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。

1 **拡張給紙ユニットを平らな床に置く**

拡張給紙ユニットが動かないように、拡張給紙ユニット前面にある 2 か所のストッパーを下に押してロックします。

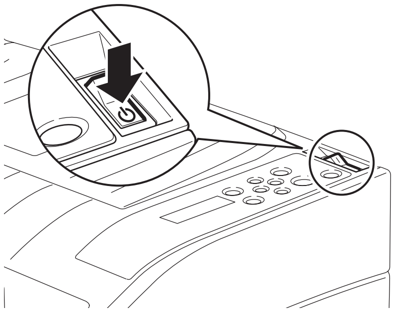


⚠ 警告	けが	拡張給紙ユニットのキャスターについているキャスターストッパーを必ずロックしてください。 ストッパーをロックしないと、地震などが発生したときにプリンタが動いたり、ケガの原因となることがあります。

2 **プリンタの電源スイッチの「⏻」側を押して、電源を切る**

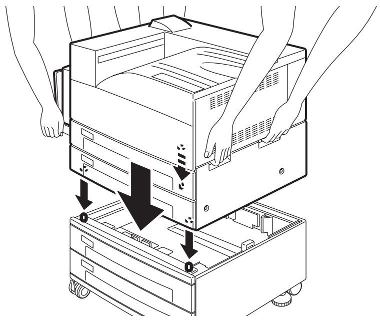
電源コードを、コンセントおよびプリンタ本体から抜きます。

パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。



3 **プリンタを持ち上げて、拡張給紙ユニットの上に、プリンタの側面と拡張給紙ユニットの側面が合うように静かに載せる**

このとき、拡張給紙ユニットの上部隅 3 か所（前方 2 か所、左後方 1 か所）にあるピンがプリンタの底面の隅の穴に合うように載せてください。



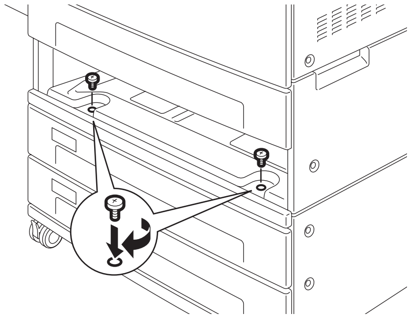
お願い

プリンタ本体の給紙カセットは取り出さないで作業をしてください。手を挟んだり、傷つけたりするおそれがあります。

4

プリンタの下段の給紙カセットを引き出して、取り外す

右の図のように、前面左右 2 か所を付属のネジで留め、拡張給紙ユニットをプリンタに固定します。

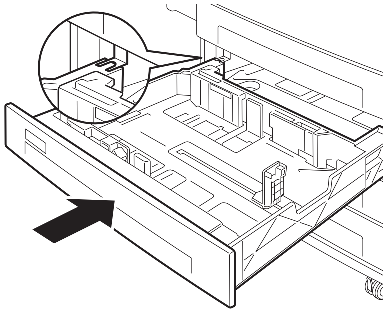


ガイド

給紙カセットを引き出して取り外す場合は、給紙カセットを上部に浮かせながら引き出してください。

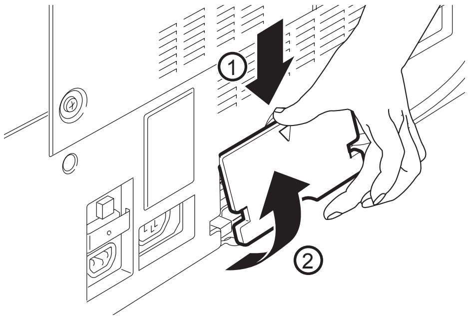
5

プリンタの下段の給紙カセットを戻す



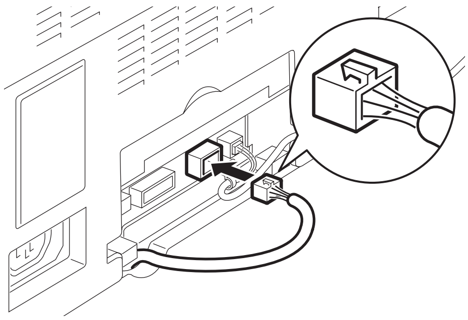
6

プリンタ背面にあるカバーの▼マークを押し下げてロックを外し、カバー下部のくぼみに指をかけ、カバーを外す

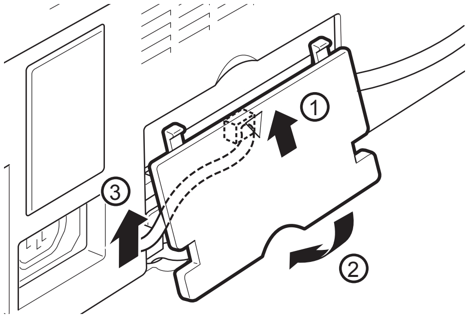


7

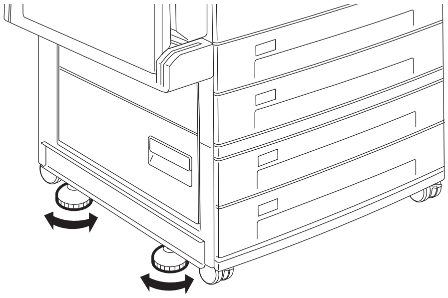
拡張給紙ユニットのケーブルを、プリンタのコネクタにカチッと音がするまで差し込む



8 カバーの上部にある左右の突起部をプリンタ背面の穴に右図のように差し込み、カバーを閉じる



9 プリンタが水平に設置されていない場合は、拡張給紙ユニットの底面にある高さ調整ネジを回して、傾きを調整する



10 手順 **2** で取り外した電源コードを元に戻す

11 プリンタの電源スイッチの「❙」側を押して、電源を入れる

これで、拡張給紙ユニットの取り付けは完了です。

お願い

- 拡張給紙ユニットを増設した場合は、必ずプリンタドライバで装置オプションの設定を行ってください。

  参照 プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照
- 拡張給紙ユニットを取り付けたあと、プリンタを移動するときは、キャスターストッパーのロックを解除し、キャスターで移動してください。
  ただし、10 度以上の傾きがある場所や段差のある場所を移動する際は、拡張給紙ユニットをプリンタ本体から取り外し、持ち上げて移動してください。

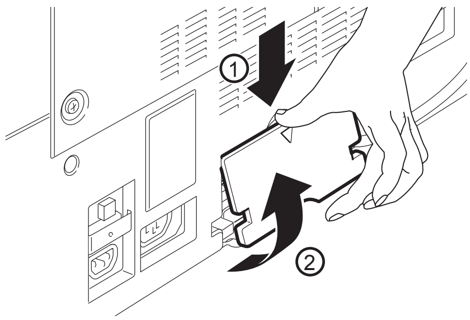
拡張給紙ユニットを取り外す

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

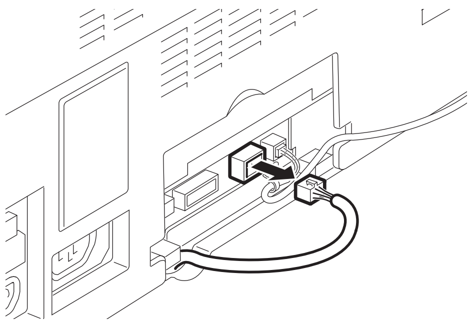
1 **プリンタの電源スイッチの「⏻」側を押して、電源を切る**

電源コードを、コンセントおよびプリンタ本体から抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

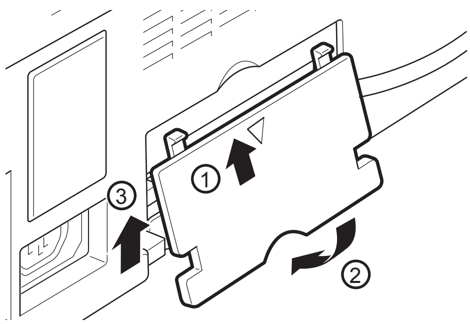
2 **プリンタ背面にあるカバーの▼マークを押し下げてロックを外し、カバー下部のくぼみに指をかけ、カバーを外す**



3 **拡張給紙ユニットのケーブルをコネクタのフックを押しながら外す**

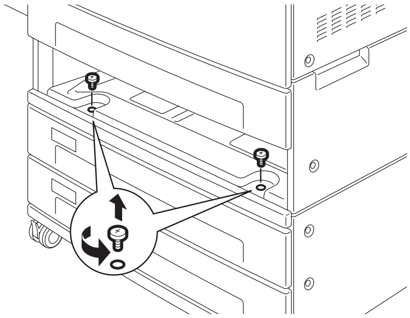


4 **外したカバーを元に戻す**



5 プリンタの下段の給紙カセットを引き出して、取り外す

右の図のように、拡張給紙ユニットを固定していた前面左右 2 か所のネジを取り外します。

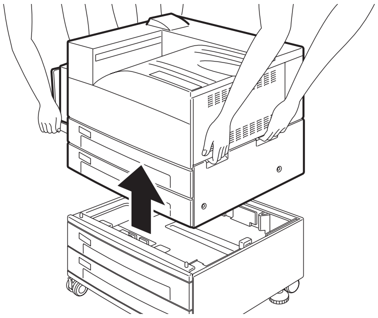


ガイド

- 取り外したネジは大切に保管してください。
- 給紙カセットを引き出して取り外す場合は、給紙カセットを上部に浮かせながら引き出してください。

6 プリンタの両サイド下側を 3 人以上で持ち、拡張給紙ユニットから取り外す

持ち上げ方に関しては、「安全上のご注意」の 10 ページをご参照ください。



フィニッシャーの取り付けかた

オプションのフィニッシャーをプリンタに取り付けると、3,000 枚（スタッカトレイ）と 500 枚（トップトレイ）の排出が可能になります。また、スタッカトレイにおいては、パンチ処理、ステープル処理が可能です。ご購入時のフィニッシャーの設置はサービスエンジニアが行います。

参照　「フィニッシャーの基本仕様」（219 ページ）参照

⚠ 警告

感　電	フィニッシャーの取り付けおよび取り外しのときは、電源スイッチが「⏻」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

⚠ 注意

故　障	フィニッシャーは、本製品用の製品を取り付けてください。指定外のフィニッシャーを取り付けると、フィニッシャーおよびプリンタ本体の故障の原因になります。
け　が	・フィニッシャーの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つける恐れがあります。 ・プリンタとフィニッシャーの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因になることがあります。 ・本製品は、オプションや用紙が入っていない状態で約 48.3kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 3 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、給紙トレイ両端の下部とプリンタ右側面にあるくぼみをしっかり持ってください。指定場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

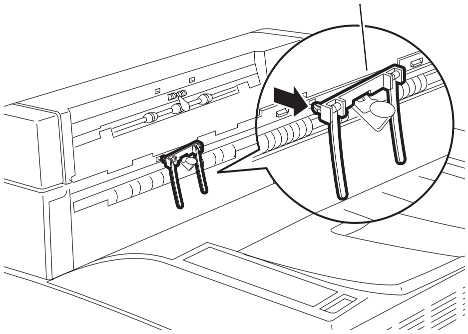
ガイド

フィニッシャーを取り付けるには、拡張給紙ユニットが必要になります。

フィニッシャーを取り付ける

1 プリンタの電源コードを、コンセントおよびプリンタ本体から抜く

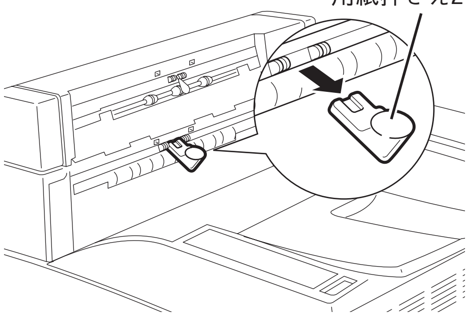
2 プリンタ上部の排出口にある用紙押さえ 1 を、左端のツメを押して、取り外す



ガイド

取り外した用紙押さえ 1 は、手順 7 で使用します。

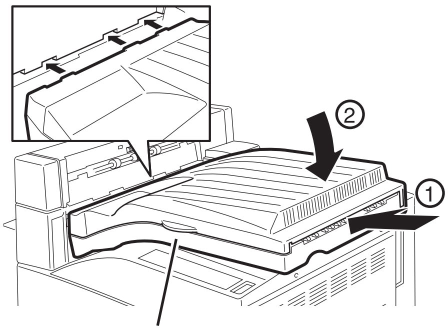
3 用紙押さえ 2 を、中央の凸部を押して引き出し、取り外す



ガイド

取り外した用紙押さえ 2 は、大切に保管してください。

4 フィニッシャー接続部左側の突起部（3 か所）をプリンタに差し込む



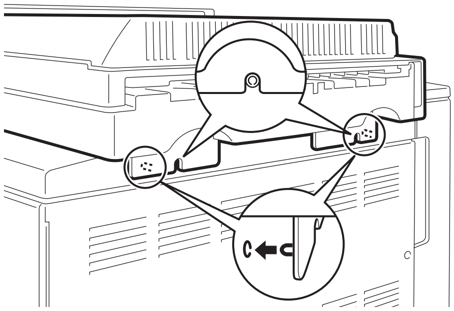
お願い

フィニッシャーの接続部を運ぶ場合は、カバーF 開閉の取っ手を持って運ぶとカバーF が開いてしまいます。
カバーF は持たないでください。

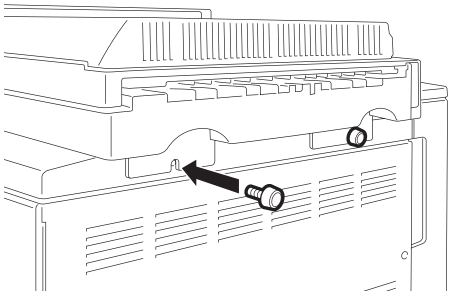
3

セットアップ編

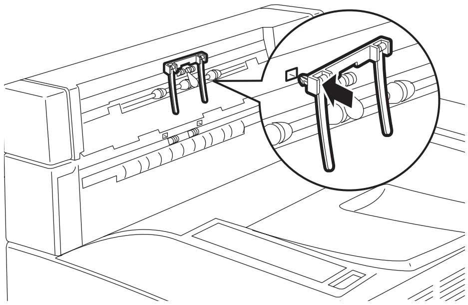
5 フィニッシャー接続部右側をプリンタ上部に下ろし、図のように切れ込み（2 か所）がプリンタ右側にある穴に合うようにセットする



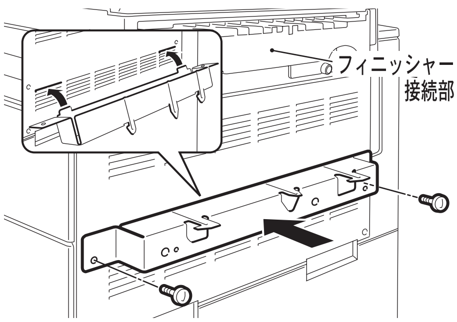
6 フィニッシャー接続部を付属のネジで固定する



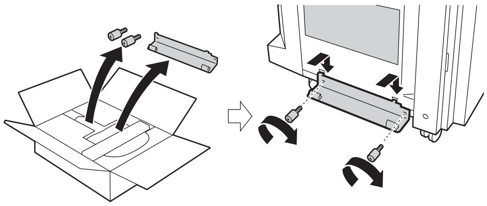
7 手順 2 で取り外した用紙押さえ 1 を、反転部の排出口の図の位置に、左端のツメを押しながら取り付ける



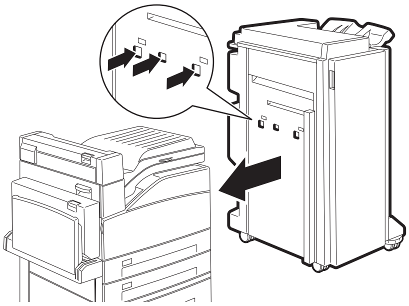
8 梱包箱に入っていた接続部品を、付属のネジを使ってプリンタ右側面に取り付ける



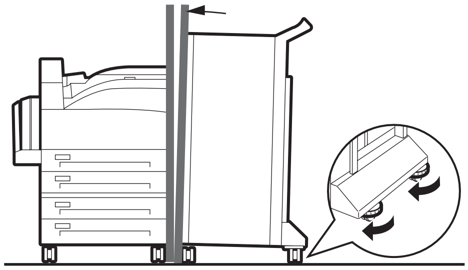
9 梱包箱に入っていたアース部品を、付属のネジを使ってフィニッシャー本体の左側面に取り付ける



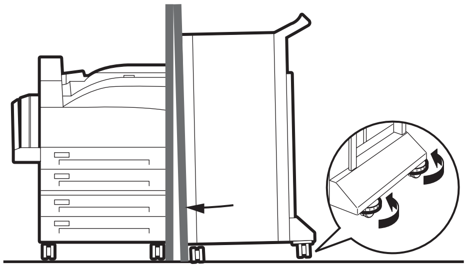
10 接続部品の突起部が、フィニッシャーの左側面の穴に入るように、フィニッシャーをプリンタ右側面に合わせる

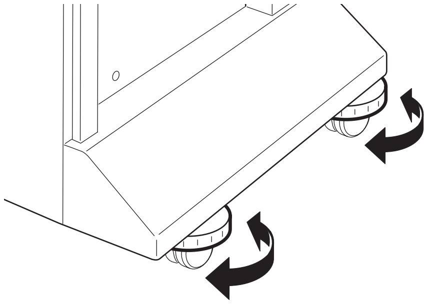


11 場合によっては、図のようにプリンタとフィニッシャーの傾きが合わないことがあります。その場合には、フィニッシャーの右側底面にある高さ調整ネジ（2 か所）を回して、プリンタとフィニッシャーの傾きが合うように調整してください。



フィニッシャーの右側を上げるには、高さ調整ネジを時計と同じ方向に回します。また、フィニッシャーの右側を下げるには、高さ調整ネジを時計と反対方向に回します。

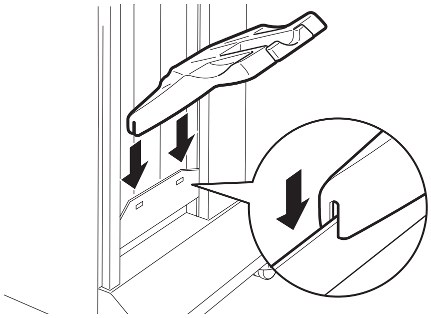




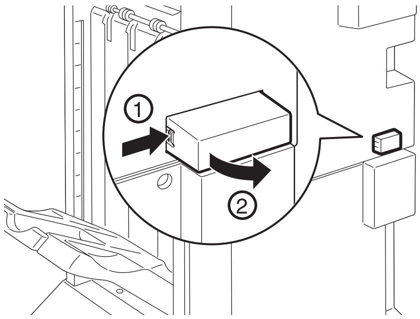
お願い

左右の調整ネジは、左右の高さのバランスをとりながら、交互に回してください。一方ばかり先に回すと、高さの低い側に重量がかかり、もう一方の調整ネジが回らなくなります。

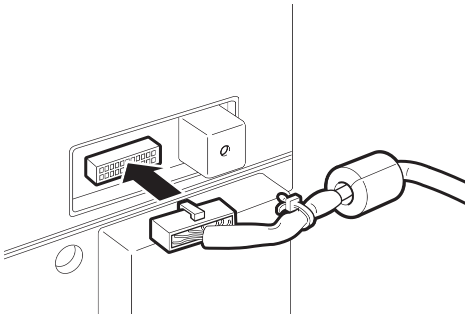
12 スタッカトレイのスリットをフィニッシャーに差し込み、取り付ける



13 フィニッシャー背面にあるコネクタカバーを、カバー左側を指で押して外す



14 フィニッシャー接続部のケーブルをフィニッシャーのコネクタに差し込む

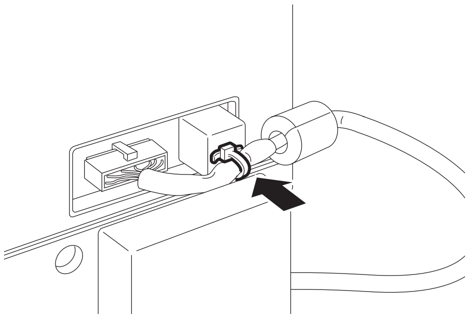


お願い

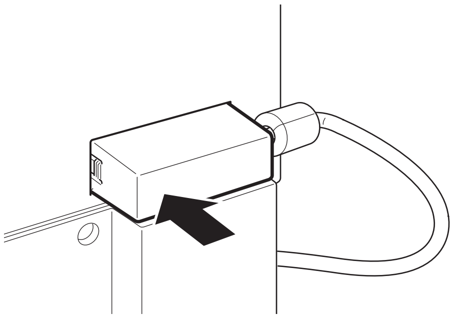
フィニッシャー接続部のコネクタが未接続の場合、次のようなエラーメッセージが表示されます。
コネクタを接続する際には、しっかりと差し込んでください。

```
0031 ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ
ｶﾊﾞｰF
```

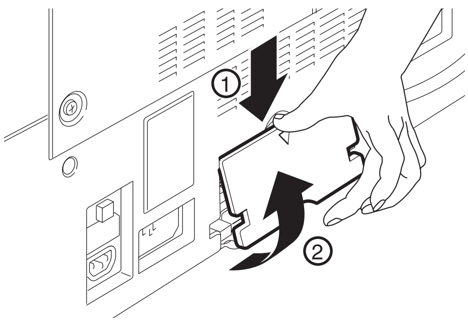
15 ケーブル固定用のクランプを、図の位置にカチッと音がするまで差し込む



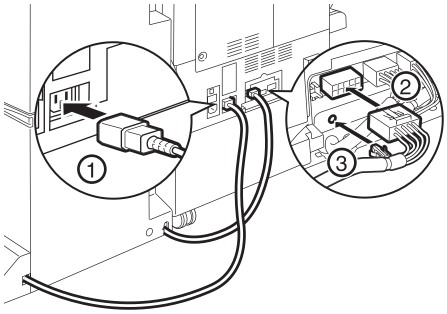
16 手順**13**で外したカバーを元に戻す



17 プリンタ背面にあるコネクタカバーの▼マークを押し下げ（①）、コネクタカバーを外す（②）

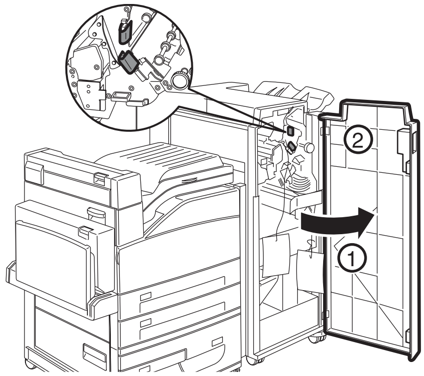


18 フィニッシャーの電源コード（①）とケーブル（②）を、プリンタ背面のコネクタにしっかりと差し込み、ケーブル固定用のクランプを、図の位置にカチッと音がするまで差し込む（③）

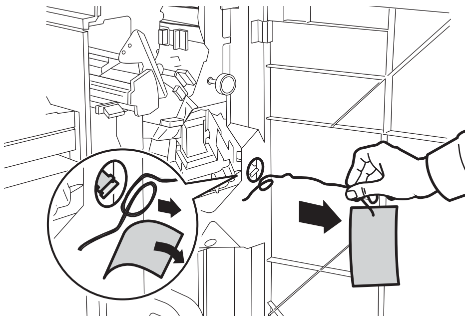


19 プリンタ背面のコネクタカバーを元に戻す

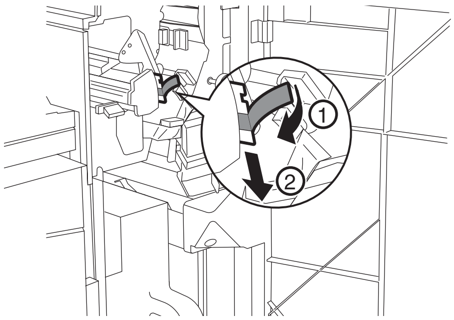
20 フィニッシャーの前面に回り、カバーG（フィニッシャーフロントカバー）を開け（①）、図の位置の緩衝材（２か所）を取り外す（②）



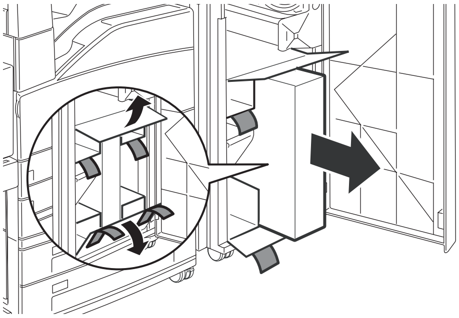
21 フィニッシャー内部の図の位置のワイヤを外し、注意書きラベルを取り外す



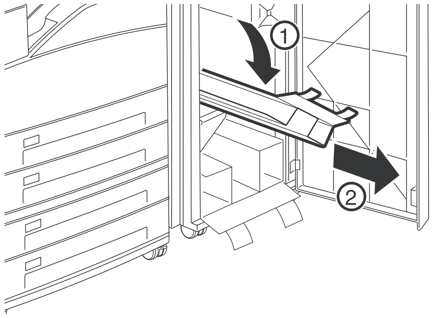
22 図の位置のテープを外し（①）、緩衝材を取り外す（②）



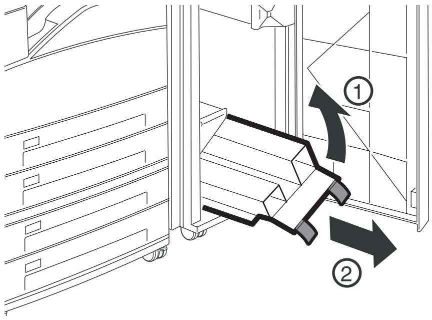
23 カバーＧ 内部の梱包箱（小）の上下にある緩衝材からテープ（４か所）を外し、梱包箱（小）を取り出す



24 上側の緩衝材を図のように傾けて（①）、取り出す（②）

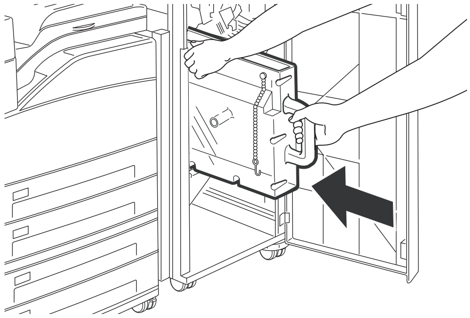


25 下側の緩衝材を図のように傾けて（①）、取り出す（②）

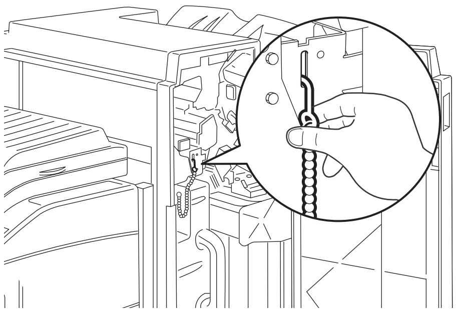


26 梱包箱（小）からパンチダストボックスを取り出し、ビニール袋を取り外す
パンチダストボックスから、落下防止用チェーンを止めているテープを外す

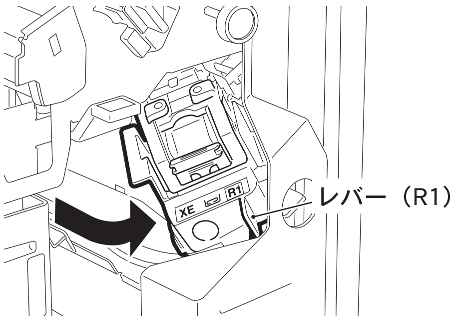
27 パンチダストボックスを図のように持ち、フィニッシャーへゆっくり挿入する



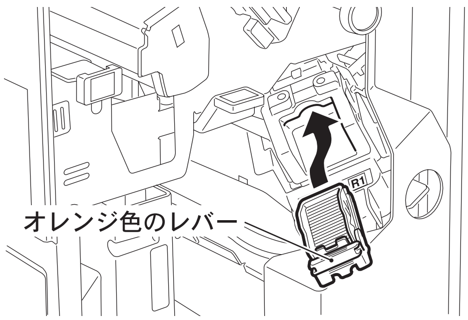
28 落下防止用チェーンのフックを図の位置の穴に引っかける



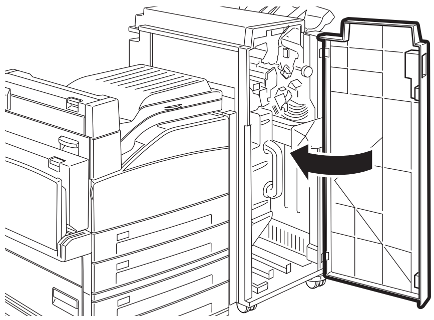
29 図のようにレバー（R1）を握って、ステープルカートリッジホルダーを右端（手前）へ引き寄せる



30 オレンジ色のレバーを持って、ステープルカートリッジをカチッと音がするまで押し込む



31 フィニッシャーのカバーG を閉じる



32 手順 **1** で取り外した電源コードを元に戻す

33 プリンタの電源スイッチの「|」側を押して、電源を入れる

これで、フィニッシャーの取り付けは完了です。

ガイド

- 設定の一覧を印刷すると、フィニッシャーが正しく取り付けられたかどうか確認できます。印刷方法は、「設定一覧の印刷」を参照してください。

  参照 「設定一覧の印刷」（55 ページ）参照

- フィニッシャーの取り付けをした場合は、必ずプリンタドライバで装置オプションの設定を行ってください。

  参照 プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

- 設置後にプリンタやフィニッシャーを移動させる場合は、「プリンタを移動するとき」を参照してください。

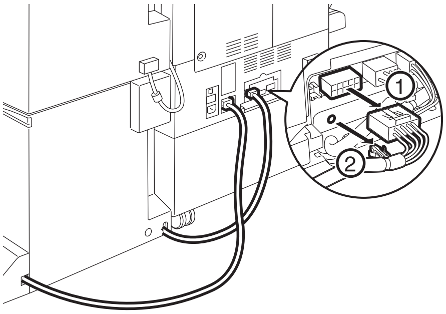
  参照 「プリンタを移動するとき」（125 ページ）参照

フィニッシャーを取り外す

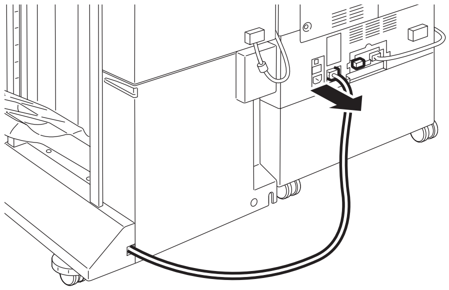
1. プリンタの電源スイッチの「⏻」側を押して、電源を切る
   電源コードを、コンセントおよびプリンタ本体から抜きます。

2. プリンタ背面にあるコネクタカバーを外す

3. フィニッシャーのケーブルをコネクタ①のフックを押しながら外し、ケーブル固定用のクランプ②を両端を押しながら外す。



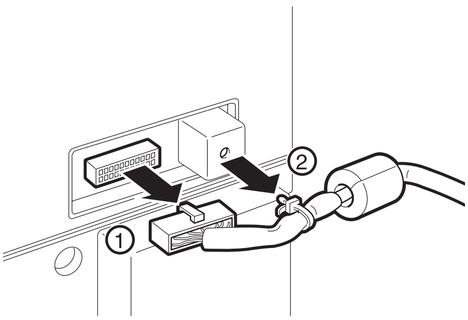
4. フィニッシャーの電源コードを外す



5. プリンタ背面のコネクタカバーを元に戻す

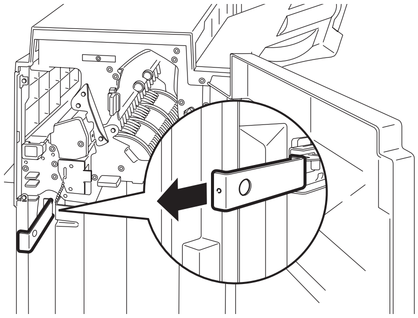
6. フィニッシャー背面にあるコネクタカバーを外す

7. フィニッシャー接続部のケーブルをコネクタ①のフックを押しながら外し、ケーブル固定用のクランプ②を両端を押しながら外す。

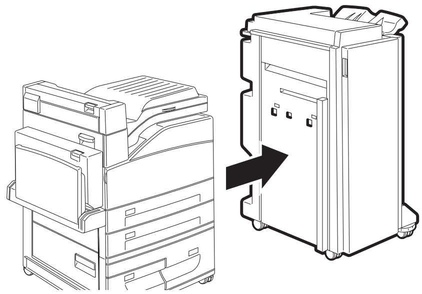


8 フィニッシャー背面のコネクタカバーを元に戻す

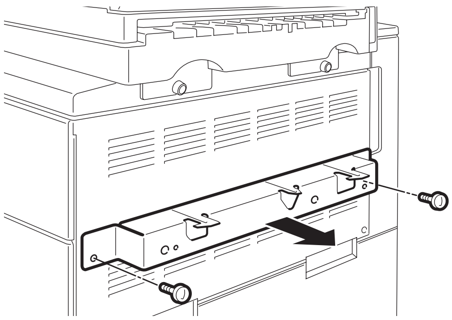
9 フィニッシャーのカバーGを開け、フィニッシャー内部の左側面にある金属板を引き出し、ロックを外す



10 フィニッシャーを右方向へ移動し、プリンタから離す

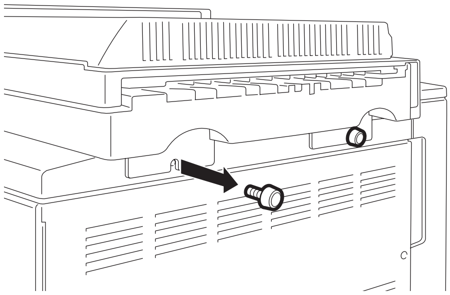


11 プリンタの右側面に取り付けた接続部品のネジを外し、接続部品を取り外す

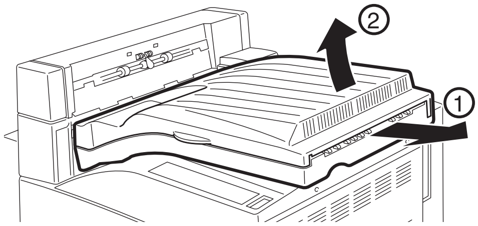


> **ガイド**
> 取り外したネジと接続部品は、大切に保管してください。

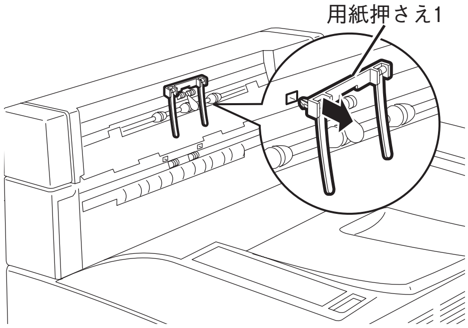
12 フィニッシャー接続部をプリンタに固定していたネジを外す



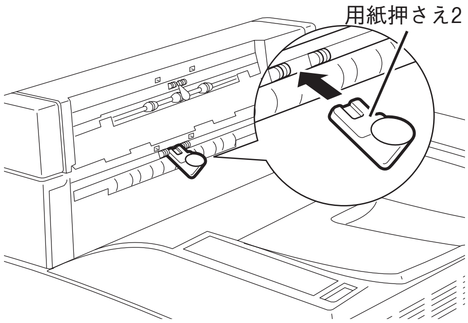
13 フィニッシャー接続部の右側を両手で持ち、手前に少し引いてから（①）、そのまま押し上げ（②）、フィニッシャー接続部を取り外す



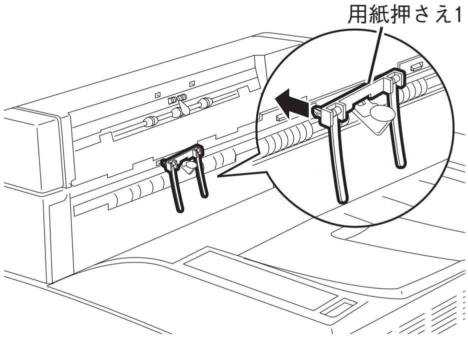
14 反転部の排出口にある用紙押さえ１を、左側のツメを押して取り外す



15 用紙押さえ２を取り付ける



16 手順**14**で取り外した用紙押さえ１を、プリンタ本体の排出口に取り付ける



運　用　編

第４章
日常の操作

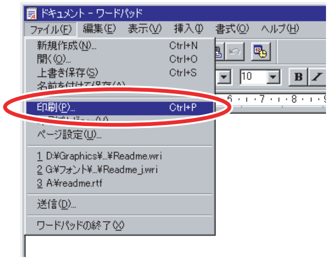
この章では、本プリンタで印刷するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

印刷手順

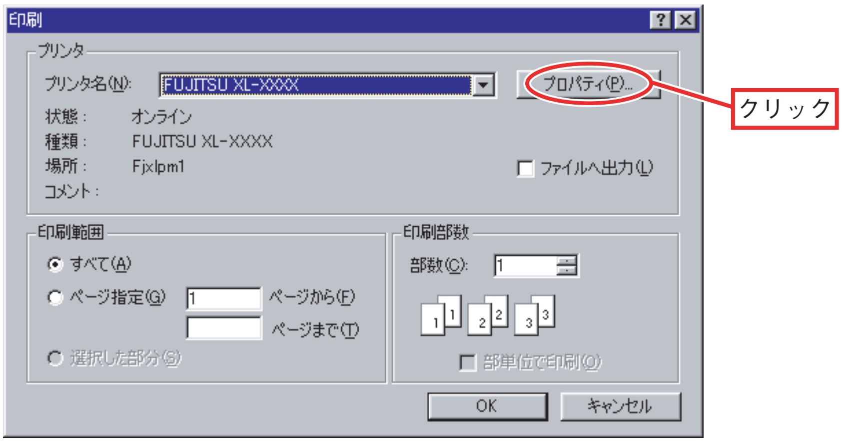
アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作について説明します。印刷手順はアプリケーションによって異なります。
ここでは、ワードパッドを例に説明します。

1. ワードパッドでデータを作成する

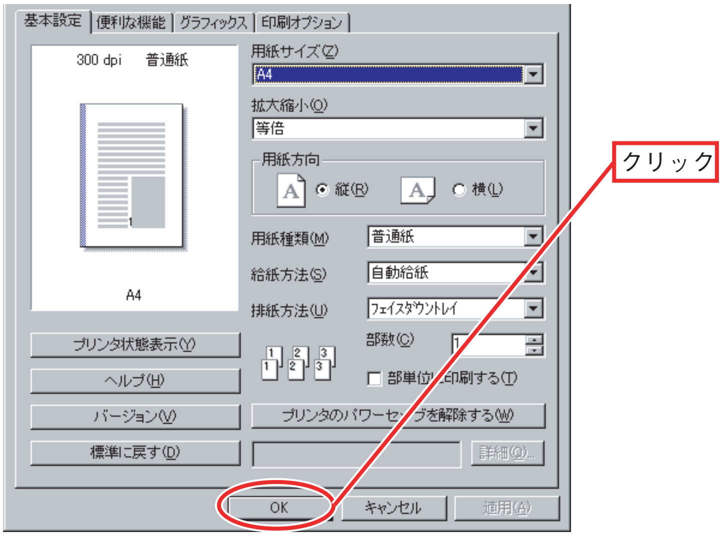
2. ［ファイル］メニューから［印刷］を選択する



3. プリンタが正しく選択されていることを確認し、［プロパティ］をクリックする



❹ 各項目を設定し、[OK] をクリックする



参照 各設定項目の詳細については、プリンタドライバの「ヘルプ」または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

参照 用紙をセットする方法については、「第 6 章　用紙について」(157 ページ) 参照

手順❸の画面に戻ります。

❺ [OK] をクリックする

印刷が開始されます。

参照 うまく印刷できないときは、「第 7 章　こんなときには」(165 ページ) 参照

ガイド

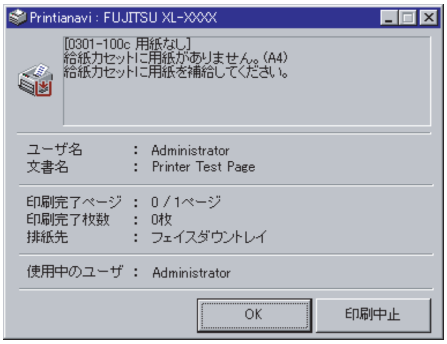
用紙の種類によっては、排出直後の用紙が熱くなっている場合がありますので、ご注意ください。

4

運用編

プリンタの状態確認（ポップアップ）

Printianavi を使うと、プリンタの状態をパソコン上で見ることができます。
Printianavi は、印刷が実行されるとプリンタのモニタを開始します。プリンタでエラーが発生すると、エラーの内容と対処方法を、パソコンの画面にポップアップ表示します。



参照　Printianavi によるエラー情報をポップアップ表示にするための設定、および詳細については、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

印刷の中止

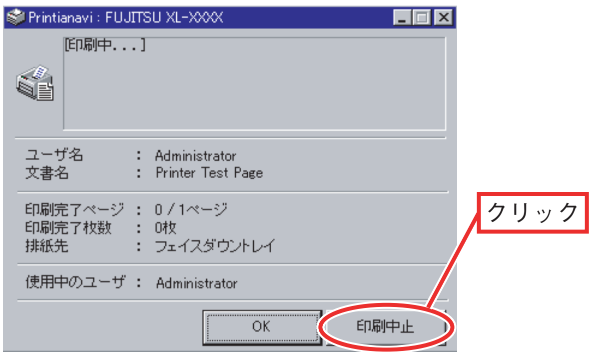
印刷開始後（オンラインランプ点滅後）、印刷を中止する 2 つの方法を説明します。

パソコンの画面から中止する（双方向通信機能が有効のとき）

パソコンから印刷を中止するときの操作は、［Printianavi］ダイアログの表示方法の設定によって異なります。

●ポップアップ表示のとき

［印刷中止］をクリックする



●エラー時ポップアップ表示または最小化のとき

タスクトレイのアイコンをダブルクリックし、［印刷中止］をクリックする

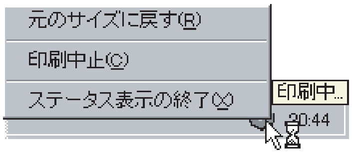


4

運用編

ガイド

タスクトレイのアイコンを右クリックし、「印刷中止」を選択して、印刷を中止することもできます。



オペレータパネルから中止する

オペレータパネルでプリンタをオフライン状態に切り替えて、リセットの操作をします。
プリンタをリセットすると、プリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら、印刷ジョブを削除します。
Printia XL ドライバから印刷しているときは、印刷ジョブの終了を検出するとリセット（初期化）を終了します。

1 印刷中に「オンライン」スイッチを押す

×××××には、使用ポートが表示されます。

印刷中の用紙を排出し、オフライン状態になります。

未処理のデータがある場合は、下段に「デ゛ータ　アリ」と表示されます。

```
インサツチュウ　ＸＸＸＸＸ
　　　　　　　　　１ーＡ４
```

↓「オンライン」

```
ハイシュツ　ショリチュウ
　　　　　　　　　１ーＡ４
```

↓

```
オフライン　　　ＸＸＸＸＸ
```

2 「リセット」スイッチを押す

このとき「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずに印刷を再開します。

↓「リセット」

```
ショキカ　シマスカ（Ｙ，Ｎ）？
リセット→Ｙ　オンライン→Ｎ
```

3 **再度「リセット」スイッチを押す**

プリンタを初期化します。
初期化が終了すると、オンライン状態に戻ります。

↓「リセット」

ショキカチュウ

ガイド

プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。Printianavi を使用しているときは、パソコン上の Printianavi メッセージ上から「印刷中止」または「印刷打ち切り」を行うことをお勧めします。

参照　オペレータパネルの詳細は、「第 5 章　オペレータパネルの操作」（129 ページ）参照

消耗品の交換と使用上のご注意

消耗品の交換のしかたと使用するときの注意事項について説明します。

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジ１本あたりの目安として、A4 サイズの用紙で印字率５％の場合、約 30,000 ページの印刷ができます。トナーの残りが少なくなると、トナーカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。トナーがなくなると継続して印刷ができなくなります。この場合は、直ちに新しいトナーカートリッジに交換してください。

参照　「トナーカートリッジを取り付ける」（44 ページ）参照

参照　「トナーカートリッジの交換方法」（105 ページ）参照

参照　トナーカートリッジに関する詳細は、「サプライ品一覧」（224 ページ）参照

警告

破　裂	トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナー粉が跳ねて火傷の原因になります。 使用済みのトナーカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。 参照　「使用済みカートリッジの回収サービス」（236 ページ）参照
誤　飲	・トナーが目や口に入らないように注意してください。トナーカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。 万一、目や口に入った場合は、直ちに医師と相談してください。 ・トナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

注意

故　障	トナーカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のトナーカートリッジを取り付けると、トナーカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因になる恐れがあります。

トナーカートリッジ交換時のお願い

- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。
- 常に、予備のトナーカートリッジを用意しておいてください。
- 装置の故障を防ぐため、本プリンタ専用品以外のトナーカートリッジをセットすると、次のようなエラーメッセージが表示される場合があります。本プリンタ用のトナーカートリッジに交換してください。

```
Ｊ８０３　トナー　イジ゛ョウ
トナーカートリッジ゛　コウカン
```

トナーカートリッジの交換に関する留意事項

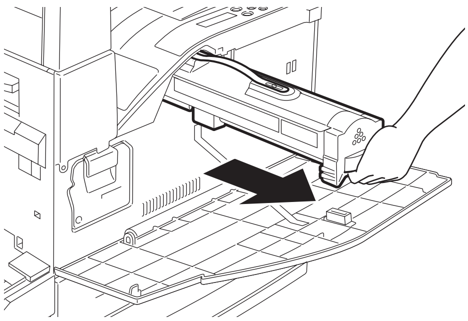
- トナーカートリッジの有効期限は、製造から 2 年間（開封後は 1 年間）です。安定した画質を維持するために、有効期限内でのご使用をお勧めします。
- トナーカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはトナーカートリッジの交換が必要です。
  - 全体的にカスレがある場合
  - 不鮮明な印刷状態が発生した場合
    適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき
- トナーカートリッジの交換は、プリンタの電源を入れた状態で行ってください。

トナーカートリッジの交換方法

次の手順に従って、トナーカートリッジを交換します。

1. プリンタが停止していることを確認し、フロントカバーの左右に手を掛け、フロントカバーを開ける

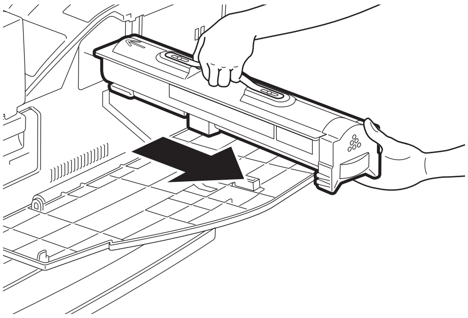
2. トナーカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、手前に静かに引き出す



4

運用編

3 トナーカートリッジの取っ手を持って、トナーカートリッジを静かに引き出す



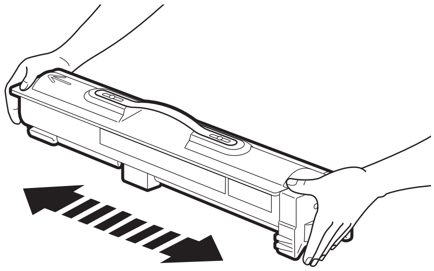
ガイド

・トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
・トナーカートリッジはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。

お願い

プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

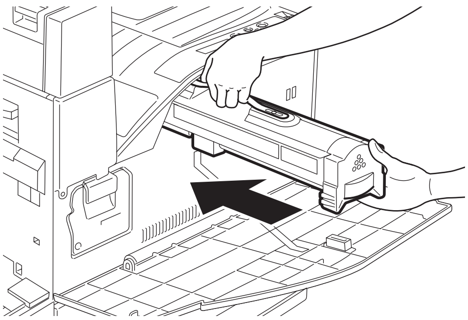
4 新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出し、図のように 7 ～ 8 回振る



ガイド

トナーの状態が均一でないと、印刷品質が低下することがあります。また、よく振らないと起動時に異常音やトナーカートリッジ内部の破損が発生することがあります。

5 トナーカートリッジの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に挿入する



ガイド

トナーカートリッジが確実にセットされていることを確認してください。

6 フロントカバーをしっかりと閉じる

ガイド

フロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、プリンタが動作しません。
新しいカートリッジに交換した際に、トナーの補給のため液晶ディスプレイに「トナー　ホキュウ　チュウ」と表示されますので、表示中はしばらくお待ちください。トナー補給には最大 100 秒程度かかる場合があります。

●使用済みカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みカートリッジを無償で回収しております。下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』
通話料無料　0120-300-693
月曜～金曜　8:40 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30
（祝日・年末年始を除く）

トナーカートリッジの取り扱いと保管

トナーカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

取り扱い上のご注意

トナーカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
- トナーカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。

保管上のご注意

トナーカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

- 使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲　0 ～ 35 ℃、湿度範囲　15 ～ 80%RH（ただし、結露のないこと）
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジ１本あたりの目安として、A4 サイズの用紙で片面連続印刷の場合、約60,000ページの印刷ができます。交換時期が近づくと、ドラムカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されますので、新しいドラムカートリッジを準備してください。ドラムカートリッジが寿命になると継続して印刷ができなくなります。この場合は、直ちに新しいドラムカートリッジに交換してください。

参照　「ドラムカートリッジを取り付ける」（46 ページ）参照

参照　「ドラムカートリッジの交換方法」（110 ページ）参照

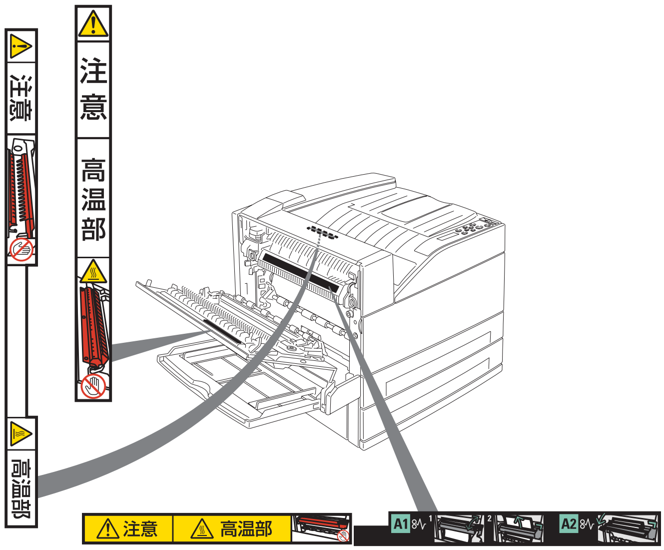
参照　ドラムカートリッジに関する詳細は、「サプライ品一覧」（224 ページ）参照

⚠ 警告

破　裂	ドラムカートリッジを火中に投じないでください。トナー粉が跳ねて火傷の原因になります。 使用済みのドラムカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。 参照　「使用済みカートリッジの回収サービス」（236 ページ）参照
誤　飲	・トナーが目や口に入らないように注意してください。ドラムカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。 万一、目や口に入った場合は、直ちに医師と相談してください。 ・ドラムカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

⚠ 注意

故 障	ドラムカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のドラムカートリッジを取り付けると、ドラムカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因になる恐れがあります。
やけど	プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因になることがあります。



ドラムカートリッジ交換時のお願い

ドラムカートリッジは、光に対して非常に敏感です。交換に際しては、次の点に注意してください。

- 直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも５分以上は放置しないでください。
- 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。
- 常に、予備のドラムカートリッジを用意しておいてください。
- 装置の故障を防ぐため、本プリンタ専用品以外のドラムカートリッジをセットすると、次のようなエラーメッセージが表示される場合があります。本プリンタ用のドラムカートリッジに交換してください。

```
Ｊ７０３　ﾄﾞﾗﾑ　ｲｼﾞｮｳ
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞ　ｺｳｶﾝ
```

- 次のエラーメッセージが表示された場合には、ドラムカートリッジ交換後に印刷可能状態になるまで約１０秒かかります。

```
Ｊ４０１　ﾄﾞﾗﾑ　ｲｼﾞｮｳ
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞ　ｺｳｶﾝ
```

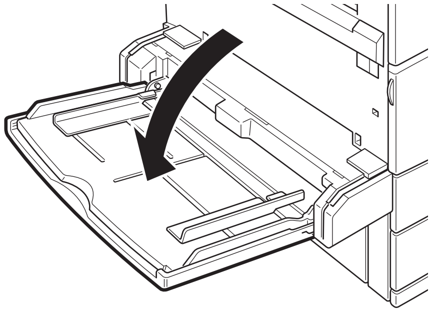
ドラムカートリッジの交換に関する留意事項

・ドラムカートリッジの有効期限は、製造から２年間（開封後は１年間）です。安定した画質を維持するために、有効期限内でのご使用をお勧めします。
・ドラムカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはドラムカートリッジの交換が必要です。
  - 縦のカスレや部分的なカスレがある場合
  - 不鮮明な印刷状態が発生した場合
    適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき

ドラムカートリッジの交換方法

次の手順に従って、ドラムカートリッジを交換します。

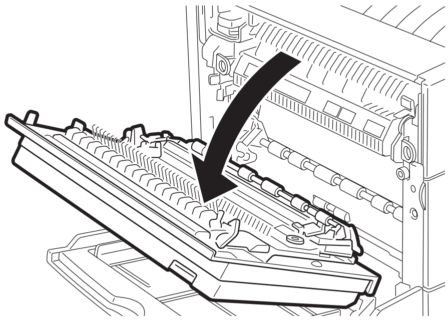
1. プリンタが停止していることを確認し、給紙トレイを開ける



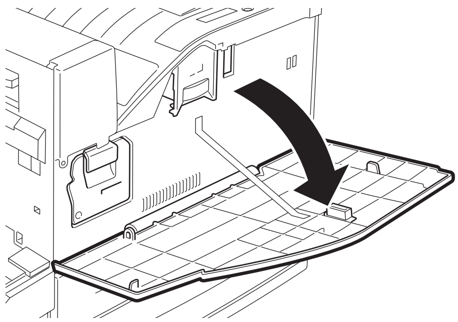
2. カバー A の右側上部にあるレバーを押し上げて、ロックを解除し、カバー A を開ける

お願い

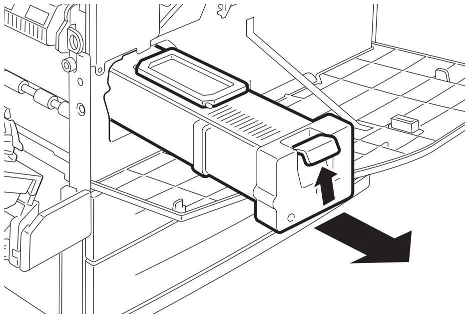
プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。



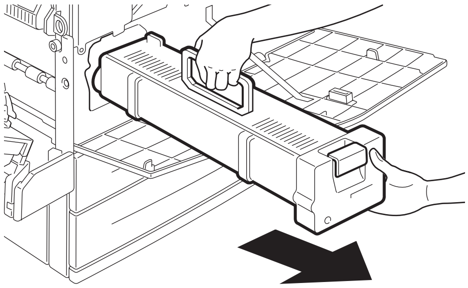
3. フロントカバーの左右に手を掛け、フロントカバーを開ける



4 ドラムカートリッジのレバーを引き上げ、ドラムカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、手前に静かに引き出す



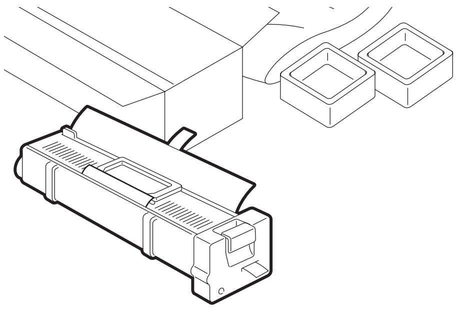
5 ドラムカートリッジの上部の取っ手を持って、ドラムカートリッジを静かに引き出す



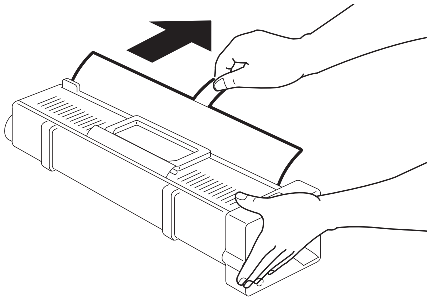
お願い

- プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。
- 必ず上部の取っ手を持ってドラムカートリッジを引き出してください。上部の取っ手を持たずにドラムカートリッジを引き出すと、ドラムカートリッジが抜け落ちて床を汚すことがあります。

6 新しいドラムカートリッジを梱包箱から取り出す



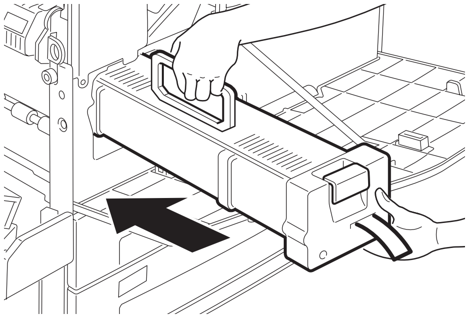
7 ドラムカートリッジを平らな場所に置き、保護紙に付いているテープを持って、図のように保護紙を静かに引き抜く



お願い

- 保護紙を引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中で紙が切れてしまうことがあります。
- 保護紙を引き抜いたあとは、ドラムカートリッジを振ったり、ドラムカートリッジに衝撃を与えたりしないでください。

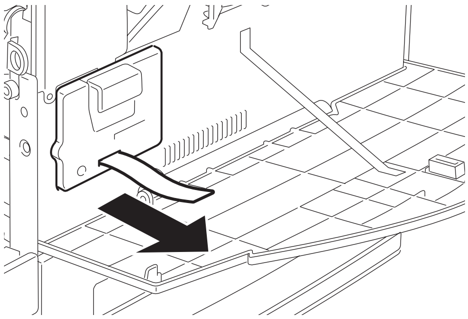
8 ドラムカートリッジの取っ手を持って、プリンタ内部の溝に沿って、奥に突き当たるまで差し込む



お願い

- プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。
- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

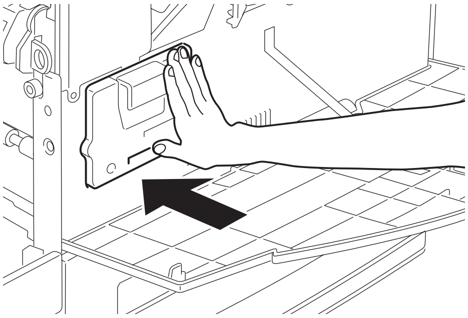
9 ドラムのテープを水平に静かに引き抜く



お願い

テープを引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。
テープの全長は約 67cm あります。

10 ドラムカートリッジを再度押し込む



11 カバー A をしっかり閉じる

12 フロントカバーをしっかり閉じる

お願い

フロントカバーやカバー A が少しでも開いていると、メッセージが表示され、プリンタが作動しません。

●使用済みカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みカートリッジを無償で回収しております。下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

通話料無料　0120-300-693

月曜～金曜　8:40 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30

（祝日・年末年始を除く）

ドラムカートリッジの取り扱いと保管

ドラムカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

取り扱い上のご注意

ドラムカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

・直射日光や強い光 (約 1500 ルクス以上) に当てないでください。
・室内の明かりの下でも、ドラムカートリッジを５分以上放置しないでください。
・ドラムカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
・寒いところから暖かいところに移動した場合は、１時間以上室温に慣らしてから使用してください。
・立てたり、裏返しにして置かないでください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
・トナーシールを引き抜いた後は、ドラムカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。
・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。

保管上のご注意

ドラムカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
・直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
　温度範囲　0 ～ 35 ℃、湿度範囲　15 ～ 80％RH（ただし、結露のないこと）
・高温多湿になる場所には置かないでください。
・立てたり、裏返しにして置かないでください。
・CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
・幼児の手の届かないところに保管してください。

トナーエンプティおよびドラム寿命について

本プリンタではトナーエンプティ時やドラム寿命時に装置の故障を防ぐため、動作を停止させており印刷ができなくなります。オペレータパネル上に「トナーロー」や「ドラム　コウカン」が表示された場合には、新しいカートリッジを準備してください。
「トナーロー」や「ドラム　コウカン」が表示されてから、「トナーエンプティ」や「ドラム　ジュミョウ」となって装置が停止するまでの印刷可能枚数の目安は以下となります（あくまでも目安であり、用紙種類や印刷条件などによって異なります）。

Ａ４用紙の場合

「トナーロー」～「トナーエンプティ」: 印字率５％にて、約 5,000 ページ
「ドラム　コウカン」～「ドラム　ジュミョウ」: 連続片面印刷にて、約 5,000 ページ

「トナーエンプティ」となって動作が停止した状態において、やむを得ずトナーカートリッジを交換しないで継続して使用しなければならない場合は、「カスタムモード」にすることで継続使用が可能になります。ただし「カスタムモード」は品質保証外のモードであり、本来の性能が発揮できない場合（※１）があります。そのまま使い続けると装置が故障する原因となることがあります。また「カスタムモード」時の装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償修理となりますので、ご留意ください。

※１：「トナーロー」の表示が出なくなる場合があります。

●カスタムモードの設定／解除方法について

「オンライン」表示中（待機状態）または「トナーエンプティ」エラー表示中に［設定］スイッチを３秒以上押してください。以下の表示になります。

```
  カスタムモード゛
▶  ＊カイシ゛ョ
```

［ ◀ ］［ ▶ ］スイッチを押して設定／解除を選択してください。

```
  カスタムモード゛        ←［◀］      カスタムモード゛
▶  ＊カイシ゛ョ          ［▶］→    ▶    セッテイ
```

〔設定〕スイッチを押して、「＊」を付けてください。「＊」が付いている方が選択されている状態です。以下は設定したい場合の表示です。

```
  カスタムモード゛
▶  ＊セッテイ
```

〔オンライン〕スイッチを押してください。

```
 カスタムモード゛  セッテイ      ←          テ゛ンケ゛ンヲ
 セイシ゛ョウ シュウリョウ    交互表示   ▶  ＯＦＦ／ＯＮ  シテクタ゛サイ
                                →
```

電源をＯＦＦ／ＯＮすると、選択した状態になります。

4

運用編

ステープル針を補給する

フィニッシャー（オプション）を装着している場合、ステープル針の交換時期が近づくと、操作パネルに次のようなメッセージが表示されます。

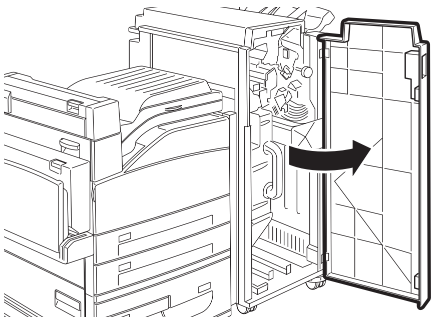
オンライン ハリコウカン

このメッセージが表示されると、ステープル針が残り少なくなっています。次の手順に従って、ステープルカートリッジにステープル針を補給してください。

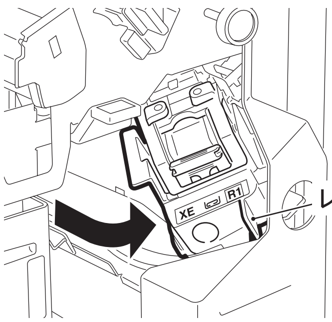
お願い

- 弊社が推奨していないステープル針を使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するステープル針をご使用ください。
- 新しいステープル針を発注するときは、「サプライ品一覧」（224 ページ）の商品コードを確認のうえ、販売店にご注文ください。

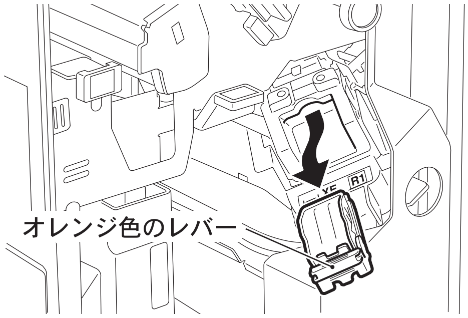
1. プリンタが停止していることを確認し、フィニッシャーのカバー G（フロントカバー）を開ける



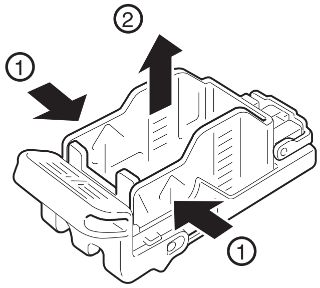
2. 図のようにレバー（R1）を握って、ステープルカートリッジホルダーを右端（手前）へ引き寄せる



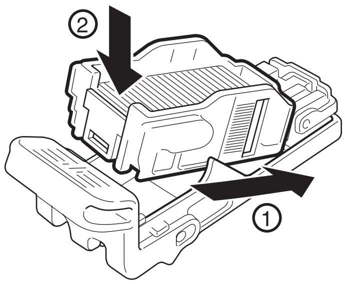
3 オレンジ色のレバーを図のように引き出し、ステープルカートリッジを取り出す



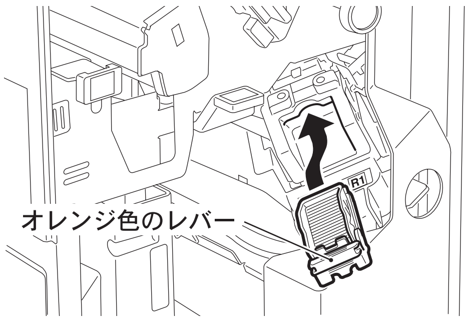
4 空になった針ケースの左右をつまみ（①）、図のようにカートリッジから取り出す（②）



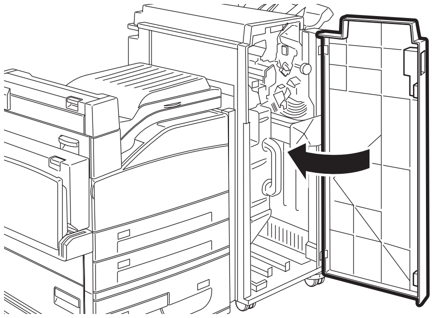
5 新しいステープル針ケースを、ステープルカートリッジに挿入する



6 オレンジ色のレバーを持って、ステープルカートリッジをカチッと音がするまで押し込む



7 カバーG を閉じる



プリンタの清掃

ここでは、プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるようにするため、プリンタの清掃の方法について説明します。

⚠ 注意		
	感　電	プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。
	けが やけど	プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。火災や故障の原因となります。

プリンタ外部の清掃

約 1 か月に 1 回、プリンタの外部を清掃してください。プリンタの外側を、水でぬらし固く絞った柔らかい布でふきます。そのあと、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて軽くふいてください。

お願い

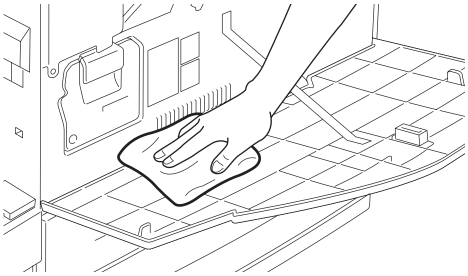
洗剤を直接プリンタに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

プリンタ内部の清掃

紙づまりの処置やドラムカートリッジ / トナーカートリッジの交換のあとは、カバー A やフロントカバーを閉める前に、内部の点検を行ってください。

⚠ 注意		
	けが やけど	「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。 なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないください。けがややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社ハードウェア修理相談センターまたは販売店にご連絡ください。

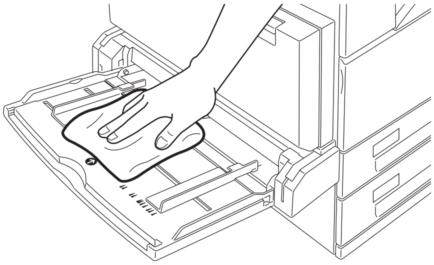
・紙片が残っている場合は、取り除きます。
・ホコリや汚れなどがある場合は、乾いた清潔な布などでふき取ります。



4

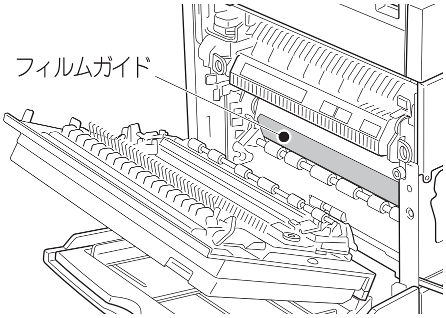
運用編

・給紙トレイの上部を乾いた清潔な布などでふき取ります。



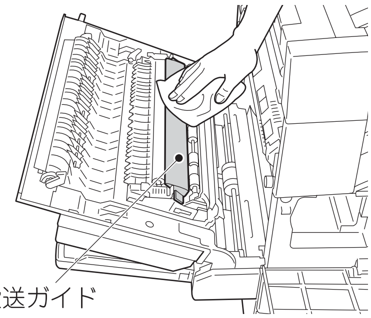
幅の狭い用紙を印刷した場合には、次の箇所を清掃してください。

・カバー A およびフロントカバーを開けてドラムカートリッジを引き出し、下図のフィルム状のガイドを乾いた清潔な布などでふき取ります。このとき、ガイドを折り曲げないように注意してください。



⚠ 注意	やけど　プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。高温注意ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因になることがあります。

・下図の搬送ガイドを乾いた清潔な布などでふき取ってください。



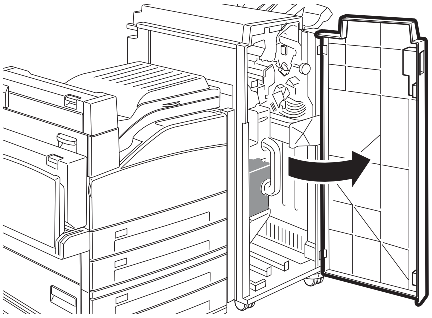
パンチ穴のクズを捨てる

フィニッシャー（オプション）を装着している場合には、パンチ穴のクズがパンチダストボックス（R4）にたまると、操作パネルに次のようなメッセージが表示されます。

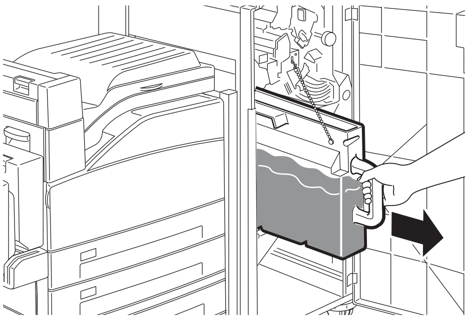
```
6302 ハ゜ンチ デ゛キマセン
タ゛スト ホ゛ックス フル
```

このメッセージが表示されたら、次の手順に従って、たまっているパンチ穴のクズを捨ててください。

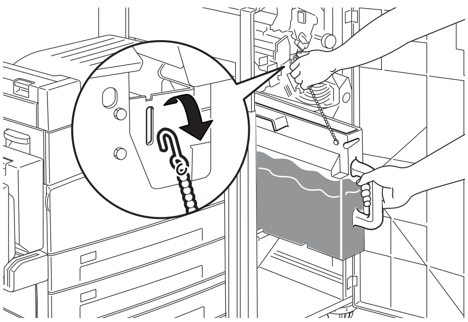
1. フィニッシャーのカバーＧ を開ける



2. パンチダストボックスの取っ手を右手で持ち、ホルダー上部にある取っ手が見えるまで、ゆっくり引き出す



3. ホルダー上部にある取っ手が見えたら、左手で落下防止用チェーンのフックを外す



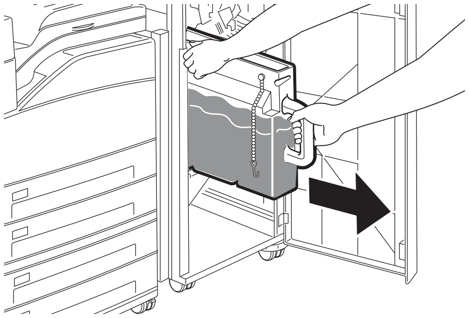
お願い

このときパンチダストボックスが床に落ちないように、気をつけてください。

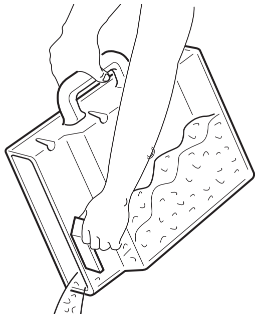
4 ホルダー上部の取っ手に左手を添え、両手でパンチダストボックスをゆっくり引き抜く

お願い

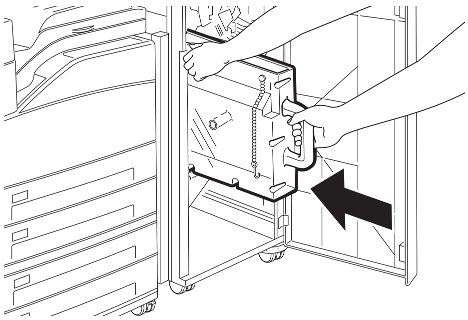
パンチダストボックスは、床に落とさないように、両手でしっかりと持って、引き抜いてください。



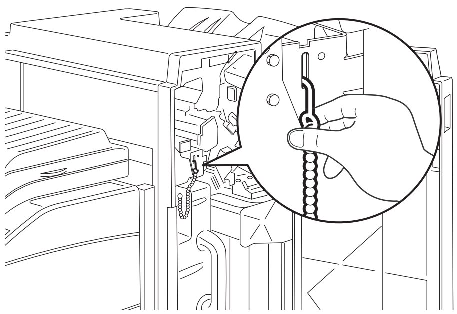
5 パンチ穴のクズを捨てる



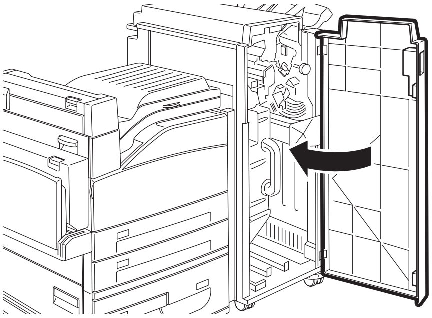
6 パンチダストボックスを元に戻す



7 落下防止用チェーンのフックを図の位置の穴に引っかける



8 カバー G を閉じる



プリンタを長時間使用しないとき

１週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

⚠ 警告

感 電	電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電の原因となる恐れがあります。
感 電 火 災	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因になることがあります。

1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「⏻」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

お願い

エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから電源を切ってください。

参照 「オペレータパネルのエラーメッセージ」（198 ページ）参照

2 用紙を取り出す

給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。

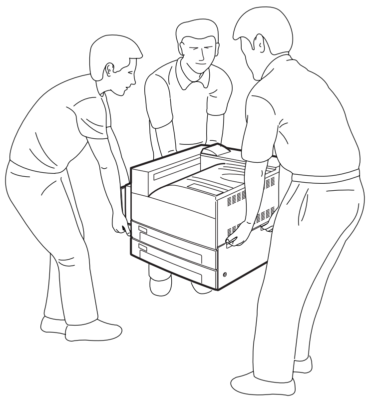
参照 用紙の保管については、「第６章　用紙について」（157 ページ）参照

プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

注意

けが　本製品は、オプションや用紙が入っていない状態で約48.3kgあります。プリンタを動かす場合は、必ず3人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ正面（操作パネル側）および背面に向かい、給紙トレイ両端の下部とプリンタ右側面にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。指定場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。



ガイド

オプション（プリンタRAMモジュールは除く）を取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体からオプションを取り外します。プリンタ本体やオプションは傷がつかないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

お願い

拡張給紙ユニットの下部に付いているキャスターは、平らな場所を移動するときのみ利用可能です。段差や10度を超える傾斜のある場所を移動する場合は、必ずプリンタ本体から拡張給紙ユニットを取り外し、持ち上げて移動してください。

近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「⏻」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

お願い

エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから、電源を切ってください。

参照　「オペレータパネルのエラーメッセージ」（198 ページ）参照

2 ケーブルを抜く

パラレルケーブルまたは USB ケーブルを外します。また、LAN ケーブルが接続されている場合、LAN ケーブルを外します。

3 排紙トレイの用紙を取り除く

排紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除きます。

4 給紙トレイ、給紙カセットの用紙を取り除く

給紙トレイ、給紙カセットをプリンタから引き出し、用紙を取り除きます。

参照　用紙の保管については、「第６章　用紙について」（157 ページ）参照

5 ドラムカートリッジを取り外す

プリンタ内部からドラムカートリッジを取り外します。

参照　「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照

お願い

- **ドラムカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。**
- **取り外したドラムカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれることがあります。**
- **取り外したドラムカートリッジは、強い光に当てないように、ビニール袋に入れるか、厚い布などに包んでください。**

6 適切な場所に、プリンタを設置し直す

参照　設置し直すときの手順については、
「第２章　プリンタ本体の設置」（35 ページ）参照

梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。

1 付属品を取り外す

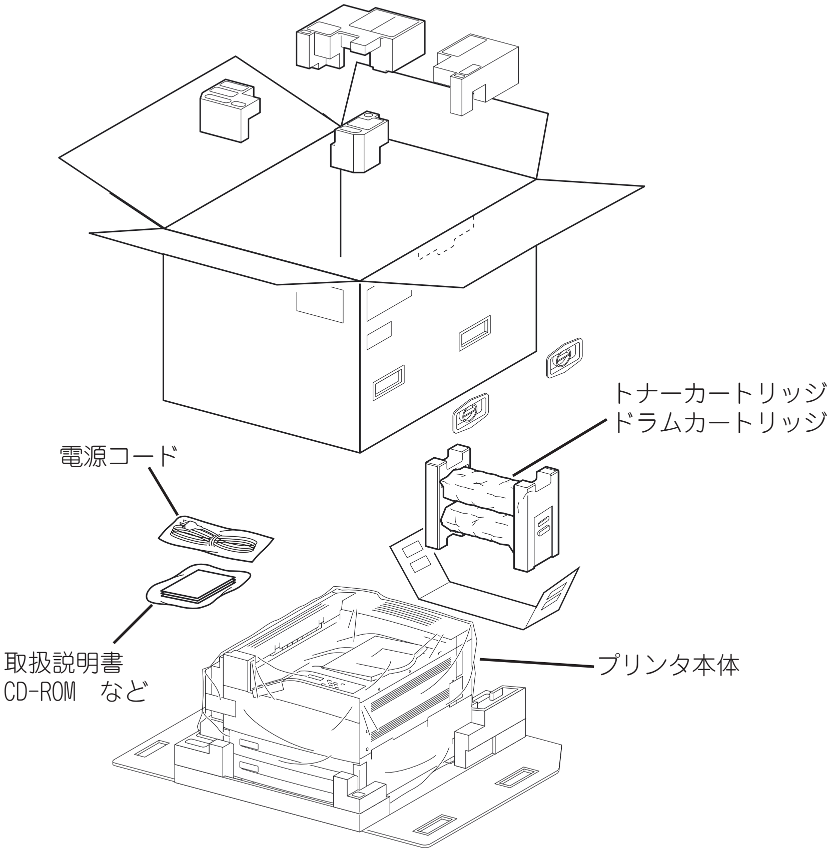
参照 「近くに移動する」の1～4（126 ページ）参照

2 梱包し直す

下図のように梱包して、運搬してください。
精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱ってください。

- 梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。
- ドラムカートリッジは必ずプリンタから取り出してください。取り出したドラムカートリッジはビニール袋等に入れて運搬してください。

参照 「ドラムカートリッジの取り扱いと保管」（114 ページ）参照

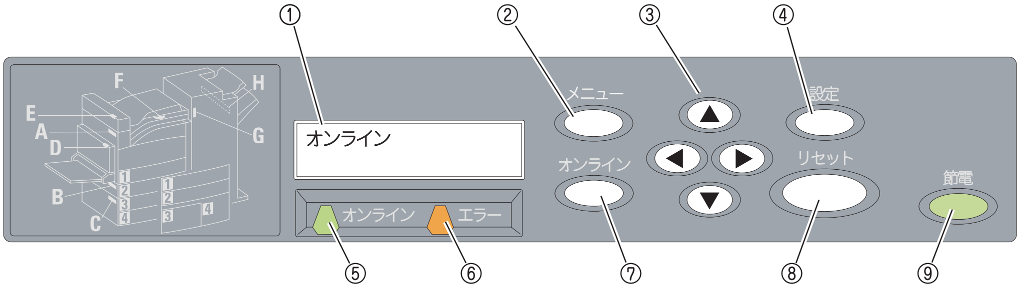


第5章
オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

オペレータパネル

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。



①	液晶ディスプレイ	プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。（1 行 16 文字の 2 段に表示されます。）	
②	メニュースイッチ	プリンタをメニューモードにします。メニューモードでは、プリンタに関する各種の設定を行います。メニューモードを終了するときも使用します。	
③	▲▼◀▶ スイッチ	メニューモードのときに、設定項目および設定値の選択に使用します。	
④	設定スイッチ	メニューモードのときに、選択した値を有効にします。また、印刷中止の確認など、プリンタが一時停止している印刷を続行します。	
⑤	オンラインランプ	オンラインランプは、プリンタが印刷できる状態かどうかを知らせます。	
		点灯	印刷できる状態または印刷中です。
		点滅	データ受信中です。
		消灯	印刷できない状態です。
⑥	エラーランプ	プリンタの異常を知らせます。	
		点灯	プリンタでエラーが発生していることを示します。
		消灯	プリンタが正常に印刷できる状態であることを示します。
⑦	オンラインスイッチ	「オンライン」「オフライン」が切り替わります。また、メニューモードを解除します。	
⑧	リセットスイッチ	印刷を中止します。また、テスト印刷（連続印刷）を中断します。	

⑨	節電中ランプ／ 節電スイッチ	節電中ランプは、プリンタが節電状態かどうか知らせます。 節電スイッチを押すと節電状態を解除します。	
		点灯	節電状態であることを示します。
		消灯	節電状態が解除されていることを示します。

参照 「メニュー」「▲」「▼」「◀」「▶」の各スイッチについては、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（136 ページ）参照

液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、エラーが発生したときの内容などを表示するものです。１行 16 文字で２段に表示されます。
エラーが発生すると「エラー」ランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

ガイド

エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「第７章　こんなときには」の「オペレータパネルのエラーメッセージ」（198 ページ）を参照してください。

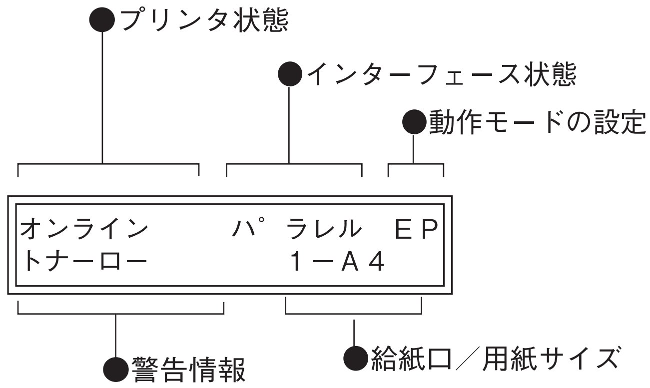
電源投入時の表示内容

プリンタの電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。

参照　「プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認」（50 ページ）参照

オンライン（印刷できる状態）時の表示内容

印刷可能状態のときに液晶ディスプレイに表示される内容について説明します。



項目	表示内容	説明
プリンタ状態	プリンタの状態を表示します。	
	オンライン	オンライン状態または印刷データを受信中です。
	オフライン	オフライン状態です。
	インサツチュウ	印刷を行っています。
	シ゛ュンヒ゛	ウォームアップ中、またはクールダウン中（＊）です。
	セツテ゛ン	パワーセーブ中（節電１）です。
インターフェース状態	データを受信したポート状態を表示します。	
	ハ゜ラレル	パラレルポート経由でパソコンと通信しています。
	ＬＡＮ	LAN ポート経由でパソコンと通信しています。
	ＵＳＢ	USB ポート経由でパソコンと通信しています。

＊：大量の連続印刷中や、異なる用紙設定に切り替えて印刷する場合に、定着器の過熱を防ぐために冷やしています。

項目	表示内容	説明
動作モード	プリンタの動作モードを表示します。エミュレーション設定が「ESC/P」の場合は、Printia XL ドライバからの印刷時、動作モードを自動で切り替えます。(初期値はエミュレーション設定「解除」)	
	ＥＰ	ESC/P モード
	ＨＸ	HEX ダンプ印刷モード
	表示なし	Printia XL ドライバの印刷動作中
	ＭＷ	Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ書き込み中
	ＭＲ	Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ読み出し中
警告情報	警告情報を表示します。	
	表示なし	警告なし
	デ゛ータ　アリ	未処理データがある状態
	ト゛ラムコウカン	ドラムカートリッジの交換準備
	トナーロー	トナーの残りが少なくなった状態
	ハリコウカン	ステープル針なし
	ソウチシ゛ュミョウ	プリンタが寿命に達した状態
	テイチャクコウカン	定着器の交換時期
	キット A　コウカン	定期交換キット A の交換時期
	キット B　コウカン	定期交換キット B の交換時期
	キット C　コウカン	定期交換キット C の交換時期
	テイチャク	定着器交換準備
	キット A	定期交換キット A の交換準備
	キット B	定期交換キット B の交換準備
	キット C	定期交換キット C の交換準備
	カセットカクニン n	カセットなし状態
	サイズ゛カクニン n	用紙サイズエラー状態
	ハイシトレイフル	フェイスダウントレイフル
	トップ゜トレイフル	トップトレイフル
	スタッカトレイフル	スタッカトレイフル

項目	表示内容	説明
給紙口／用紙サイズ	印刷中の給紙口と用紙サイズを表示します。	
	【給紙口】	
	１－	給紙カセット１から、給紙、印刷中です。
	２－	給紙カセット２から、給紙、印刷中です。
	３－	給紙カセット３から、給紙、印刷中です。
	４－	給紙カセット４から、給紙、印刷中です。
	Ｍ－	給紙トレイから、給紙、印刷中です。
	【用紙サイズ】	
	Ａ３	A3 用紙を給紙、印刷中です。
	Ａ４	A4 用紙を給紙、印刷中です。
	Ａ５	A5 用紙を給紙、印刷中です。
	Ｂ４	B4 用紙を給紙、印刷中です。
	Ｂ５	B5 用紙を給紙、印刷中です。
	ＬＧＬ	リーガル用紙を給紙、印刷中です。
	ＬＴＲ	レター用紙を給紙、印刷中です。
	ハカ゛キ	郵便はがきを給紙、印刷中です。
	フテイ	ユーザ定義サイズの用紙を給紙、印刷中です。

節電時の表示内容

プリンタが節電２の状態になると、液晶ディスプレイの表示が消え、節電中ランプが点灯します。印刷データを受信するか節電スイッチを押すことにより、ウォームアップを開始し、オンライン状態となります。

トナーカートリッジ交換時の表示内容

トナーカートリッジを交換した際に、トナー補給のため液晶ディスプレイの表示が以下のようになります。

```
トナー　ホキュウ　チュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ
```

表示が消えるまで、しばらくお待ちください。

ガイド

トナー補給には、最大 100 秒程度かかります。

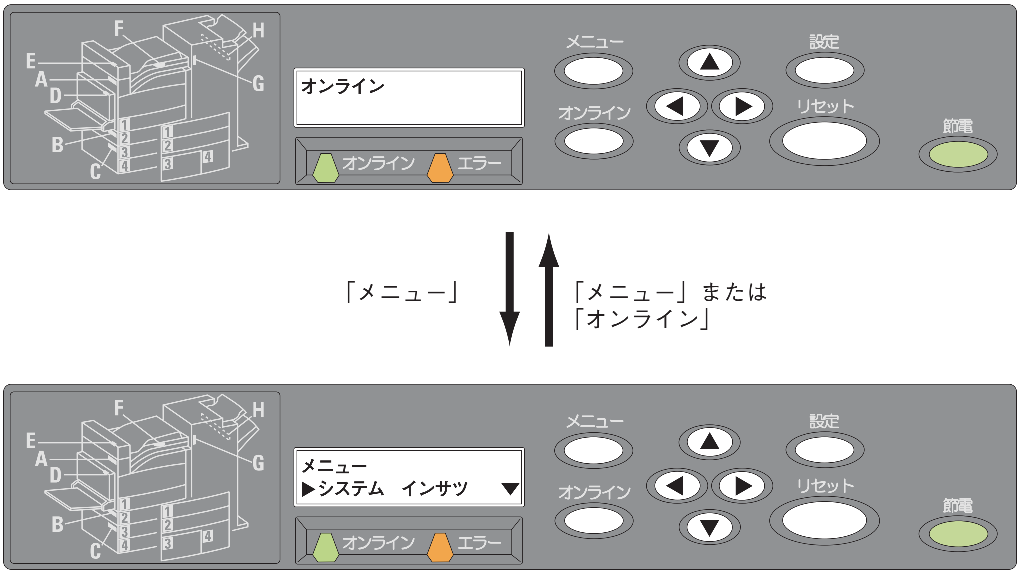
オペレータパネルからの設定（メニューモード）

プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、メニューモードで行います。

参照　メニューモードで設定できる項目（レベルおよび設定値）は、「メニューモードの項目一覧」（139 ページ）参照

基本的な操作

メニューモードに入るときは、「メニュー」スイッチを押します。
メニューモードを終了させるには、「メニュー」または「オンライン」スイッチを押します。



メニューモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示し、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

ガイド

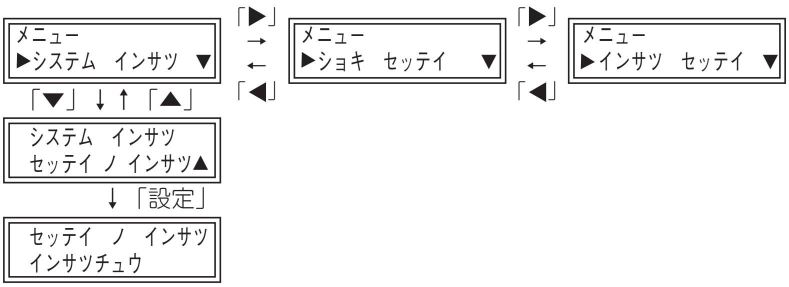
- プリンタがオフライン状態、オンライン状態のいずれの場合も、「メニュー」スイッチを押せばメニューモードに移行します。ただし、印刷の途中（オンラインランプ点滅中や「デ゛ータ　アリ」表示中）は、メニューモードに入ることはできません。電源を入れてからしばらく経っている場合、オペレータパネルに「セツデン」と表示されることがありますが、メニューモードに入れます。
  節電中ランプが点灯していてオペレータパネルに何も表示されていない場合は、メニューモードに入れません。「節電」スイッチを押して節電状態を解除してください。
- オペレータパネルの操作を制限している場合は、次の画面が表示され、パスワードの入力が必要になります。

```
  ハ゜スワート゛
▶ [_        ]
```

参照　「オペレータパネルの操作制限」（154 ページ）参照

メニューモードでは、次のスイッチを使用します。

「◀」または「▶」スイッチ	同じレベルで項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。
「▼」または「▲」スイッチ	下のレベルまたは上のレベルに移動します。
「設定」スイッチ	表示された値に設定するときや、システム印刷を行うときに押します。



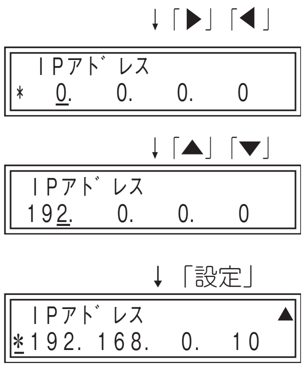
5

運用編

●スイッチの使い分けと設定例

「◀」「▶」スイッチをカーソルの移動に使用している場合は、設定値は「▼」「▲」スイッチを使用します。
IP アドレスの設定を以下に示します。

1. 「◀」「▶」スイッチで、設定するブロックにカーソルを移動する
2. 「▲」（加算）、「▼」（減算）スイッチで値を設定する
3. 各ブロックの設定が終わったら「設定」スイッチを押す
4. 「メニュー」スイッチ、または「オンライン」スイッチを押す



●プリンタのリセット

プリンタは、「IP アドレス設定」、「LAN 設定」、「USB ポート設定」-「受信バッファ」内の設定値を変更し、「メニュー」スイッチまたは「オンライン」スイッチでメニューモードを終了した場合にリセットされます。

●テスト印刷（連続印刷）の終了

「テスト印刷」の連続印刷は、「リセット」スイッチを押すと終了します。

メニューモードの項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値に記載された「＊」および数値は、工場出荷時に登録される初期設定を示します。

参照　各項目の設定方法については、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（136 ページ）参照

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
システム印刷	設定の印刷					現在のプリンタの設定内容を印刷します。
	HEX ダンプ印刷（*4）					ヘキサダンプ形式で印刷します。
	テスト印刷				格子連続 1	格子を 600dpi で連続で印刷します。
					格子連続 2	格子を 300dpi で連続で印刷します。
					格子連続 3	格子を 1200dpi で連続で印刷します。
					ESC/P 印刷（*4）	ESC/P モードで使用する文字をエミュレーション解像度でテスト印刷します。
					フィニッシャー（*11）	フィニッシャーをテストします。（*13）
	消耗品レポート					消耗品の警告履歴のレポートを印刷します。
初期設定	IP アドレス設定（*1）	DHCP 自動取得		＊	設定	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを DHCP により自動取得します。
					解除	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを DHCP により自動取得しません。
		IP アドレス（*2）			XXX.XXX.XXX.XXX	IP アドレスを設定します。
		サブネットマスク（*2）			XXX.XXX.XXX.XXX	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ（*2）			XXX.XXX.XXX.XXX	ゲートウェイを設定します。ゲートウェイを使用しない場合は、0.0.0.0 に設定してください。
	LAN 設定	MAC アドレス			表示	MAC アドレスを表示します。
		Ethernet タイプ（*7）		＊	自動	自動検出して動作します。
					100Mbps フル	100Mbps（Full）で動作します。
					100Mbps ハーフ	100Mbps（Half）で動作します。
					10Mbps	10Mbps で動作します。
		TCP/IP プロトコル		＊	有効	TCP/IP を有効にします。
					無効	TCP/IP を無効にします。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
初期設定	LAN 設定	ポート番号 (*1)	印刷ポート番号		9313	印刷を行うときに使用するポート番号を設定します。[1 ～ 65535]
			検索ポート番号		9313	ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を設定します。[1 ～ 65535]
		サービス設定 (*1)(*9)	プリンタ検索	＊	有効	ネットワーク内のプリンタを検索する機能を有効にします。
					無効	ネットワーク内のプリンタを検索する機能を無効にします。
			インターネットサービス	＊	有効	WEB ブラウザでプリンタの状態を確認することや設定を更新することができます。
					無効	WEB ブラウザでのプリンタの状態確認や、設定が無効になります。
			SNMP	＊	有効	SNMP を有効にします。
					無効	SNMP を無効にします。
			プリンタ起動通知	＊	有効	プリンタ起動時にネットワークに通知します。
					無効	プリンタ起動時にネットワークに通知しません。
			BPP 印刷	＊	有効	Printianavi ネットワークポートモニタでの LAN ポート印刷を有効にします。
					無効	Printianavi ネットワークポートモニタでの LAN ポート印刷を無効にします。
			IPP 印刷	＊	有効	IPP による印刷を有効にします。
					無効	IPP による印刷を無効にします。
			LPR 印刷	＊	有効	LPR 印刷を有効にします。
					無効	LPR 印刷を無効にします。
			RAW 印刷	＊	有効	RAW 印刷を有効にします。
					無効	RAW 印刷を無効にします。
		アクセス管理 (*1)(*8)(*10)			有効	プリンタにアクセスするホストを IP アドレスで制限します。(IP アドレスの範囲は Printia LASER Internet Service で設定します。)
				＊	無効	プリンタへのアクセスを制限しません。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
初期設定	ポート設定	パラレル ポート設定	双方向 モード	＊	設定	双方向インターフェースを有効にします。
					解除	双方向インターフェースを無効にします。
			INIT 受信	＊	有効	INIT 信号を受信したときの初期化動作を有効にします。
					無効	INIT 信号を受信したときの初期化動作を無効にします。
			タイムアウ ト時間		30 秒	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。 ［10 ～ 3600 秒］10 秒単位
		USB ポート 設定	双方向 モード	＊	設定	双方向インターフェースを有効にします。
					解除	双方向インターフェースを無効にします。
			タイム アウト時間		30 秒	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。 ［10 ～ 3600 秒］10 秒単位
			受信バッ ファ	＊	標準	USB の受信バッファ容量を設定します。
					MIN	
					MAX	
	管理／ 初期化	メニュー 操作制限 (*9)			設定	オペレータパネルをロックし、パスワードの入力を要求します。
				＊	解除	オペレータパネルの操作が有効になります。
		LAN 初期化				LAN に関する設定値を工場出荷時の値に戻します。
		設定初期化				すべての設定値を工場出荷時の値に戻します。 (LANに関する設定を除きます。)
		パスワード 変更				オペレータパネルをロックしているときに要求されるパスワードを変更します。パスワードは 4 ケタ以内の数字を入力します。
		消耗品履歴 初期化				消耗品レポートに表示される消耗品の警告履歴をクリアします。

レベル１	レベル２	レベル３	レベル４		設定値	機能〔範囲〕
初期設定	その他の設定	節電モード			節電１	節電時間で設定した時間、印刷しない場合に自動的に定着器をオフにします。
				＊	節電２	節電時間で設定した時間、印刷しない場合に定着器、液晶ディスプレイ表示をオフにします。
		節電時間			３分	設定した値が経過すると、節電モードで設定したモードに遷移します。
					15 分	
				＊	30 分	
					60 分	
					240 分	
		ブザー		＊	設定	エラー時にブザーを鳴動させます。
					解除	エラー時にブザーを鳴動させません。
		タッチ音		＊	設定	スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らします。
					解除	スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らしません。
		主走査方向位置	給紙トレイ		0.0mm	給紙トレイ、各カセット、両面ユニットのスキャンする方向（横ライン）の位置を調整します。 [-2.0～2.0mm] 0.2mm単位
			カセット１			
			カセット２			
			カセット３ (*3)			
			カセット４ (*3)			
			両面ユニット (*5)			
		副走査方向位置	給紙トレイ		0.0mm	給紙トレイ、各カセット、両面ユニットの紙送り方向（縦ライン）の位置を調整します。 [-2.0～2.0mm] 0.2mm単位
			カセット１			
			カセット２			
			カセット３ (*3)			
			カセット４ (*3)			
			両面ユニット (*5)			
		エミュレーション設定		＊	解除	プリンタを XL ドライバモードで動作させます。
					ESC/P	プリンタを ESC/P エミュレーションモードで動作させます。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4		設定値	機能〔範囲〕
印刷設定	給紙口			*	カセット 1	1 段目の給紙ユニットから給紙します。
					カセット 2	2 段目の給紙ユニットから給紙します。
					カセット 3 (*3)	3 段目の給紙ユニットから給紙します。
					カセット 4 (*3)	4 段目の給紙ユニットから給紙します。
					給紙トレイ	給紙トレイから給紙します。
	自動給紙設定	給紙トレイ		*	有効	自動給紙を行います。
		カセット 1			無効	自動給紙を行いません。
		カセット 2				
		カセット 3 (*3)				
		カセット 4 (*3)				
	給紙トレイ用紙サイズ			*	A4	A4 サイズに設定します。
					B5	B5 サイズに設定します。
					A5	A5 サイズに設定します。
					リーガル	リーガルサイズに設定します。
					レター	レターサイズに設定します。
					ハガキ	はがきサイズに設定します。
					不定形	ユーザ定義サイズに設定します。このときの用紙サイズは、「不定形サイズ」の「不定形幅」および「不定形長さ」で設定します。
					A3	A3 サイズに設定します。
					B4	B4 サイズに設定します。
	不定形サイズ	不定形幅			297mm	給紙トレイにセットする不定形用紙の横の長さを指定します。 [100 ～ 297mm] 1mm 単位
		不定形長さ			420mm	給紙トレイにセットする不定形用紙の縦の長さを指定します。 [148～420mm] 1 mm単位
	両面印刷 (*5)			*	解除	システム印刷時およびESC/P 印刷時に両面印刷を行いません。（片面印刷）
					設定	システム印刷時およびESC/P 印刷時に両面印刷を行います。
	オフセット排紙			*	設定 (*12)	1 回（1 部）の印刷ごとに用紙排紙の位置を交互にシフトします。
					解除	オフセット排紙を行いません。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4		設定値	機能〔範囲〕
印刷設定	排紙口 (*11)			＊	スタッカトレイ	スタッカトレイに排紙します。
					フェイスダウントレイ	フェイスダウントレイに排紙します。
					トップトレイ	トップトレイに排紙します。
	印刷方向 (*4)			＊	縦	用紙の短い辺に対して平行に印刷します。上端 / 左端の余白は固定になります。
					縦余白	用紙の短い辺に対して平行に印刷します。縦余白設定で設定した余白を付けて印刷します。
					横	用紙の長い辺に対して平行に印刷します。上端 / 左端の余白は固定になります。
					横余白	用紙の長い辺に対して平行に印刷します。横余白設定で設定した余白を付けて印刷します。
	縮小印刷 (*4)			＊	100%	縮小せずに印刷します。
					75%	75%に縮小して印刷します。
					70%	70%に縮小して印刷します。
					リスト印刷 A4	ストックフォーム用の印刷データを 75％に縮小して A4 用紙に横方向で印刷します。
					リスト印刷 B4	ストックフォーム用の印刷データを B4 用紙に横方向で印刷します。
	コピー枚数 (*4)				1 枚	印刷する部数を設定します。〔1 ～ 999 枚〕
	とじしろ方向 (*4)			＊	長辺とじ	長辺側をとじしろとします。
					短辺とじ	短辺側をとじしろとします。
	とじしろモード (*4)			＊	左 / 上とじ	左側、または上側をとじます。
					右 / 下とじ	右側、または下側をとじます。
	とじしろ量 (*4)	表			0mm	表面のとじしろ量を設定します。〔0 ～ 30mm〕1mm 単位
		裏 (*5)			0mm	裏面のとじしろ量を設定します。〔0 ～ 30mm〕1mm 単位
	スムージング (*4)			＊	設定	印刷結果を滑らかにします。
					解除	印刷結果を滑らかにしません。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
印刷設定	トナーセーブ (*4)			＊	解除	トナーを節約しません。
					設定	トナーを節約します。
	データなし印刷 (*4)			＊	解除	データのないページを印刷しません。
					設定	データのないページを印刷します。
	タイマー監視印刷 (*4)			＊	解除	タイマー監視印刷を行いません。
					30 秒	監視時間を 30 秒にします。
					10 秒	監視時間を 10 秒にします。
EP モード設定 (*4)	文字コード			＊	カタカナ	カタカナコード表を使用します。 参照 『オンラインマニュアル』「エミュレーション編」参照
					グラフィック	拡張グラフィックコード表を使用します。 参照 『オンラインマニュアル』「エミュレーション編」参照
	給紙位置 (*6)			＊	8.5mm	印刷開始位置を用紙の上辺から 8.5mm に設定します。
					22mm	印刷開始位置を用紙の上辺から 22mm に設定します。
	右マージン位置			＊	用紙幅	用紙幅に合わせて右マージンを設定します。右マージンは，使用する用紙サイズの印刷領域の右端までです。
					136 桁	用紙サイズに関係なく 136 桁（13.6 インチ）に設定します。用紙幅が 136 桁に満たない場合，印刷領域を越えた部分は印刷されません。
	ANK 文字			＊	ローマン	ANK 文字の書体をローマンにします。
					サンセリフ	ANK 文字の書体をサンセリフにします。
	漢字書体			＊	明朝	漢字の書体を明朝体にします。
					ゴシック	漢字の書体をゴシック体にします。
	CR コード			＊	CR のみ	CR 動作（復帰のみ）を行います。
					CR&LF	CR 動作（復帰）と LF 動作（改行）を行います。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値	機能〔範囲〕
EP モード設定 (*4)	縦余白設定	縦上端余白		8.5mm	縦印刷のときの上端余白を設定します。 [給紙位置 (*6) ～ 50.0mm] 0.1mm 単位
		縦左端余白		5.0mm	縦印刷のときの左側余白を設定します。 [5.0～50.0mm] 0.1mm単位
	横余白設定	横上端余白		8.5mm	横印刷のときの上端余白を設定します。[給紙位置 (*6) ～ 50.0mm] 0.1mm 単位
		横左端余白		5.0mm	横印刷のときの左側余白を設定します。 [5.0～50.0mm] 0.1mm単位
	印字位置調整	縦印字位置		0.0mm	印刷時の縦印字位置を設定します。[-30.0mm ～ 30.0mm] 0.1mm 単位
		横印字位置		0.0mm	印刷時の横印字位置を設定します。 [-30.0mm ～ 30.0mm] 0.1mm 単位
保守メニュー	印刷枚数			XXXXXXX ページ	総印刷枚数を表示します。
	メモリ容量			XXXMB	標準メモリおよび増設メモリの合計のメモリ容量を表示します。
	メイン ROM 版数			Ver XX.XX	プリンタのファームウェアの版数を表示します。
	エンジン ROM 版数			Ver XX.XX	プリンタのハードウェア制御プログラムの版数を表示します。
	エンジンステータス			STATUS XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	NV コード			CXX-FXX =XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	装置ステータス			XX=XXXX XXXX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	USB ステータス			表示	USB の接続状態を表示します。 (HIGH SPEED、FULL SPEED、未接続)
	LAN ステータス			a.bbbb.cccc.dd	LAN の通信状態を表示します。 参照 「TCP/IP の動作確認」(151 ページ) 参照

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
保守メニュー	IP アドレス表示 (*1)				IP アドレス	現在の IP アドレスを表示します。
					サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
					ゲートウェイ	現在のゲートウェイを表示します。
	ソフトスイッチ	ソフトスイッチ X-X		＊	OFF	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。 変更しないでください。
					ON	

*1 ：「TCP/IP プロトコル」が「無効」のときは、表示されません。
*2 ：「DHCP 自動取得」が「設定」のときは、表示されません。
*3 ：拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているとき表示します。
*4 ：「エミュレーション設定」で「解除」を選択している場合は、表示されません。

ガイド

アプリケーションで PrintiaXL ドライバを使用して印刷する場合には、オペレータパネルの設定は無効になります。プリンタドライバ側で設定してください。

参照 プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

*5 ：両面ユニットを取り付けているとき表示されます。
*6 ：給紙位置が余白の最小値となります。
*7 ：Ethernet タイプを設定した場合、電源を切断して、数秒経過後に再び投入してください。
*8 ：Printia LASER Internet Service のアクセス許可リストの許可設定がすべて「無効」になっているときは表示されません。
*9 ：設定の詳細は、「セキュリティに関する設定」（153 ページ）参照
設定を無効にした場合の詳細は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」の Printia LASER Internet Service の説明を参照
*10 ：機能の詳細は「IP アドレスによるアクセス管理」（153 ページ）」参照

参照 「給紙トレイに用紙をセットする」（54 ページ）参照

*11 ：フィニッシャー（オプション）を取り付けているとき表示されます。
*12 ：「排紙口」で「トップトレイ」を選択している場合は、オフセット排紙されません。
*13 ：フィニッシャーのテスト印刷が可能な用紙は、A3/A4/B4/B5 の普通紙のみです。また、「印刷設定」「両面印刷」で「設定」を選択していても、片面印刷となります。
フィニッシャーのテスト印刷では、次の 4 種類が印刷されます。

- 格子印刷 3 枚をパンチあり、コーナーステープルでスタッカトレイに排紙
- 格子印刷 3 枚をパンチなし、コーナーステープルでスタッカトレイに排紙
- 格子印刷 3 枚をパンチあり、中央ステープルでスタッカトレイに排紙
- 格子印刷 3 枚をパンチなし、ステープルなしでトップトレイに排紙
（スタッカトレイにはオフセット排紙します）

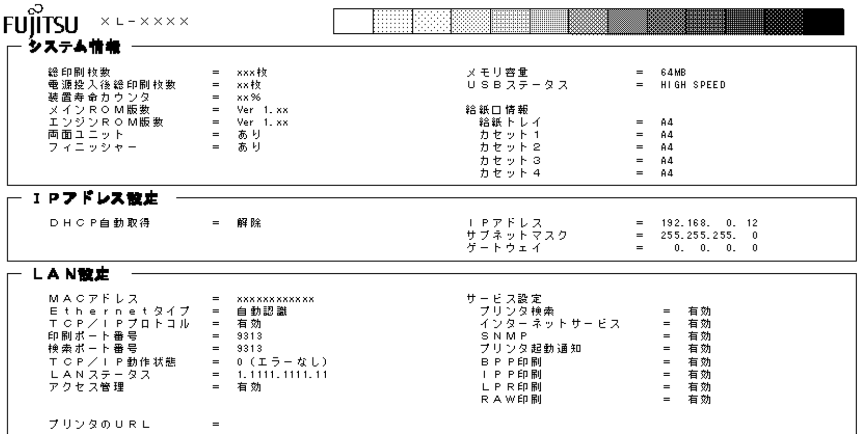
オペレータパネルで行える主な設定と操作

ここでは、プリンタのオペレータパネルで行える主な機能の設定や操作方法について説明します。

設定の一覧印刷

プリンタおよび LAN ポートの現在の設定内容の一覧を印刷します。
設定の一覧は、メニューモードの「システム印刷」－「設定の印刷」で印刷します。

・ 設定の一覧の例


FUJITSU　×L－××××

システム情報

総印刷枚数 = xxx枚
電源投入後総印刷枚数 = xx枚
装置寿命カウンタ = xx%
メインＲＯＭ版数 = Ver 1.xx
エンジンＲＯＭ版数 = Ver 1.xx
両面ユニット = あり
フィニッシャー = あり

メモリ容量 = 64MB
ＵＳＢステータス = HIGH SPEED

給紙口情報
給紙トレイ = A4
カセット１ = A4
カセット２ = A4
カセット３ = A4
カセット４ = A4

ＩＰアドレス設定

ＤＨＣＰ自動取得 = 解除

ＩＰアドレス = 192.168. 0. 12
サブネットマスク = 255.255.255. 0
ゲートウェイ = 0. 0. 0. 0

ＬＡＮ設定

ＭＡＣアドレス = xxxxxxxxxxxx
Ｅｔｈｅｒｎｅｔタイプ = 自動認識
ＴＣＰ／ＩＰプロトコル = 有効
印刷ポート番号 = 9313
検索ポート番号 = 9313
ＴＣＰ／ＩＰ動作状態 = 0（エラーなし）
ＬＡＮステータス = 1.1111.1111.11
アクセス管理 = 有効

プリンタのＵＲＬ =

サービス設定
プリンタ検索 = 有効
インターネットサービス = 有効
ＳＮＭＰ = 有効
プリンタ起動通知 = 有効
ＢＰＰ印刷 = 有効
ＩＰＰ印刷 = 有効
ＬＰＲ印刷 = 有効
ＲＡＷ印刷 = 有効

ガイド

- 印刷は、現在設定されている方法で行われます。A4 サイズの用紙を基準とし、A4 より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。ただし、はがき、A5 サイズより小さい不定形用紙は印刷できません。印刷した場合は、「サイズフソク Ａ ４ → ＸＸＸＸＸＸＸ」（ＸＸＸＸＸＸＸ は給紙口名）と表示されますので、他のサイズに変更して再度印刷してください。
- 用紙がない場合は「ヨウシ ナシ」と表示されますので、用紙を補給してください。
- 印刷を中止する場合は、「リセット」スイッチを押してください。
- LAN 設定で「TCP/IP プロトコル」を「無効」にしたとき、LAN 設定内容は印刷されません。
  また、エミュレーション設定を「無効」にしたときは、エミュレーション設定の内容は表示されません。

IPアドレスの設定

本プリンタに IP アドレスを設定するには、プリンタに直接設定する手動設定と、プリンタの電源投入時に DHCP サーバから自動的に取得する自動取得設定の 2 つがあります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。
設定は、ネットワークに接続されたパソコンから添付の CD-ROM に収められているソフトウェアを使用して行うこともできます。ソフトウェアによる設定方法は『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」を参照してください。

●手動設定の場合

設定は、メニューモードの「初期設定」－「IP アドレス設定」で、まず「DHCP 自動取得」を解除に変更してから、IP アドレスの設定を行います。
メニューモードで DHCP 自動取得の画面を表示し、次の手順で設定してください。

1 DHCP 自動取得を解除する

「▶」または「◀」スイッチを押して「カイジョ」と表示させせます。「設定」スイッチを押すと「＊」が表示され、値が設定されます。初期設定は「＊セッテイ」です。

↓「▶」または「◀」

```
 DHCPジ゛ド゛ウシュトク
▶   カイジ゛ョ          ▲
```

↓「設定」

```
 DHCPジ゛ド゛ウシュトク
▶＊  カイジ゛ョ          ▲
```

2 IP アドレスを設定する

① 「▲」スイッチを押して次の表示にします。

↓「▲」

```
 IPアド゛レス  セッテイ
▶DHCPジ゛ド゛ウシュトク  ▲▼
```

② 「▶」スイッチを押して「IP アドレス」と表示し、「▼」スイッチを押します。

↓「▶」スイッチ

```
 IPアド゛レス  セッテイ
▶IPアド゛レス           ▲▼
```

↓「▼」

```
 IPアド゛レス            ▲
＊  0.   0.   0.   0
```

③ 「▶」または「◀」スイッチを押して IP アドレスを変更するブロック（IP アドレス 1～4）を選択して「▲」「▼」スイッチで値を設定します。

↓「▶」または「◀」

```
 IPアド゛レス
192.   0.   0.   0
```

④ 各ブロックすべてを設定したら「設定」スイッチを押し、カーソルが＊に移動しているのを確認します。(この操作では、IP アドレスはまだ反映されません。)
サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行うときは、「▲」スイッチを押して手順②の表示に戻した後「▶」「◀」スイッチを押して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」とそれぞれ表示された状態で③～④の操作を行ってください。

↓「設定」

```
 ＩＰアト゛レス            ▲
＊１９２．１６８．   ０．  １０
```

※IPアドレスは設定例です。

3 設定を終了する

設定が終わったら「メニュー」スイッチを押し、プリンタに設定値を反映させます。
設定値反映後、プリンタが再起動しオンライン状態に戻ります。

● DHCP による自動取得の場合

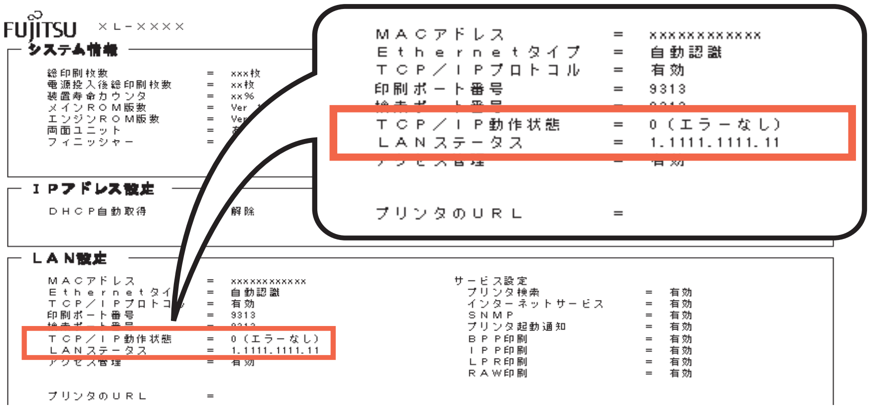
メニューモードの「初期設定」－「IP アドレス設定」－「DHCP 自動取得」が「＊セッテイ」になっていることを確認します。
DHCP サーバとプリンタをネットワークに接続し、プリンタの電源を投入してください。プリンタの起動時に IP アドレスを DHCP サーバから取得します。

ガイド

- DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本プリンタの電源を再投入しても同じ IP アドレスを取得できるように DHCP サーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、メニューモードの「初期設定」－「LAN 設定」－「MAC アドレス」を参照、または設定の一覧を印刷してください。
- DHCP による自動取得の場合、IP アドレスの取得までにかかる時間はネットワーク環境によって異なります。
取得した IP アドレスは、メニューモードの「保守メニュー」－「IP アドレス表示」で確認することができます。
- IP アドレスが取得できなかった場合や、表示された IP アドレスが以前手動設定した値の場合は、メニューモードの「初期設定」－「IP アドレス設定」－「DHCP 自動取得」(「●手動設定の場合」の手順 1 ～ 2 参照) が「＊セッテイ」になっているか確認します。「＊カイジョ」の場合は、「＊セッテイ」に変更してください。(初期値は「＊セッテイ」です。)
設定変更後、メニューモードを抜けるとプリンタが再起動し、IP アドレスの取得を行います。

TCP/IP の動作確認

TCP/IP が正常に動作しているかの確認は、メニューモードの「システム印刷」-「設定の印刷」を行い、「LAN 設定」の「TCP/IP 動作状態」および「LAN ステータス」を確認してください。



● TCP/IP 動作状態

コード	内容と処置
0	TCP/IP は正常に動作しています。
1	IP アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。
3	DHCP による TCP/IP 構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
4	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切断し、再び投入してください。
5	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
6	IP アドレスが他のホストで使用されています。 他のホストの設定を確認し、重複していない IP アドレスを設定してください。DHCP で IP アドレスを自動取得している場合は、電源を再投入してください。
9	その他不明の状態です。 考えられる主な原因に、ゲートウェイの設定に誤りがある可能性があります。

● LAN ステータス

LAN の接続状態を「ａ．ｂｂｂｂ．ｃｃｃｃ．ｄｄ」の形式で表示します。各部の意味は次の通りです。

ａ：ネットワークに接続されているかを表示します。
└－１：ネットワークに接続されています。
　０：ネットワークに接続されていません。LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

ｂｂｂｂ：プリンタのデータ転送能力を表示します。
｜｜｜└－ 10Base-T Half　１：有効／０：無効
｜｜└－－ 10Base-T Full　１：有効／０：無効
｜└－－－ 100Base-TX Half １：有効／０：無効
└－－－－ 100Base-TX Full １：有効／０：無効
※メニューモードの「LAN 設定」-「Ethernet タイプ」で設定を変更できます。

ｃｃｃｃ：ハブなどのプリンタの接続先のデータ転送能力を表示します。
｜｜｜└－ 10Base-T Half　１：有効／０：無効
｜｜└－－ 10Base-T Full　１：有効／０：無効
｜└－－－ 100Base-TX Half １：有効／０：無効
└－－－－ 100Base-TX Full １：有効／０：無効
※ハブによっては「0000」と表示される場合があります。このときは、ハブの取扱説明書で転送能力を確認してください。

ｄｄ：現在プリンタがどの転送速度で接続しているかを表示します。
｜└－１：100Mbps ／０：10Mbps
└－－１：Full ／０：Half
※ａ が０のときは、「－－」と表示されます。

セキュリティに関する設定

ここでは、プリンタを使用する場合に設定できるセキュリティ機能について説明します。

ガイド

セキュリティに関するすべての機能は、Printia LASER Internet Service から設定することができます。

参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

「サービス管理」の「インターネットサービス」を無効に設定した場合など、Printia LASER Internet Service からの設定が行えないときは、オペレータパネルで設定を行ってください。

ポート/サービスの管理

ネットワークサービスと印刷や検索に使用するポートの有効 / 無効を設定します。
設定は、メニューモードの「初期設定」－「ＬＡＮ 設定」－「サービス設定」から行います。

ガイド

各設定を無効にした場合についての詳細は、Printia LASER Internet Service のネットワークサービスの説明を参照してください。

参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

IPアドレスによるアクセス管理

プリンタにアクセスできるパソコン (IP アドレス) を制限するかしないかを設定します。
設定は、メニューモードの「初期設定」－「ＬＡＮ 設定」－「アクセス管理」から行います。

ガイド

ＩＰ アドレスを制限する場合は、あらかじめ Printia LASER Internet Service のネットワークサービス設定でアクセス許可リストの設定を行っておく必要があります。

参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

オペレータパネルの操作制限

管理者以外のユーザによるプリンタの設定変更を防止するために、オペレータパネルからのメニューモードの操作をパスワード（４桁以内の数字）で制限します。
設定は、メニューモードの「初期設定」－「管理／初期化」－「メニュー操作制限」から行います。パスワードの初期値は、「 9999 」です。パスワードの変更は、メニューモードの「初期設定」－「管理／初期化」－「パスワードの変更」から行ってください。
「メニュー操作制限」を有効にすると、オペレータパネルでメニューモードに移るときにパスワードの入力を要求されます。

「▶」または「◀」スイッチを押してパスワードを入力する桁を選択し、「▲」または「▼」スイッチで値を設定したあと、「設定」スイッチを押してください。

```
 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
▶ [_    ]
```

ガイド

パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

・Printia LASER Internet Service で新しいパスワードを設定
「管理者モード」－「オプション情報」－「管理者情報」の「オペレータパネル操作制限のパスワードの変更」で新しいパスワードを設定してください。

参照　『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

・オペレータパネル操作制限無効モードで起動
「メニュー」スイッチと「設定」スイッチを同時に押しながら、プリンタの電源を入れると、オペレータパネル操作制限機能を無効にしてプリンタが起動します。この場合は、メニューモードに入る前のパスワード入力が必要ありません。パスワードの変更で新しいパスワードを設定し直してください。

消耗品の管理

プリンタのトナーカートリッジなどの消耗品の警告発生履歴の保存と出力を行うことができます。

ガイド

添付ソフトウェアによりパソコン上で消耗品の警告発生履歴のログを採取・管理する方法もあります。

参照　詳細は『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

●履歴の保存

履歴は最大 90 件まで自動的に保存されます。90 件以上になった場合は、古いものから順に削除され、最新の 90 件を保存します。

●履歴の出力

履歴は次の方法で出力することができます。

・レポート印刷
メニューモードの「システム印刷」－「消耗品レポート」で消耗品履歴レポートの印刷を行います。

消耗品履歴レポートの出力例

```
XL-XXXX　消耗品履歴レポート

装置情報
MACアドレス：xxxxxxxxxxxx
ROM版数　　：Ver xx.xx

[ID]  [総印刷枚数]  [電源投入時間]    [ログ情報]          [要因]
0XX    XXXXXXXX      XXXXXXXX       トナーカートリッジ    トナーロー警告発生
0XX    XXXXXXXX      XXXXXXXX       ステープル針         針なし警告発生
  ：
0XX    XXXXXXXX      XXXXXXXX       ドラムカートリッジ    交換準備警告発生
0XX    XXXXXXXX      XXXXXXXX       定着器               交換準備警告発生
```

ガイド

電源投入時間では、電源が投入されていた累積時間を表示します。
単位は、時間になります。

・Printia LASER Internet Service による CSV ファイル出力
「管理者モード」－「オプション情報」－「消耗品履歴の保存」で CSV ファイルとして保存することができます。

参照　詳細は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

●履歴の消去

履歴はメニューモードの「初期設定」－「管理／初期化」－「消耗品履歴初期化」で消去することができます。

第6章

用紙について

この章では、本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかたについて説明します。

使用できる用紙

本製品で使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法と用紙サイズの関係を次の表に示します。

給紙方法	タイプ	サイズ	重量	積載可能枚数
給紙トレイ	普通紙 / 再生紙	A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル、ユーザ定義サイズ(幅89 ～ 297mm、長さ98 ～ 432mm)	60 ～ 105g/m^2	約 100 枚 (64g/m^2 用紙の場合)
	厚紙		106 ～ 215g/m^2	ガイドの上限線まで
	郵便はがき	ハガキヨコ	190g/m^2	
	OHP フィルム	A4 ヨコ	—	
	ラベル紙	A4 ヨコ	60 ～ 135g/m^2	
給紙カセット 1	普通紙 / 再生紙	A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル、ユーザ定義サイズ(幅 140 ～ 297mm、長さ 182 ～ 432mm)	60 ～ 105g/m^2	約 550 枚 (64g/m^2 用紙の場合)
給紙カセット 2	普通紙 / 再生紙	A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル、ユーザ定義サイズ(幅 140 ～ 297mm、長さ 182 ～ 432mm)	60 ～ 105g/m^2	約 550 枚 (64g/m^2 用紙の場合)
	厚紙		106 ～ 215g/m^2	ガイドの上限線まで
	OHP フィルム	A4	—	
	ラベル紙	A4	60 ～ 135g/m^2	
給紙カセット 3 (拡張給紙ユニット -A)	普通紙 / 再生紙	A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル	60 ～ 105g/m^2	約 550 枚 (64g/m^2 用紙の場合)
給紙カセット 4 (拡張給紙ユニット -A)				約 550 枚 (64g/m^2 用紙の場合)
給紙カセット 3 (拡張給紙ユニット -B)	普通紙 / 再生紙	A4、B5、レター	60 ～ 105g/m^2	約 1000 枚 (64g/m^2 用紙の場合)
給紙カセット 4 (拡張給紙ユニット -B)				約 1300 枚 (64g/m^2 用紙の場合)

お願い

- 用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷して、支障がないことを確認することをお勧めします。
- はがきは、郵便はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。
- 郵便はがきは、給紙カセットからは印刷できません。給紙トレイから印刷してください。
- プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。
  異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障するおそれがあります。
- 不定形用紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、「ユーザ定義サイズ」にしてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、装置が故障するおそれがあります。
- OHP フィルム、ラベル紙は給紙トレイまたは給紙カセット２から印刷してください。
- 再生紙をご使用される場合は、以下の点にご注意頂きますようお願いいたします。
  - 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙づまりやシワ、折れ、印字乱れ等が発生する場合があります。このような環境でご使用される場合は、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出してご使用ください。
  - また、夜間／休日等のプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
  - 「再生紙」は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境でご使用になる場合は、事前に同様の環境で十分な確認を行っていただいたうえで、銘柄を選定してください。
  - 不定形用紙の印刷において、しわ / 斜行 / 角折れ / 二重送 / 紙づまり等が発生する場合があります。印刷する前に、用紙のカール / 反りをなおしてから用紙をセットしてください。
    また、高温 / 高湿環境や低温 / 低湿環境を避けて、保管 / 運用してください。
  - 銘柄によって用紙のカールが大きくなる場合があります。用紙セット時の面を反対にすると、カールが小さくなる場合があります。

普通紙

本製品では、PPC 用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本製品に適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。

参照　サプライ用紙の詳細は、「サプライ品一覧」（224 ページ）参照

プレプリント紙、カラー紙

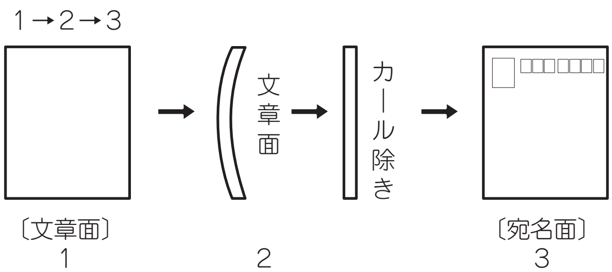
カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクは、耐熱性で 190 ℃でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものをご使用ください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器、感光ドラムおよびローラなどに付着し、印字品質の低下、ジャム、装置破損の原因となります。
また、インクや紙粉の影響により、用紙搬送 / 印刷 / 定着に関係する部品が汚損 / 変質 / 磨耗する場合があります。定期的に清掃、または部品の交換を行ってください。

お願い

- 金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
- 印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
  - 位置精度 A4 サイズで± 2mm 程度
  - 用紙の傾き 100mm 当たり± 1mm 程度
  - 画像の伸縮 100mm 当たり± 1mm 程度

郵便はがき

はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください。（両面印刷機能には、対応していません。）
宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約 2mm 以内の反りになるように修正してから印刷してください。



郵便はがきをセットするときは、次の点に留意してください。
・印刷面を下にしてセットしてください。
・ご使用になるアプリケーションソフトの設定内容と印刷方向に合わせて郵便はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

OHP フィルム

定着時の熱（約 190 ℃）で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。

ガイド

OHP フィルムは、給紙カセット２および給紙トレイから印刷できます。

ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱（約 190 ℃）で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。

お願い

OHP フィルムやラベル紙をご使用になるときは、レーザプリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本製品に適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

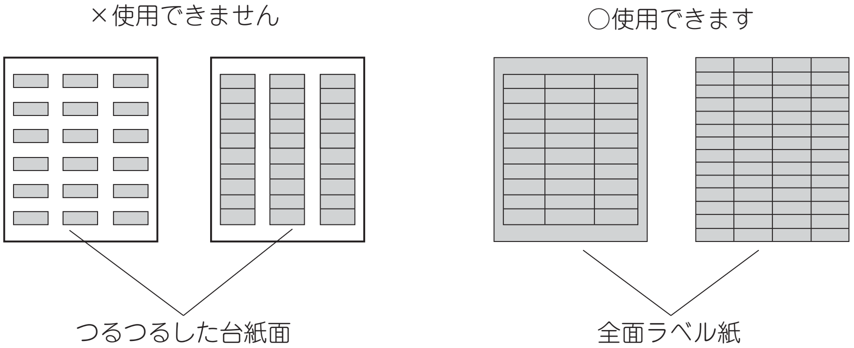
使用できない用紙

以下の用紙は本製品では使用できません。

本プリンタで使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

・厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
・湿っている用紙や、濡れている用紙
・一度印刷された用紙
・貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
・反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・カールしている用紙
・静電気で密着している用紙
・長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
・表面を加工、または特殊なコーティングをおこなった用紙（感熱紙、カーボン紙、メールシール紙など）
・大量のタルク成分を含んだ用紙（オフセット印刷用の用紙等）や酸性紙（中性紙をご使用ください）
・用紙の全面または大部分にあらかじめ印刷されているプレプリント用紙
・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190 ℃の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
・190 ℃の熱で溶けたり、変質する用紙
・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・裁断部のバリが大きい用紙
・紙粉の多い用紙
・インクジェット専用紙、インクジェット用 OHP フィルム、インクジェット用はがき
・カラーページプリンタ用の OHP フィルム、長尺紙
・封筒
・台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙



両面印刷で使用できない用紙

以下の用紙は両面印刷では使用できません。
厚紙（重量 106g/m^2 ～ 215g/m^2）、OHP フィルム、ラベル紙、不定形用紙、郵便はがき

給紙カセットで使用できない用紙

はがきは、給紙カセットでは使用できません。厚紙、ラベル紙および OHP フィルムは給紙カセット２のみ使用でき、その他の給紙カセットでは使用できません。

フィニッシャーで使用できない用紙

以下の用紙はフィニッシャーでは使用できません。
厚紙（重量 106g/m^2 ～ 215g/m^2）、OHP フィルム、ラベル紙、郵便はがき
また以下のサイズの用紙もフィニッシャーでは使用できません。
A5、ユーザ定義サイズ、リーガル
ただし、リーガルサイズはトップトレイへの排出のみ可能です。

お願い

用紙の種類によっては、フィニッシャーのスタッカトレイへ排出する際に用紙が丸まったり、ずれたりすることがあります。また、ステープルやパンチの位置がずれたりすることがあります。
用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷して支障がないことを確認することをお勧めします。

用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。
用紙は次のような場所に保管してください。
・暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
・平らなパレットの上
・温度 15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60%RH の環境

次のような場所は避けてください。
・床の上に直接置く
・直射日光の当たる場所
・外壁の内側の近く
・段差や、曲がりのある場所
・静電気が発生するところ
・過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
・複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。
・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
・長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

ガイド

・長時間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。具体的には以下のような現象が発生する場合があります。
- 印刷した用紙が丸まり、排出不良となる。
- 印刷した用紙にシワが発生する。
- 紙詰まりが発生する。

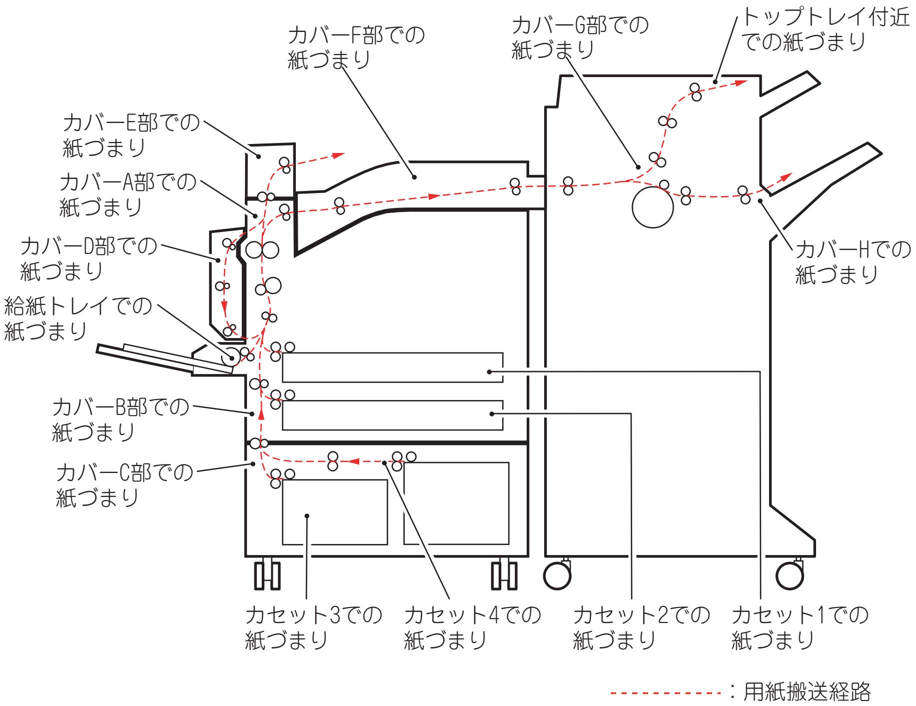
・再生紙をご使用される場合は、以下の点にご注意頂きますようお願いいたします。
- 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙づまりやシワ、折れ、印字乱れ等が発生する場合があります。このような環境でご使用される場合は、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出してご使用ください。
- また、夜間／休日等のプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
- 「再生紙」は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境でご使用になる場合は、事前に同様の環境で十分な確認を行っていただいたうえで、銘柄を選定してください。

第７章
こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとエラーランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミヅ゛マリ』と表示されます。
エラーメッセージには、紙づまりが発生した場所も表示されます。
次の要領でつまった用紙を取り除いてください。
つまった用紙をすべて取り除きカバーを閉じると、印刷可能状態になり、紙づまりが発生したページから印刷を再開します。



お願い

- つまった用紙を取り除いてカバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。
- 用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。
- カバーを閉じる際は、カバーの中央部を押して閉じてください。

ガイド

定着器に紙づまりが発生した場合、オペレータパネルに「カバー A」と表示されます。

⚠ 注意

けが	つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。 ・ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因になることがあります。 ・プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因になることがあります。
火災	つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因になることがあります。 なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、「ハードウェア修理相談センター」（236 ページ）にご連絡ください。

紙づまりのおもな原因

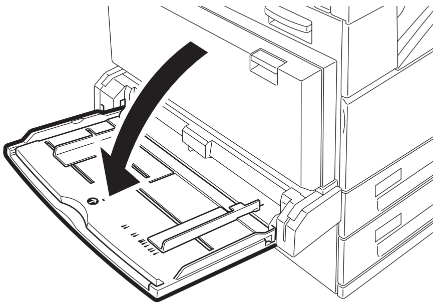
紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

・プリンタを水平に設置する
・適切な用紙を使用する（特に、吸湿した用紙を使用すると紙づまりが発生しやすくなる場合があります。）
・給紙カセットや給紙ユニットに用紙を正しくセットする
・カールしていない用紙を使用する
・給紙カセットを奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む

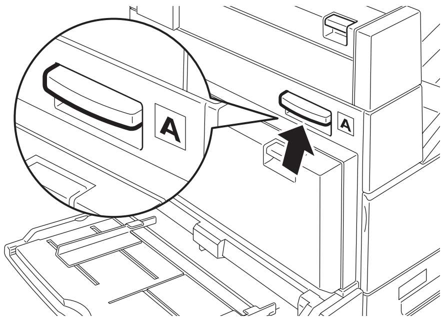
カバー A の奥でつまった用紙を取り除く

次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

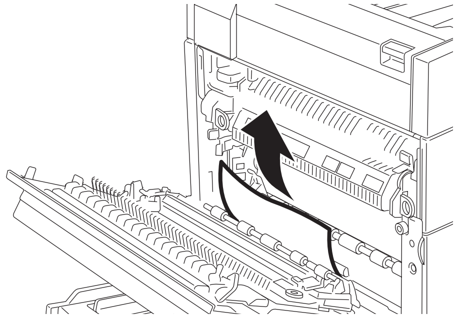
1 給紙トレイを開ける



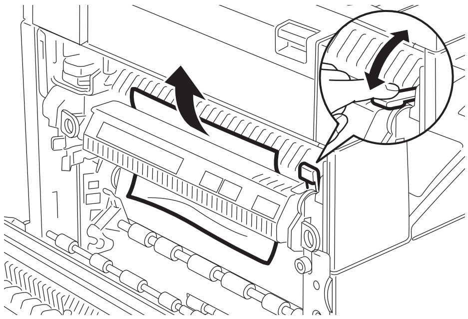
2 カバー A の右側上部にあるレバーを押し上げ、ロックを解除して、カバー A を開ける



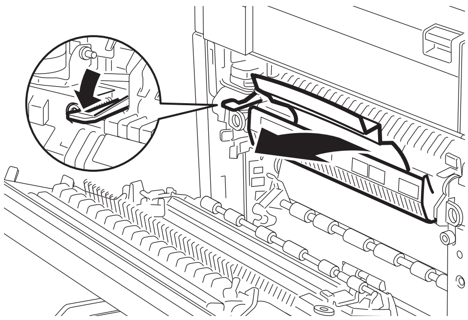
3 詰まっている用紙を取り除く



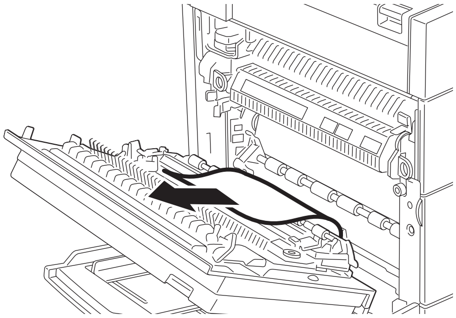
4 定着部で用紙が詰まった場合、レバー A1 を下に押し付けながら、繰り返し手前に回すと、詰まっている用紙が少しずつ上方向に排出されるので、ゆっくり引き抜いて取り除く



5 定着出口で用紙が詰まった場合、A2 のつまみを矢印の方向に開き、詰まっている用紙を上方向にゆっくり引き抜いて取り除く



6 詰まっている用紙が定着ユニットに達していなかったら、矢印の方向へ用紙をゆっくり引き抜いて、取り除く



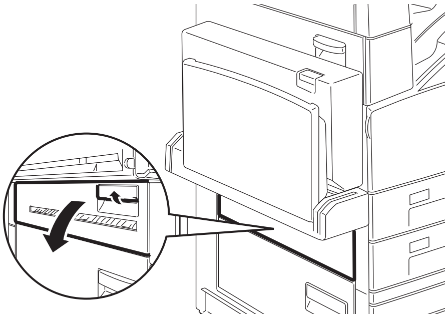
注意	やけど　定着ユニットは高温になっています。直接触れるとやけどすることがあります。十分に注意してください。

7 カバー A、給紙トレイを元に戻す

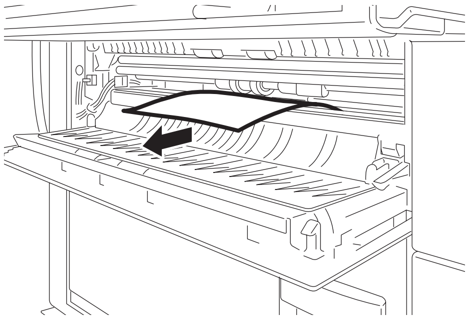
カバー B の奥でつまった用紙を取り除く

次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. カバー B の右側にあるレバーを押し上げ、ロックを解除して、カバー B を開ける



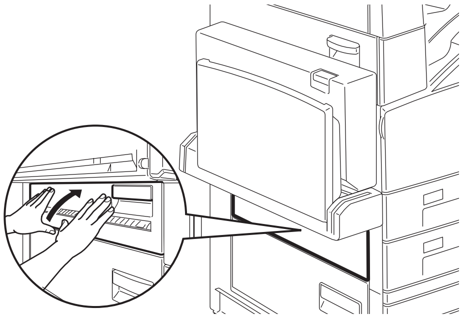
2. 詰まっている用紙を取り除く



3. カバー B を元に戻す

お願い

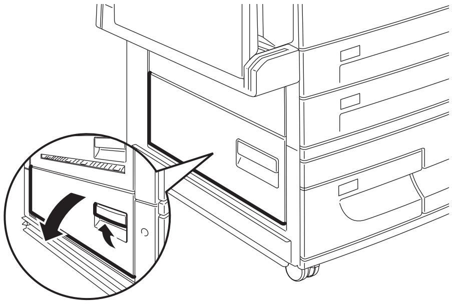
カバーを閉じる際は、カバーの両側を押し確実に閉じていることを確認してください。



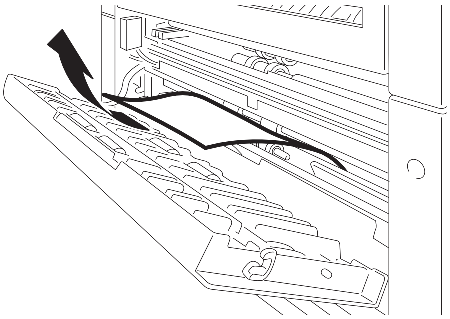
カバーＣの奥でつまった用紙を取り除く

次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. カバーＣの右側にあるレバーを押し上げ、ロックを解除して、カバーＣを開ける



2. 詰まっている用紙を取り除く

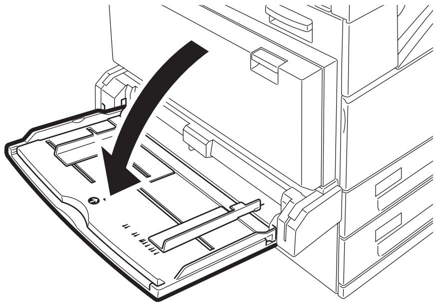


3. カバーＣを元に戻す

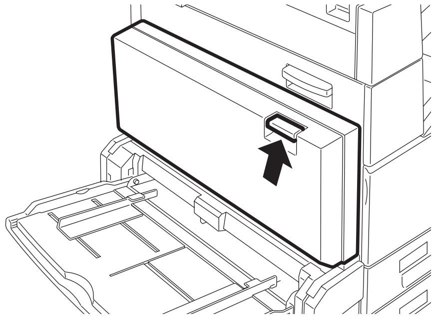
両面ユニットのカバーＤの奥で用紙が詰まった場合

次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

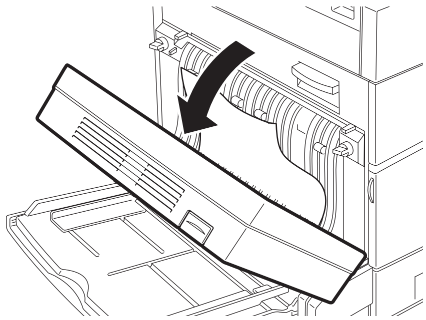
1. 給紙トレイを開ける



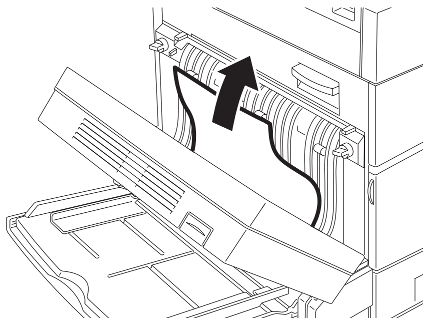
2. カバーＤの右側上部にあるレバーを押し上げ、ロックを解除する



3. カバーＤを開ける



4. 詰まっている用紙を取り除く
5. カバーＤ、給紙トレイを元に戻す

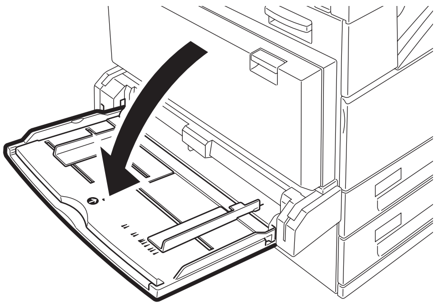


両面ユニット反転部のカバー E の奥で詰まった用紙を取り除く場合

次のようなメッセージが表示された場合は、手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

```
XXXX　カミヅマリ
カバーA／カバーE
```

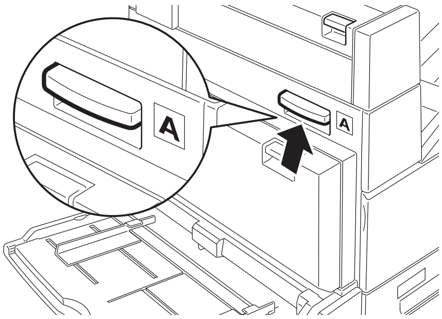
1 給紙トレイを開ける



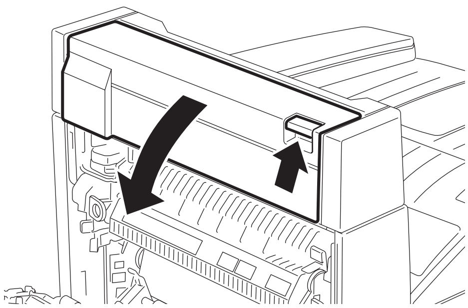
2 カバーA の右側上部にあるレバーを押し上げ、ロックを解除して、カバーA を開ける

ガイド

カバー A を開けずに、カバー E を直接開けることはできません。



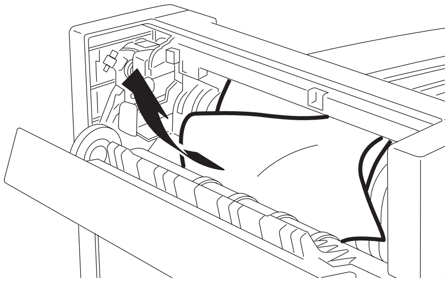
3 カバーE の右側にあるレバーを押し上げ、ロックを解除して、カバーE を開ける



7

運用編

4 詰まっている用紙を取り除く



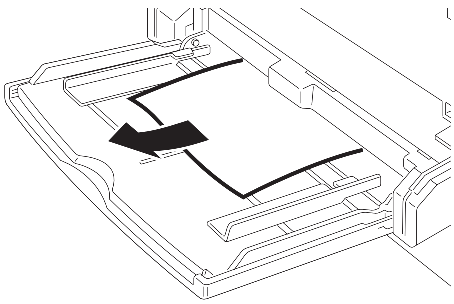
5 カバーE、カバーA、給紙トレイを元に戻す

給紙トレイで詰まった用紙を取り除く場合

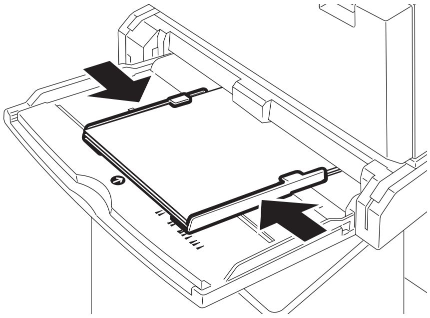
次のようなメッセージが表示された場合は、手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

Ｃ９０３　カミヅマリ カバーＡ／キュウシトレイ

1 詰まっている用紙を矢印の方向にゆっくり引き抜いて、取り除く



2 セットしていた用紙を一度すべて取り外す。用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れ、サイドガイドを用紙サイズの目盛りに合わせる

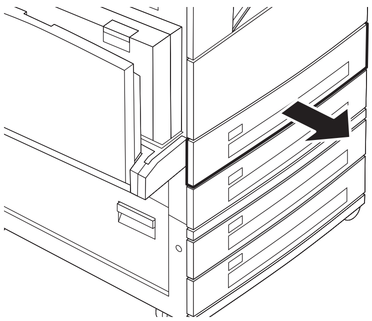


給紙カセット付近でつまった用紙を取り除く

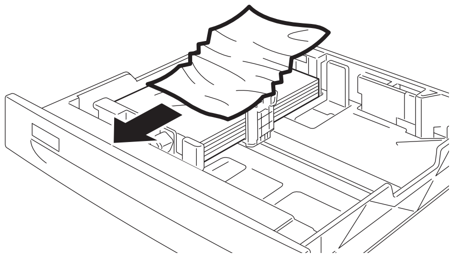
次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

プリンタ本体および拡張給紙ユニット-A

1 給紙カセットを引き出す



2 詰まっている用紙を取り除く



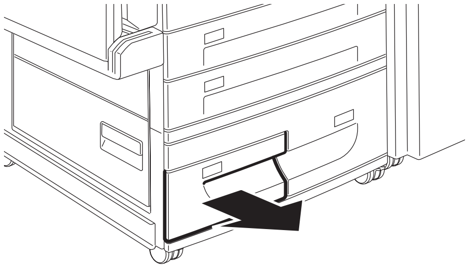
3 給紙カセットを元に戻す

7

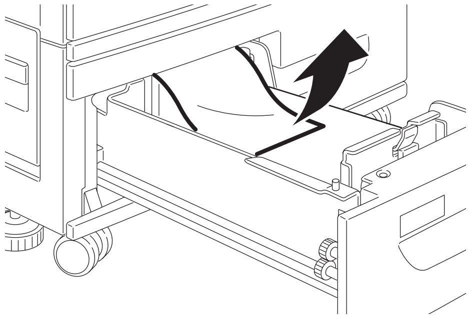
運用編

拡張給紙ユニット-B（カセット３）

1. 給紙カセット３を引き出す



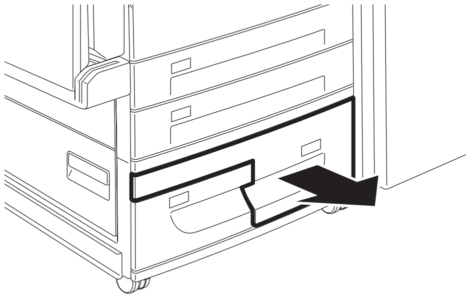
2. 詰まっている用紙を取り除く



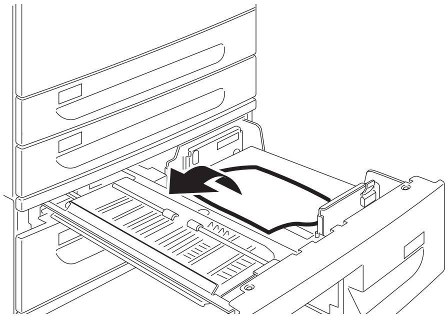
3. 給紙カセット３を元に戻す

拡張給紙ユニット-B（カセット４）

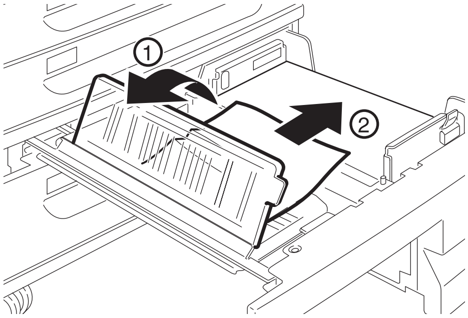
1. 給紙カセット４を引き出す



2 詰まっている用紙を取り除く



3 用紙が内部カバーの下で詰まっている場合は、カバーを開けて（①)、用紙を取り除く（②)



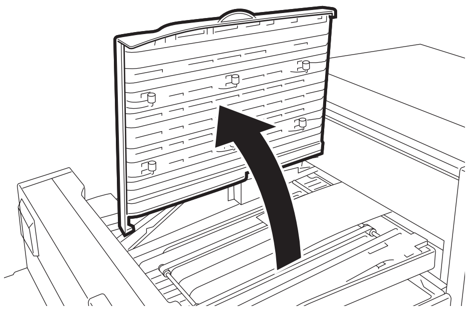
4 給紙カセット４を元に戻す

フィニッシャー接続部でつまった用紙を取り除く

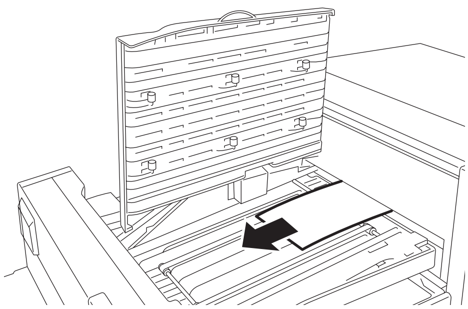
フィニッシャー接続部で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。
手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

ＸＸＸＸ　カミヅマリ カバーＦ

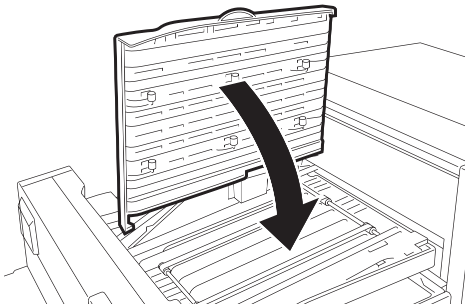
1. フィニッシャー接続部のカバーＦを開ける



2. プリンタの排出口側（左側）またはフィニッシャー本体側（右側）で詰まっている用紙をゆっくり引き抜いて、取り除く



3. カバーＦを閉じる

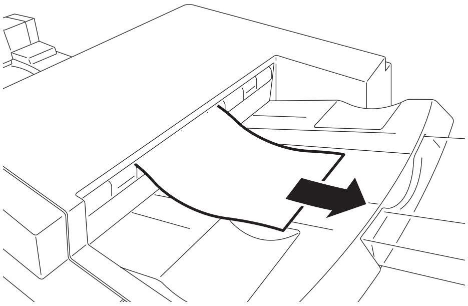


トップトレイ付近でつまった用紙を取り除く

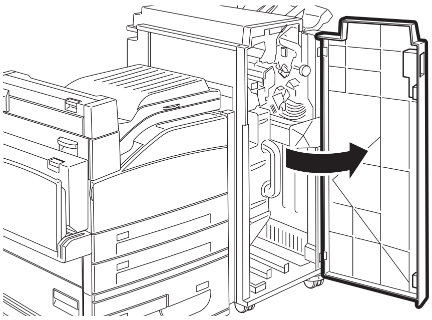
次のようなメッセージが表示された場合は、手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

```
ＸＸＸＸ　カミツ゛マリ
トップ゜トレイ／カバ゛ーＧ
```

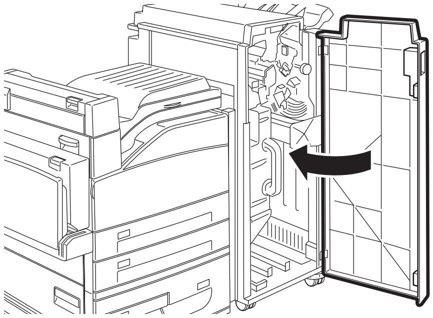
1 フィニッシャーの排出トレイで詰まっている用紙をゆっくり引き抜いて、取り除く



2 カバー G を開く



3 カバー G を閉じる



ガイド

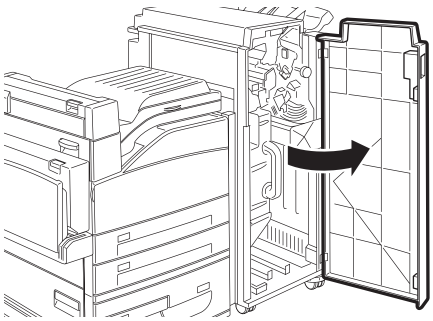
- カバーを開け閉めする操作は、詰まった用紙を取り除いたことをプリンタに認識させるために必要です。必ず行ってください。
- 引き続き「ＸＸＸＸ　カミツ゛マリ　カハ゛ーＧ→［２ａ］」というメッセージが表示された場合には、180 ページの「ＸＸＸＸ　カミツ゛マリ　カハ゛ーＧ→［２ａ］」というメッセージの場合の手順に従って用紙を取り除いてください。
- 引き続き「ＸＸＸＸ　カミツ゛マリ　カハ゛ーＧ→［２ａ］［２ｃ］」というメッセージが表示された場合には、182 ページの「ＸＸＸＸ　カミツ゛マリ　カハ゛ーＧ→［２ａ］［２ｃ］」というメッセージの場合の手順に従って用紙を取り除いてください。

フィニッシャー内部でつまった用紙を取り除く

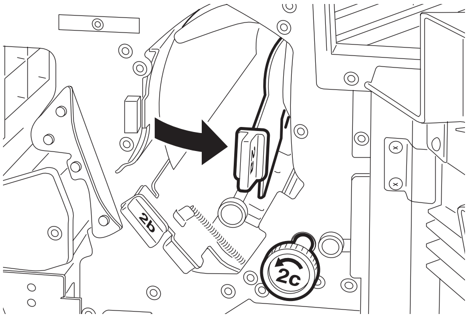
次のようなメッセージが表示された場合は、手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

```
ＸＸＸＸ　カミツ゛マリ
カハ゛ーＧ→［２ａ］
```

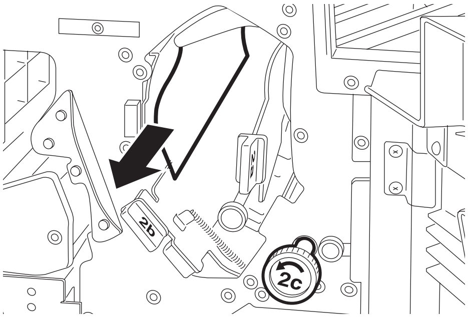
1 フィニッシャーのカバー G を開ける



2 レバー［2a］を右方向に開く

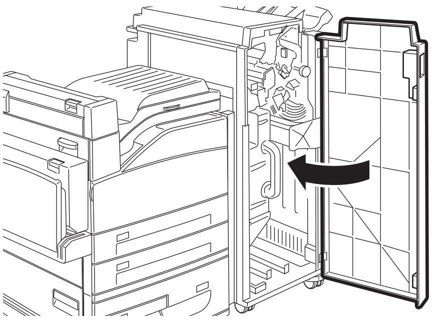


3 詰まっている用紙を取り除く



4 レバー［2a］を元に戻す

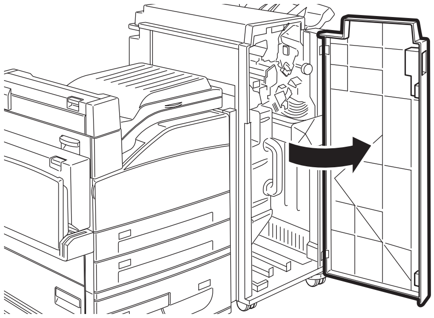
5 カバー G を閉じる



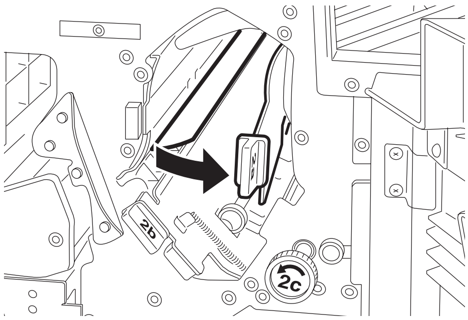
次のようなメッセージが表示された場合は、手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

```
ＸＸＸＸ　カミツ゛マリ
カハ゛ーＧ→［２ａ］［２ｃ］
```

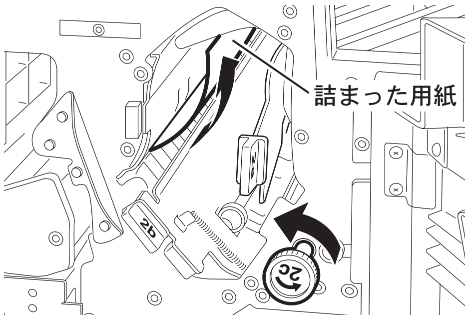
1 フィニッシャーのカバー G を開く



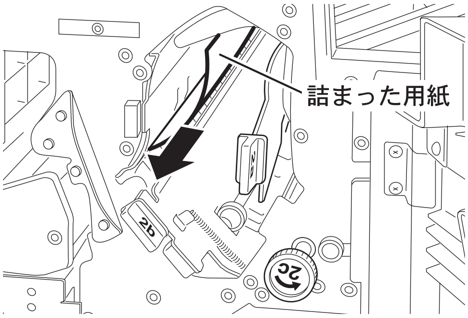
2 レバー［2a］を右方向に開く



3 ［2c］のつまみを矢印の方向にまわして、詰まっている用紙を送り出す

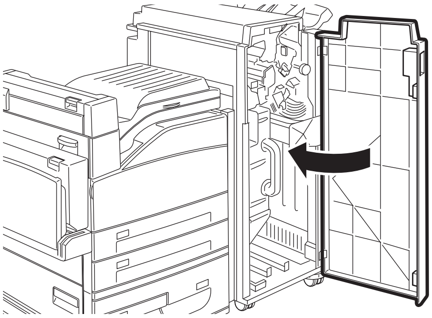


4 用紙をゆっくり引き抜き、取り除く



5 レバー［2a］を元に戻す

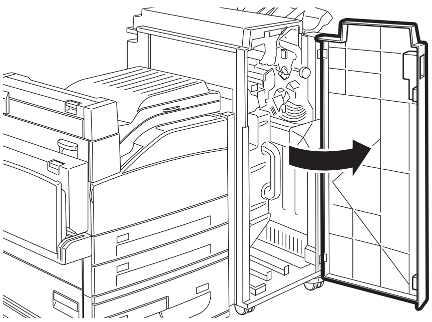
6 カバー G を閉じる



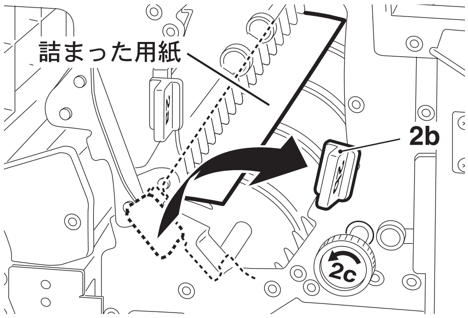
次のようなメッセージが表示された場合は、手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

XXXX　カミツ゛マリ
カハ゛ーG→［2b］

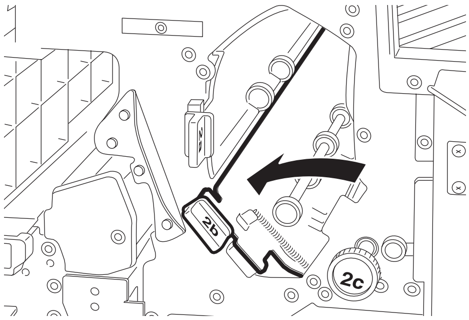
1 フィニッシャーのカバー G を開ける



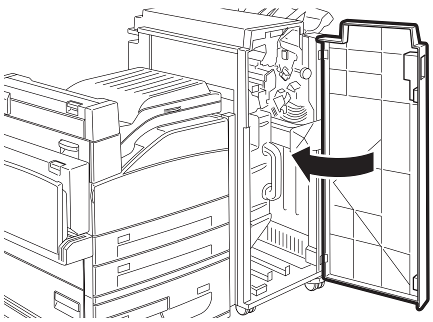
2 レバー［2b］を右方向に開き、詰まっている用紙を取り除く



3 レバー［2b］を元に戻す



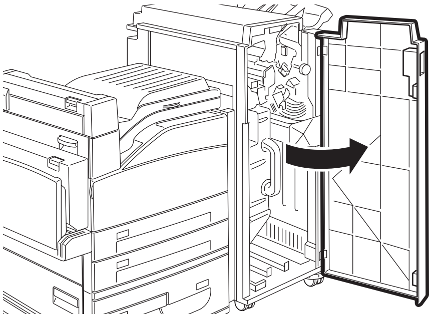
4 カバー G を閉じる



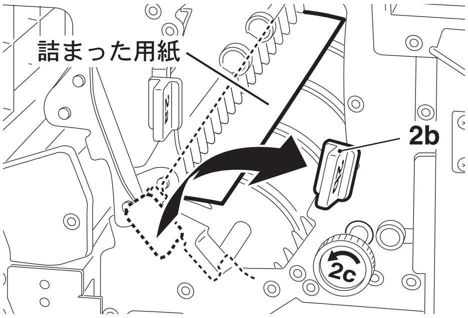
次のようなメッセージが表示された場合は、手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

```
ＸＸＸＸ　カミヅマリ
カバーＧ→［２ｂ］［２ｃ］
```

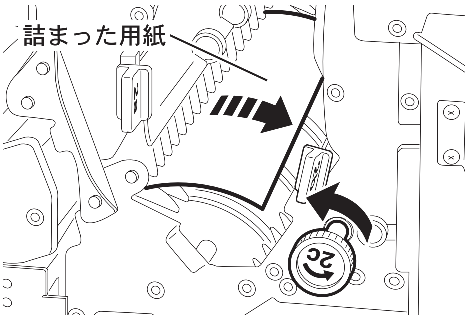
1. フィニッシャーのカバー G を開ける



2. レバー［2b］を右方向に開く



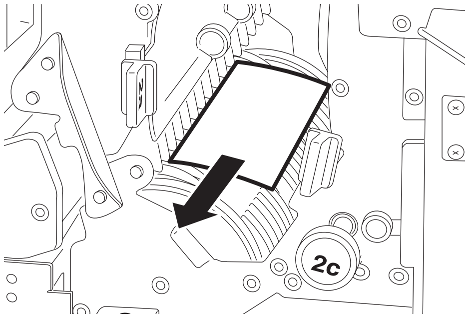
3. ［2c］のつまみを矢印の方向にまわして、詰まっている用紙を送り出す



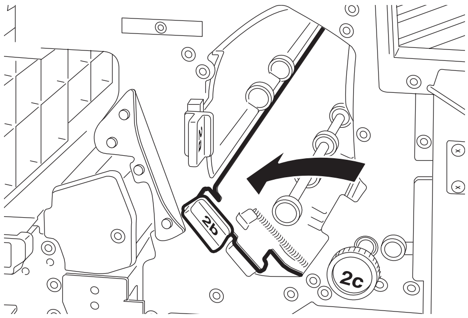
7

運用編

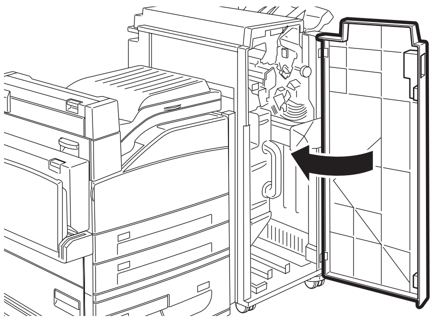
4 用紙をゆっくり引き抜き、取り除く



5 レバー［2b］を元に戻す



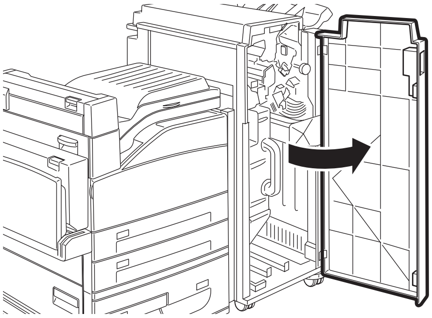
6 カバー G を閉じる



次のようなメッセージが表示された場合は、手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

```
ＸＸＸＸ　カミツ゛マリ
カハ゛ ーG→［3］
```

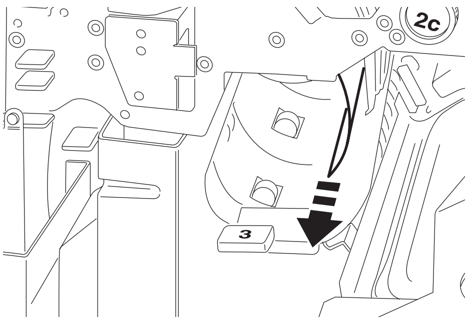
1 フィニッシャーのカバー G を開ける



2 レバー［3］を下に開く

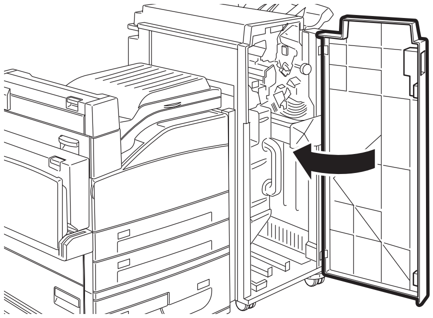


3 詰まっている用紙を取り除く



4 レバー［3］を元に戻す

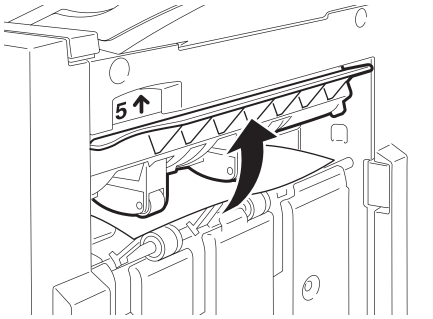
5 カバーＧを閉じる



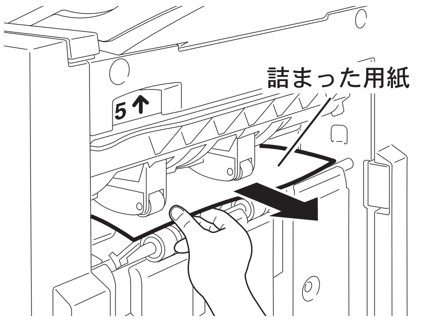
次のようなメッセージが表示された場合は、手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

```
ＸＸＸＸ　カミツ゛マリ
カハ゛ーＨ
```

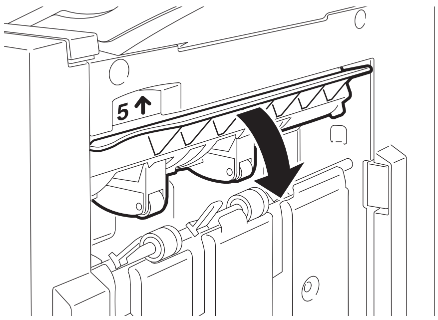
1 フィニッシャー右側面にあるカバーＨを上に開ける



2 詰まっている用紙を、右方向にゆっくり引き抜いて、取り除く



3 カバー H を元に戻す



ガイド

カバーH 部などで紙づまりが発生した場合、紙づまりとなった用紙の後続の用紙がトップトレイへ排出される場合があります。

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。
そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

ガイド

パソコンのアプリケーションからの印刷やネットワーク経由で使用時のトラブルについては、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」を参照してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない 電源を投入してもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う ・漏電ブレーカーのリセットボタンが解除されている	・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（｜側）されていることを確認してください。 ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 ・漏電ブレーカーのリセットボタンが押し込んだ状態になっているか確認してください。 参照「安全上のご注意」（9 ページ）参照 参照「電源の投入」（48 ページ）参照 参照「電源の切断」（56 ページ）参照 参照「漏電ブレーカーについて」（51 ページ）参照
印刷しない	・プリンタの電源未投入 ・パラレルケーブル、USB ケーブルが抜けている ・オンライン状態でない	・パラレルケーブル、USB ケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、『オンライン』と表示されていることを確認してください。 参照「パラレルケーブルの接続」（58 ページ）参照 参照「USB ケーブルの接続」（60 ページ）参照 参照「電源の投入」（48 ページ）参照 参照「電源の切断」（56 ページ）参照 参照「第５章　オペレータパネルの操作」（129 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
正しい用紙をセットしているのに、エラーが表示される	用紙サイズと、用紙ガイドがずれている。	・Printianavi を利用してプリンタの状態を表示し、カセットの用紙サイズを確認してください。 ・給紙カセットの縦／横ガイドクリップが正しくセットされているか確認してください。 ・給紙トレイの幅ガイドが正しくセットされているか確認してください。 参照 プリンタの状態を表示するには『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照 参照「用紙のセット」（52 ページ）参照
オペレータパネルのスイッチが機能しない	オペレータパネルの操作が制限されている	オペレータパネルの操作制限を解除してください。 参照「オペレータパネルの操作制限」（154 ページ）参照
	節電中になっている	・プリンタが節電２の状態になっていると、節電スイッチ以外は無効となります。プリンタをオンライン状態にしてください。 参照「節電時の表示内容」（135 ページ）参照
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない ・プリンタの状態で効かないスイッチがある	・スイッチのまん中をしっかり押してください。 参照「第５章　オペレータパネルの操作」（129 ページ）参照
異常音がする	・プリンタ内部に用紙クズやクリップなどの異物がある ・給紙カセットの装着が不完全な状態になっている	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 参照「用紙のセット」（52 ページ）参照 参照「紙づまりになったとき」（166 ページ）参照
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない ・定期交換部品の交換時期になっている	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 ・定期交換部品を交換してください。 参照「安全上のご注意」（9 ページ）参照 参照「第 6 章　用紙について」（157 ページ）参照 参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう ・定期交換部品の交換時期になっている	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は 1 枚ずつセットして印刷してください。 ・定期交換部品を交換してください。 「用紙のセット」（52 ページ）参照 「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照
紙づまりが発生した	・用紙がくっつきやすい ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない ・定期交換部品の交換時期になっている	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置をとってください。 ・用紙のセット方向を確認してください。 - A4、B5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。 - A3、B4、A5、リーガルサイズの用紙は、縦長にセットしてください。 ・定期交換部品を交換してください。 「安全上のご注意」（9 ページ）参照 「第 6 章　用紙について」（157 ページ）参照 「紙づまりになったとき」（166 ページ）参照 「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切断した ・紙づまりが発生している	・電源を切断（○側）して、数秒経過後に投入（｜側）してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 「電源の投入」（48 ページ）参照 「電源の切断」（56 ページ）参照 「紙づまりになったとき」（166 ページ）参照 ・給紙カセットのフタは、必ず閉めて使用してください。
裏面が汚れる	・プリンタ内の用紙搬送路が汚れている ・定期交換部品の交換時期になっている	・数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷をしてください。 ・定期交換部品を交換してください。 「プリンタの清掃」（119 ページ）参照 「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（136 ページ）参照 「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
エラーメッセージが表示され、印刷されない	—	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照「オペレータパネルのエラーメッセージ」（198 ページ）参照
用紙がないのにブザーが鳴らない	・ブザーが鳴らない設定にしている ・給紙トレイから用紙を補給している	・オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、ブザーの設定値を「設定」にしてください。 参照「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（136 ページ）参照 ・給紙トレイからの印刷時は、ブザーは鳴りません。
トナーカートリッジを装着してもカートリッジなしとエラーが表示される	・他社製のトナーカートリッジを装着している ・トナーカートリッジが故障している	・他社製のトナーカートリッジを使用していないか確認してください。 ・純正のトナーカートリッジを使用していて、下記のエラー表示される場合にはトナーカートリッジが故障しています。新しいトナーカートリッジに交換してください。 Ｊ８０１　トナー　イシ゛ョウ トナーカートリッシ゛　　コウカン 参照「トナーカートリッジの交換」（104 ページ）参照
印刷開始時や印刷中にジュンビと表示される	・印刷終了後、すぐに異なる用紙設定の印刷を開始した ・幅の狭い用紙などを大量に連続印刷した	定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。
液晶ディスプレイの表示が判読できない プリンタの動作が安定しない ハングアップする	静電気による誤作動	アースが正しく接続されていることを確認してください。 参照「安全上のご注意」（9 ページ）参照
液晶ディスプレイが表示されない	節電中になっている	プリンタが節電２の状態になっていると、液晶ディスプレイの表示が消えます。表示させたいときは、プリンタをオンライン状態にしてください。 参照「節電時の表示内容」（135 ページ）参照
給紙トレイが汚れている 給紙トレイから印刷したときに印刷面が汚れている	給紙トレイを立てた状態で両面印刷を連続して行った	・両面ユニットのファンの吹き出しにより給紙トレイが汚れる場合がありますので、乾いた布で給紙トレイの汚れを拭き取ってください。 ・両面印刷を行う際は、給紙トレイを開けた状態でご使用ください。

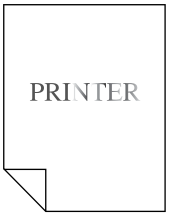
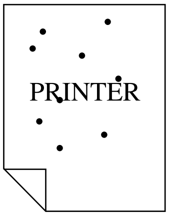
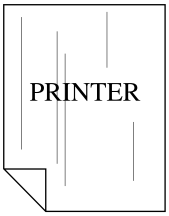
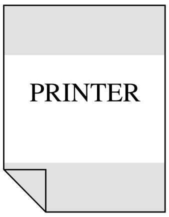
7

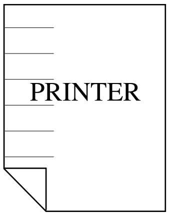
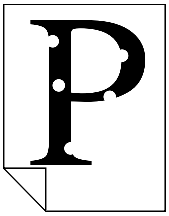
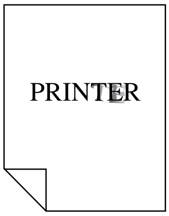
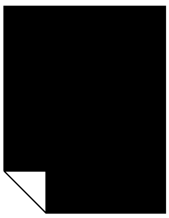
運用編

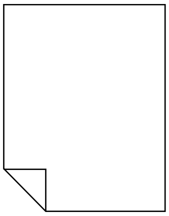
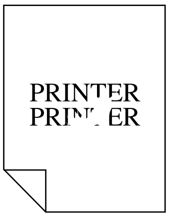
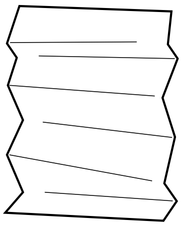
印刷品質が低下したとき

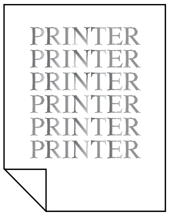
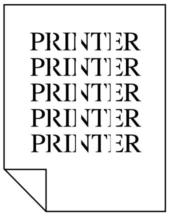
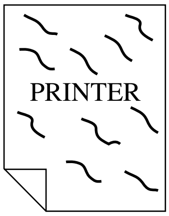
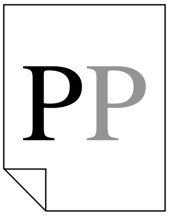
印刷品質が低下したときの処置について説明します。
ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、「ハードウェア修理相談センター」（236 ページ）にご連絡ください。

⚠ 注意	やけど　プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷がうすい (かすれる、不鮮明)  	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照「用紙のセット」（52 ページ）参照
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照
	ドラムカートリッジ内のトナーが劣化している。	低印字率の印刷や両面印刷を連続して行った場合に発生することがありますが、故障ではありません。印字率の高い印刷を行うか、しばらく休止させると回復することがあります。
黒点「・」や黒い小円「。」が印刷される  	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照「第 6 章　用紙について」（157 ページ）参照
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照
黒線が印刷される  	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照
	定期交換部品の交換時期になっている。	定期交換部品を交換してください。 参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照
両端が汚れる  	装置内が汚れている	装置内部の汚れを乾いた清潔な布でふき取ってください。 参照「プリンタ内部の清掃」（119 ページ）参照

<table>
<tr><th>こんなとき</th><th>よくある例</th><th>ここをお調べください</th></tr>
<tr><td rowspan="3">等間隔に汚れる
</td><td>プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。</td><td>数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。
参照「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（136 ページ）参照</td></tr>
<tr><td>ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。</td><td>新しいドラムカートリッジに交換してください。
参照「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照</td></tr>
<tr><td>定期交換部品の交換時期になっている。</td><td>定期交換部品を交換してください。
参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照</td></tr>
<tr><td rowspan="3">黒く塗りつぶされた部分に白点がある
</td><td>使用している用紙が適切でない。</td><td>適切な用紙をセットしてください。
参照「第 6 章　用紙について」（157 ページ）参照</td></tr>
<tr><td>ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。</td><td>新しいドラムカートリッジに交換してください。
参照「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照</td></tr>
<tr><td>定期交換部品の交換時期になっている。</td><td>定期交換部品を交換してください。
参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照</td></tr>
<tr><td rowspan="3">指でこするとトナーがかすれる
</td><td>用紙が湿気を含んでいる。</td><td>新しい用紙に交換してください。
参照「用紙のセット」（52 ページ）参照</td></tr>
<tr><td>定着器の交換時期になっている。</td><td>定着器を交換してください。
参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照</td></tr>
<tr><td>使用している用紙が適切でない。</td><td>適切な用紙をセットしてください。
参照「第 6 章　用紙について」（157 ページ）参照</td></tr>
<tr><td rowspan="2">用紙全体に黒色がついて印刷される
</td><td>ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。</td><td>新しいドラムカートリッジに交換してください。
参照「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照</td></tr>
<tr><td>プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。</td><td>「ハードウェア修理相談センター」（236 ページ）にご連絡ください。</td></tr>
</table>

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
何も印刷されない 	ドラムカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。	トナーシールを引き抜きます。 参照「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照
	一度に複数枚の用紙が搬送されている。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参照「用紙のセット」（52 ページ）参照
	ドラムカートリッジにトナーが残っていない。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「ハードウェア修理相談センター」（236 ページ）にご連絡ください。
白抜けが起こる 	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照「用紙のセット」（52 ページ）参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照「第 6 章　用紙について」（157 ページ）参照
	トナーシールの切れはしが、ドラムカートリッジ内に残っている。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照
用紙にシワがつく 	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。 参照「用紙のセット」（52 ページ）参照
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照「用紙のセット」（52 ページ）参照
	定着器の交換時期になっている。	定着器を交換してください。 参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照「第 6 章　用紙について」（157 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
文字がにじむ 	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照 「用紙のセット」（52 ページ）参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「第 6 章　用紙について」（157 ページ）参照
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照
縦長に白抜けする 	ドラムカートリッジが正しくセットされていない。	いったんドラムカートリッジを取り出し、セットし直してください。 参照 「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照
不要なトナーがつく 	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「第 6 章　用紙について」（157 ページ）参照
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照
太い文字や図形に影が出る 	解像度、ディザ、明るさの設定が適切でない。	プリンタドライバの［グラフィックス］ダイアログで、解像度、ディザ、明るさを調整してください。 参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照
	用紙種類の設定が適切でない。	プリンタドライバの「基本設定」ダイアログで、用紙種類を確認してください。 参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照
	定着器の交換時期になっている。	定着器を交換してください。 参照 「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照

メッセージ一覧

オペレータパネルのエラーメッセージ

プリンタでエラーが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。
次の表に従って処置してください。

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
※※※※　カハ゛ーオーフ゜ン ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ ※※※※：０００１～０００３、 ０Ｏ１１、００２１、 ００２２、 ００３１～００３３	【原因】　カバーを開けていると表示されます。 【対処】　オペレータパネルに表示された箇所を確認してください。 ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ： 開いているカバー	
００３１　カバーオープン カバー F	【原因】　カバーＦを開けているとき、またはフィニッシャー接続部のコネクタが未接続のときに表示されます。 【対処】　カバー F の確認およびフィニッシャー接続部のコネクタが接続されているか確認してください。	参照 「フィニッシャーを取り付ける」(83 ページ）参照
※※※※　カセット　ナシ カセットｘ　ヲ　イレテクダ゛サイ ※※※※：１００１～１００４	【原因】　給紙カセットを指定して印刷したときに、指定した給紙カセットがセットされていないと表示されます。 【対処】　カセット　ｘ　で表示された給紙カセット（１～４）に印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」(52 ページ）参照
１００７　カセット　ナシ カセット　　ヲ　イレテクダ゛サイ	【原因】　自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙口にカセットがセットされていないと表示されます。(メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき） 【対処】　自動給紙対象の給紙カセットに印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」(52 ページ）参照

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
１１００　ヨウシナシ ＊＊＊＊＊　→　キュウシトレイ	【原因】給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 【対処】表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットすると印刷を開始します。定形外の用紙の場合、「ヨウシナシ」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。	参照 「給紙トレイに用紙をセットする」（54 ページ）参照
※※※※　ヨウシナシ ＊＊＊＊＊　→　カセット ｘ ※※※※：１１０１～１１０４	【原因】給紙カセットを指定して印刷したときに、指定した給紙カセットに用紙がない、または印刷中になくなった場合に表示されます。 【対処】カセット ｘ で表示された給紙カセット（１～４）に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（52 ページ）参照
１１０６　ヨウシナシ ＊＊＊＊＊　→　トレイ／カセット	【原因】自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 【対処】自動給紙対象の給紙カセット（１～４）または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（52 ページ）参照 参照 「給紙トレイに用紙をセットする」（54 ページ）参照
１１０７　ヨウシナシ ＊＊＊＊＊　→　カセット	【原因】自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。（メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき） 【対処】自動給紙対象の給紙カセット（１～４）に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（52 ページ）参照

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
※※※※　サイズ゛フイッチ ＊＊＊＊＊　→　キュウシトレイ ※※※※：１２００、１２１０	【原因】　給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイにセットされている用紙や用紙ガイドの位置と、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 【対処】　給紙トレイの用紙ガイドを正しく設定し、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 用紙サイズに「フテイケイ」と表示されているときは、プリンタドライバで指定した「ユーザ定義サイズ」にあわせてください。	参照 「給紙トレイに用紙をセットする」(54 ページ）参照
※※※※　サイズ゛フイッチ ＊＊＊＊＊　→　カセット x ※※※※：１２０１～１２０４、 １２１１、１２１２	【原因】　給紙カセットを指定して印刷したときに、指定した給紙カセットにセットされている用紙やガイドクリップの位置と、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 【対処】　カセット x で表示された給紙カセット（１～４）のガイドクリップを正しく設定し、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 用紙サイズに「フテイケイ」と表示されているときは、プリンタドライバで指定した「ユーザ定義サイズ」にあわせてください。(カセット 1 または 2 のみ)	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」(52 ページ）参照
１２０６　サイズ゛フイッチ ＊＊＊＊＊　→　トレイ／カセット	【原因】　自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイにセットされている用紙やガイドクリップ／用紙ガイドの位置と、印刷データの用紙サイズが異なっている場合に表示されます。 【対処】　自動給紙対象の給紙カセット（1～4）または、給紙トレイのガイドクリップ／用紙ガイドを正しく設定し、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」(52 ページ）参照 参照 「給紙トレイに用紙をセットする」(54 ページ）参照

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
１２０７　サイズ゛フイッチ ＊＊＊＊＊　→　カセット	【原因】自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットにセットされている用紙やガイドクリップの位置と、印刷データの用紙サイズが異なっている場合に表示されます。（メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき） 【対処】自動給紙対象の給紙カセット（１～４）のガイドクリップを正しく設定し、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（52 ページ）参照
１３００　サイズ゛カクニン ＊＊＊＊＊　→　キュウシトレイ	【原因】指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 【対処】給紙トレイの用紙を表示されたサイズの用紙に交換すると、印刷を開始します。 用紙サイズに「フテイケイ」と表示されているときは、プリンタドライバで指定した「ユーザ定義サイズ」にあわせてください。 なお、印刷を中止しても本エラーは表示されたままとなりますので、必ず給紙トレイの用紙サイズが正しいか確認し、再度セットしてください。	参照 「給紙トレイに用紙をセットする」（54 ページ）参照

7

運用編

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
※※※※　サイズ゛カクニン ＊＊＊＊＊　→　カセット x ※※※※：１３０１〜１３０４	【原因】指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 【対処】カセット x で表示された給紙カセット（１〜４）の用紙を表示されたサイズの用紙に交換してください。 用紙サイズに「フテイケイ」と表示されているときは、プリンタドライバで指定した「ユーザ定義サイズ」にあわせてください。（カセット１または２のみ） なお、印刷を中止しても本エラーは表示されたままとなりますので、必ず給紙カセットの用紙サイズが正しいか確認し、再度セットしてください。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（52 ページ）参照
１４００　サイズ゛フソク Ａ４　　→　キュウシトレイ	【原因】設定の印刷時に A5 より小さい用紙がセットされていると表示されます。 【対処】給紙トレイの用紙を A4 サイズに交換するか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさで再度印刷してください。	参照 「給紙トレイに用紙をセットする」（54 ページ）参照
※※※※　サイズ゛フソク Ａ４　　→　カセット x ※※※※：１４０１、１４０２	【原因】設定の印刷時に A5 より小さい用紙がセットされていると表示されます。（給紙カセット１または２のみ） 【対処】給紙カセットの用紙を A4 サイズに交換するか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさで再度印刷してください。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（52 ページ）参照

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
※※※※　サイズ゛エラー ＊＊＊＊＊　→　カセット x ※※※※：１５０１、１５０２	【原因】　オペレーションパネルの給紙口指定が給紙カセット１，２でESC/P印刷を行ったときに、給紙カセットにセットされている用紙やガイドクリップの位置がサポートしていない用紙サイズになっていると表示されます。 【対処】　カセットXで表示された給紙カセット（１または２）のガイドクリップを正しく設定し、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」(52 ページ）参照
※※※※　サイズ゛エラー ＊＊＊＊＊　→　カセット x ※※※※：１５０３、１５０４	【原因】　給紙カセット（３または４）を指定して印刷したときに、指定した給紙カセットにセットされている用紙やガイドクリップの位置がサポートしていない用紙サイズになっていると表示されます。 【対処】　カセット x で表示された給紙カセット（３または４）のガイドクリップを正しく設定し、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」(52 ページ）参照
１５０７　サイズ゛エラー ＊＊＊＊＊　→　カセット	【原因】　自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットにセットされている用紙やガイドクリップの位置がサポートしていない用紙サイズになっていると表示されます。（メニューモードで給紙トレイ、カセット１、カセット２の自動給紙設定を「無効」に設定しているとき） 【対処】　自動給紙対象の給紙カセット（３または４）のガイドクリップを正しく設定し、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」(52 ページ）参照

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
※※※※　トレイ　フル ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ　カクニン ※※※※：５００１、５００２、 ５０１１、５０１２	【原因】　排出用紙がトレイにたまり過ぎている場合に表示されます。 【対処】　表示されているトレイのすべての用紙を取り除くと印刷を開始／再開します。 ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ：エラー箇所	
６１０１　スタッカトレイカクニン カミヲ　トリノゾ゛イテクダ゛サイ	【原因】　スタッカトレイが次のいずれかの状態の場合に表示されます。 ・前のジョブの用紙サイズより次のジョブの用紙サイズが大きい ・前のジョブの用紙幅が279.4mm　未満で、ステープルの指定が変更になっている ・前のジョブの用紙サイズが不明 積まれている用紙のサイズが混在している場合は、300 枚を超えてから下に積まれている用紙よりも大きい用紙を排出したときにエラーとなります。 それ以外の場合は、積まれている用紙が1500枚を超えるとエラーとなります。 【対処】　スタッカトレイのすべての用紙を取り除くと印刷を開始／再開します。	
６１０２　スタッカトレイカクニン カミヲ　トリノゾ゛イテクダ゛サイ	【原因】　スタッカトレイに異常負荷が掛かったり、スタッカトレイの下に障害物等があって自動位置調整が正しく行えなかった場合に表示されます。 【対処】　スタッカトレイが上下に動くスペースが確保されていることを確認し、スタッカトレイのすべての用紙を取り除くと印刷を開始／再開します。	

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
６１０３　スタッカトレイカクニン カミヲ　トリノゾ゛イテクダ゛サイ	【原因】スタッカトレイにステープルされた用紙が積まれているときの規定積載量（200 セット）を超えた場合に表示されます。 【対処】スタッカトレイのすべての用紙を取り除くと印刷を開始／再開します。	
６２０１　ステーフ゜ル　カクニン ハリヲ　イレテクダ゛サイ	【原因】ステープルを指定して印刷したときに、ステープル針が不足している、またはステープル針が未装着の場合に表示されます。 【対処】ステープル針をセットしてください。 ステープルなしで印刷を続行する場合は、「設定」スイッチを押すと印刷を続行します。	参照 「ステープル針を補給する」（116 ページ）参照
６２０２　ハリツ゛マリ ハリヲ　カクニンシテクダ゛サイ	【原因】ステープルを指定して印刷したときに、針がつまって出なくなったためステープルに失敗した場合に表示されます。 【対処】ステープル針をいったん外して確認し、必要に応じて交換してください。	参照 「ステープル針を補給する」（116 ページ）参照
６２０３　ハリツ゛マリ カハ゛ーＨ／ヨウシ　ジ゛ョキョ	【原因】ステープルを指定して印刷したときに、ステープルに失敗して針がつまった場合に表示されます。 【対処】カバー H を開け、中の用紙を取り除いてください。	参照 「フィニッシャー内部でつまった用紙を取り除く」のカバー H の場合（188 ページ）参照
６２０４　ステーフ゜ル　フカ インサツゾ゛ッコウ→セッテイ	【原因】ステープルを指定して印刷したときに、異なる用紙サイズが混在しているためステープルができない場合に表示されます。 【対処】ステープルなしで印刷を続行する場合は、「設定」スイッチを押すと印刷を続行します。Printianavi 使用時は、2 秒後に自動でステープルなしで続行します。	

7

運用編

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
６２０５　ステーフ゜ル　フカ インサツソ゛ッコウ→セッテイ	【原因】　ステープルを指定して印刷したときに、ステープル可能な枚数（50 枚）を超えたためステープルができない場合に表示されます。 【対処】　ステープルなしで印刷を続行する場合は、「設定」スイッチを押すと印刷を続行します。Printianavi 使用時は、2 秒後に自動でステープルなしで続行します。	
６３０１　ハ゜ンチ　テ゛キマセン タ゛スト　ホ゛ックス　ヲ　セット	【原因】　パンチ穴指定で印刷したときに、ダストボックス（パンチ穴クズ入）が装着されていない場合に表示されます。 【対処】　ダストボックスを正しくセットしてください。	
６３０２　ハ゜ンチ　テ゛キマセン タ゛スト　ホ゛ックス　フル	【原因】　パンチ穴指定で印刷したときに、ダストボックス（パンチ穴クズ入）がいっぱいになっている場合に表示されます。 【対処】　ダストボックス内のゴミ（パンチ穴クズ）を捨ててください。	参照 「パンチ穴のクズを捨てる」（121 ページ）参照
７００２　メモリ　オーハ゛ー １フ゛　インサツ→セッテイ	【原因】　部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 【対処】　Printianavi 使用時は、「設定」スイッチを押す、または２秒経過すると１部のみ印刷します。 Printianavi 未使用時は、「設定」スイッチを押すと１部のみ印刷します。	

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
７００３　メモリ　フソク カタメン　インサツ→セッテイ	【原因】メモリを増設していない状態で A3、B4、Legal の用紙を 1200dpi で両面印刷したときに、以下の状態の場合、表示されます。 ・プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」を  にしているとき。 ・プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」が  のとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保できないとき。 【対処】Printianavi 使用時は、「設定」スイッチを押す、または２秒経過すると片面で印刷します。Printianavi 未使用時は、「設定」スイッチを押すと片面で印刷します。 再度両面で印刷する場合は、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。	
７００４　キュウシシテイ　エラー シ゛ト゛ウキュウシ　ムコウ	【原因】すべての給紙口に対し、メニューモードの自動給紙設定を「無効」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示されます。 【対処】リセットスイッチを押して、印刷を中止してください。（Printianavi 使用時は自動で打ち切られます） 再度印刷する場合は、給紙口を指定して印刷してください。	

7

運用編

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
７００５　アンダ゛ーラン　エラー インサツ　セッテイ　カクニン	【原因】　印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されます。 【対処】　リセットスイッチを押して、印刷を中止してください。(Printianavi 使用時は自動で打ち切られます) 再度印刷する場合は、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。 ＊アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します。	メモリを増設する場合は 参照 「第３章　オプションの装着」(65 ページ) 参照
７００６　ミサホ゜ート　ヨウシ チョウシ゛ャクシ　シテイムコウ	【原因】　印刷データで未サポートの用紙（長尺紙）を指定した場合に表示されます。 【対処】　リセットスイッチを押して、印刷を中止してください。(Printianavi 使用時は自動で打ち切られます) 再度印刷する場合は、指定した用紙のサイズを確認してください。本プリンタでは「長尺紙」は印刷できません。	
※※※※　ユニット　カクニン ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ ※※※※：８２０１、８２０２ Ｈ２０７～Ｈ７０８	【原因】　表示されたユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 【対処】　いったん電源を切断してから、ユニットが正しく装着されているか確認し、再び電源を投入してください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。その内容を「ハードウェア修理相談センター」(236 ページ）へご連絡ください。 ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ：エラー箇所	参照 「拡張給紙ユニットの取り付けかた」(76 ページ）参照 参照 参照 「フィニッシャーの取り付けかた」(82 ページ）参照

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
８１０１　エンシ゛ン　イシ゛ョウ ツウシン　エラー　　ｘｘｙｙ	【原因】ハードウェアの異常を検出すると表示されます。 【対処】いったん電源を切断し、再び投入してください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。その内容を「ハードウェア修理相談センター」（236 ページ）へご連絡ください。	
８２０４　ユニット　カクニン ＨＣＦ　ハ　ミサホ゜ート	【原因】未サポートのユニットが装着されている場合に表示されます。 【対処】電源を切断してから未サポートのユニットを取り外し、再び電源を投入してください。	
９００１　コントローラ　エラー ＲＡＭエラー	【原因】ＲＯＭおよびＲＡＭの異常を検出すると表示されます。 【対処】いったん電源を切断し、再び投入してください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。 その内容を「ハードウェア修理相談センター」（236 ページ）へご連絡ください。	
９００２　コントローラ　エラー フォント　ＲＯＭ　エラー		
９００３　コントローラ　エラー ＭＡＣ　アト゛レス　エラー		
９００４　コントローラ　エラー Ｆｌａｓｈ－ＲＯＭ　エラー		
９００６　コントローラ　エラー ＥＥＰＲＯＭエラー		
９００７　コントローラ　エラー フ゜ロク゛ラム　ＲＯＭ　エラー		
９００８　コントローラ　エラー ＵＳＢ　テ゛ハ゛イス　エラー		
９１０１　カクチョウメモリエラー メモリ　ヲ　コウカン	【原因】増設したプリンタ RAM モジュールの異常を検出すると表示されます。 【対処】電源を切断し、プリンタ RAM モジュールを交換してください。	参照 「プリンタ RAM モジュールの取り付けかた」（71 ページ）参照

7
運用編

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
９１０２　メモリハ゛ス　エラー カクチョウメモリ　トリハス゛シ	【原因】 増設したプリンタRAMモジュールの異常を検出すると表示されます。 【対処】 電源を切断し、プリンタRAMモジュールを取り外してから再び電源を投入してください。正常に起動した場合は、プリンタRAMモジュールを交換してください。 正常に起動せず、エラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。 その内容を「ハードウェア修理相談センター」（236ページ）へご連絡ください。	参照 「プリンタRAMモジュールの取り付けかた」（71ページ）参照
９１０３　セッテイメモリ　エラー トウロク　ショキカ　シマス	【原因】 プリンタの設定内容を保存するメモリ部分の異常を検出すると表示されます。 【対処】 いったん電源を切断し、再び投入してください。プリンタの設定内容は工場出荷時の初期設定に戻ります。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。 その内容を「ハードウェア修理相談センター」（236ページ）へご連絡ください。	
９１０４　ロク゛メモリ　エラー テ゛ータ　ショキカ　シマス	【原因】 プリンタで採取するログを保存するメモリ部分の異常を検出すると表示されます。 【対処】 いったん電源を切断し、再び投入してください。プリンタの消耗品警告情報履歴は消去されます。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。 その内容を「ハードウェア修理相談センター」（236ページ）へご連絡ください。	

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
※※※※　カミツ゛マリ ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ ※※※※：Ｅ１０１～Ｅ８０２、 Ｃ１０２～Ｃ９０３、 Ｆ４１２～Ｆ４８８	【原因】紙づまりが発生すると表示されます。 【対処】表示されているカバー（A ～ H）や給紙カセット x（1 ～ 4）を開け、プリンタ内や排紙口につまった紙を取り除いてください。 「→［x x］」は、カバーを開けて中につまった用紙を取り除くために操作が必要なつまみやレバーを示します。 「キュウシトレイ」と表示されている場合は、給紙トレイにセットされている用紙をいったん取り除いてください。 ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ： 操作・確認が必要な箇所	参照 「紙づまりになったとき」（166 ページ）参照
※※※※　カセット　イシ゛ョウ カセット x　シヨウ　フカ ※※※※：Ｈ１０１～Ｈ１０４、 Ｈ８０１～Ｈ８０４	【原因】給紙カセット（1 ～ 4）を指定して印刷したときに、指定した給紙カセットが故障している場合に表示されます。 【対処】リセットスイッチを押して、印刷を中止してください。（Printianavi 使用時は自動で打ち切られます） 再度印刷する場合は、別の給紙口を指定して印刷してください。 故障した給紙カセットについては、給紙カセットを一度引き出してから挿入し直してください。それでもエラーメッセージが表示される場合は「ハードウェア修理相談センター」（236 ページ）へご連絡ください。	
Ｊ１０２　トナーエンフ゜ティ トナーカートリッシ゛　コウカン	【原因】トナーカートリッジのトナーがなくなった場合に表示されます。本エラーが発生した場合、トナーカートリッジが交換されるまで印刷はできません。 【対処】新しいトナーカートリッジに交換してください。	参照 「トナーカートリッジの交換」（104 ページ）参照 参照 「トナーエンプティおよびドラム寿命について」（115 ページ）参照

表示メッセージ ※※※※：エラーコード ＊＊＊＊＊：用紙サイズ	原因と対処方法	参照先
Ｊ３０１　ﾄﾞﾗﾑ　ﾅｼ ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞ　ｶｸﾆﾝ	【原因】ドラムカートリッジがセットされていない場合に表示されます。 【対処】ドラムカートリッジをセットしてください。	参照 「トナーカートリッジとドラムカートリッジの取り付け」（44 ページ）参照
Ｊ６０１　ﾄﾞﾗﾑ　ｼﾞｭﾐｮｳ ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞ　ｺｳｶﾝ	【原因】ドラムカートリッジが交換時期になった場合に表示されます。本エラーが発生した場合、ドラムカートリッジが交換されるまで印刷はできません。 【対処】新しいドラムカートリッジに交換してください。	参照 「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照 参照 「トナーエンプティおよびドラム寿命について」（115 ページ）
※※※※　ﾄﾞﾗﾑ　ｲｼﾞｮｳ ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞ　ｺｳｶﾝ ※※※※：Ｊ４０１、 Ｊ７０１～Ｊ７０３	【原因】ドラムカートリッジが正しく認識できない場合に表示されます。 【対処】ドラムカートリッジを交換してください。	参照 「ドラムカートリッジの交換」（108 ページ）参照
※※※※　ﾄﾅｰ　ｲｼﾞｮｳ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ　ｺｳｶﾝ ※※※※：Ｊ８０１～Ｊ８０３	【原因】トナーカートリッジがセットされていない場合、または正しく認識できない場合に表示されます。 【対処】トナーカートリッジを正しくセットしてください。セットしても本エラーが表示される場合は、トナーカートリッジを交換してください。	参照 「トナーカートリッジとドラムカートリッジの取り付け」（44 ページ）参照 参照 「トナーカートリッジの交換」（104 ページ）参照
※※※※　ｴﾝｼﾞﾝ　ｲｼﾞｮｳ ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ ※※※※：Ｕ００１～Ｕ６０７	【原因】ハードウェアの異常を検出すると表示されます。 【対処】いったん電源を切断し、再び投入してください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。 その内容を「ハードウェア修理相談センター」（236 ページ）へご連絡ください。 ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ：エラー箇所	

オペレータパネルの警告メッセージ

メンテナンス情報や給紙口のセット状態に関する警告を下段の1～9桁目に表示します。
警告メッセージが表示されても、印刷は続けることができます。

・警告表示の例

```
オンライン
カセットカクニン1
```

ガイド

警告が複数発生している場合は、次の表示になります。
・「デ゛ータアリ」が発生しているとき
　同時に発生している他の警告は表示されません。
・「デ゛ータアリ」が発生していないとき
　印刷中は、発生している警告の中で下記の表の一番上にある警告を表示します。
　それ以外の場合は、下記の表の上から順番に該当するエラーが表示されます。

表示メッセージ	表示内容と処置
デ゛ータ アリ	プリンタ内に未処理のデータが残っていると表示されます。[設定] スイッチを押すと、未処理データを印刷します。
ド゛ラムコウカン	ドラムカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。ドラムカートリッジの寿命になると印刷ができなくなりますので、事前に新しいドラムカートリッジを準備してください。
トナーロー	トナーの残量が少なくなると表示されます。トナー残量がなくなると印刷ができなくなりますので、事前に新しいトナーカートリッジを準備してください。
ハリコウカン	ステープル針がなくなると表示されます。新しいステープル針に交換してください。
ソウチジ゛ュミョウ	本装置の寿命として規定している印刷ページ数を超過した場合に表示されます。この警告が表示されても、ただちに印刷ができなくなるわけではありませんが、故障頻度が上昇することが予想されます。 また、この警告が表示されなくても、装置導入後5年を経過した場合は装置寿命となります。 参照 「プリンタの基本仕様」(216 ページ) 参照
テイチャクコウカン	定着器の交換時期になると表示されます。*1 参照 「定期交換部品一覧」(225 ページ) 参照

7 運用編

表示メッセージ	表示内容と処置
キットＡ　コウカン	定期交換キットＡの交換時期になると表示されます。*1 参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照
キットＢ　コウカン	定期交換キットＢの交換時期になると表示されます。*1 参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照
キットＣ　コウカン	定期交換キットＣの交換時期になると表示されます。*1 参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照
テイチャク	定着器の交換時期が近づくと表示されます。*1 参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照
キット A	定期交換キット A の交換時期が近づくと表示されます。*1 参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照
キット B	定期交換キット B の交換時期が近づくと表示されます。*1 参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照
キット C	定期交換キット C の交換時期が近づくと表示されます。*1 参照「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照
カセットカクニン n	セットされていない給紙カセットがあると表示されます。給紙カセットをセットしてください。（n：カセット番号）
サイズ゛カクニン n	セットされている用紙やガイドクリップの位置がサポートしていない用紙サイズになっている給紙カセットがあると表示されます。ガイドクリップを正しく設定し、用紙をセットし直してください。（n：カセット番号）
ハイシトレイフル	フェイスダウントレイに積まれている用紙がいっぱいになっていると表示されます。用紙を取り除いてください。
トップ゜トレイフル	トップトレイに積まれている用紙がいっぱいになっていると表示されます。用紙を取り除いてください。
スタッカトレイフル	スタッカトレイに積まれている用紙がいっぱいになっていると表示されます。用紙を取り除いてください。 なお、ステープルされた用紙が積まれているときの規定積載量（200 セット）を超えた場合や、小さいサイズの用紙の上に大きいサイズの用紙が積まれている場合は、いっぱいになっていなくても表示されます。

*1：定着器、定期交換キット　A、B、C　の交換については、「ハードウェア修理相談センター」（236 ページ）へご連絡ください。

付　録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの基本仕様

以下に、XL-9500 の各仕様を示します。なお、プリンタの基本仕様は、本書発行時点のものです。最新情報は富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

<table>
<tr><td>印刷方式</td><td>電子写真方式</td></tr>
<tr><td>印刷速度 *1*2
（コピー動作による連続印刷時）
単位：ページ / 分</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2"></td><td>片面印刷</td><td>両面印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="5">普通紙</td><td>A3</td><td>28</td><td>18</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>50</td><td>50</td></tr>
<tr><td>A5</td><td>50</td><td>50</td></tr>
<tr><td>B4</td><td>33</td><td>20</td></tr>
<tr><td>B5</td><td>50</td><td>50</td></tr>
<tr><td>OHP フィルム</td><td>A4</td><td>18</td><td>-</td></tr>
<tr><td>ラベル紙</td><td>A4</td><td>50</td><td>-</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>ウォームアップ時間</td><td>約 45 秒（22 ℃、電源電圧 100V）</td></tr>
<tr><td>解像度 *3</td><td>1200 × 1200 dpi、600 × 600dpi、300 × 300dpi</td></tr>
<tr><td>スムージング処理</td><td>Super FEIT(1200dpi 以外)
※ FEIT=Fujitsu Enhanced Image Technology</td></tr>
<tr><td>用紙種類</td><td>・ 給紙トレイ
普通紙 (60g/m^2 ～ 105g/m^2)、
厚紙 1(106g/m^2 ～ 169g/m^2)、厚紙 2(170g/m^2 ～ 215g/m^2)、
はがき、OHP フィルム、ラベル紙
・ 給紙カセット 1
普通紙 (60g/m^2 ～ 105g/m^2)
・ 給紙カセット 2
普通紙 (60g/m^2 ～ 105g/m^2)、
厚紙 1(106g/m^2 ～ 169g/m^2)、厚紙 2(170g/m^2 ～ 215g/m^2)、
OHP フィルム、ラベル紙
・ 拡張給紙ユニット -A、B(オプション)
普通紙(60g/m^2 ～ 105g/m^2)</td></tr>
<tr><td>用紙サイズ</td><td>・ 給紙トレイ
A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル、はがき、
ユーザ定義サイズ（幅 89 ～ 297mm、長さ 98mm ～ 432mm）*11
・ 給紙カセット 1、2
A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル、
ユーザ定義サイズ（幅 140 ～ 297mm、長さ 182mm ～ 432mm）
・ 拡張給紙ユニット -A(オプション)
A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル
・ 拡張給紙ユニット -B(オプション)
A4、B5、レター</td></tr>
</table>

給紙容量	・給紙トレイ 約 100 枚（$64g/m^2$ 用紙の場合） ・給紙カセット 1 、2 約 550 枚（$64g/m^2$ 用紙の場合） ・拡張給紙ユニット -A（オプション） 約 1,100 枚（$64g/m^2$ 用紙の場合、550 枚＋ 550 枚） ・拡張給紙ユニット -B（オプション） 約 2,300 枚（$64g/m^2$ 用紙の場合、1,000 枚＋ 1,300 枚） ・最大給紙容量：3,500 枚（拡張給紙ユニット -B 使用時）
排紙容量	・プリンタ本体 フェイスダウントレイ：約 500 枚 *4（推奨紙の場合） ・フィニッシャー *5（オプション） トップトレイ：　約 500 枚（推奨紙の場合） スタッカトレイ：　約 3,000 枚 *6（推奨紙の場合）
両面印刷	用紙種類：　普通紙(60 ～ $105g/m^2$) 用紙サイズ：　A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル
使用環境条件	温度 10 ℃～ 32 ℃、湿度 15%～ 85%RH （ただし、温度が 28 ℃以上のときは湿度 80%RH 以下、湿度 80%RH 以上のときは温度 28 ℃以下、結露しないこと）
電源 *7	AC100V ± 10%、12A、50/60Hz（安定した正弦波であること） 注意：本製品は、突入電流がありますので、無停電電源装置（UPS）などに接続しないでください。故障するおそれがあります。
消費電力	最大：　1300W 以下 印刷時：　平均 900W 以下 節電時 *8：　24W 以下 電源オフ時：1W 以下 *9
突入電流	最大突入電流　100A 以下（電源オン時、突入時間：10m 秒以下）
騒　音	稼動時：54.0dB(A) 以下 待機時：29.0dB(A) 以下
外形寸法	プリンタ本体：　幅 640mm、奥行き 520mm、高さ 577mm フルオプション：　幅 1,380mm、奥行き 650mm、高さ 1,050mm
質　量	プリンタ本体：　約 48.3kg（消耗品含む） フルオプション：　約 160kg（用紙含む）
インターフェース	IEEE 1284 準拠　双方向パラレルインターフェース USB2.0 準拠 USB インターフェース 100Base-TX/10Base-T LAN インターフェース
対応ネットワーク	TCP/IP (IPP, HTTP, BPP, LPR, DHCP, SNMP, SMTP, DNS, RAW (Port9100))
プリンタシーケンス	XL プリンタドライバ、ESC/P
文字・書体	ESC/P 用：ANK、明朝体、ゴシック体
耐用期間 *10	5年(8時間／日)または200万ページ印刷(A4サイズ横送り)のいずれか早い方

*1：フィニッシャーを取り付けた状態で、フェイスダウントレイへの排出指定で両面印刷を行うと、印刷速度が低下します。
A4、A5、B5 サイズの場合、36 ページ／分になります。
はがき、OHP フィルム等、用紙種類、用紙サイズや印刷条件によっては印刷速度が低下します。また画質調整のため、印刷速度が低下する場合があります。

付

*2： ユーザ定義サイズの印刷速度は、用紙の幅や長さの組み合わせにより速度が異なります。各サイズにおける印刷速度は下表のとおりです。

	L ＜ 141	141 ≦ L ＜ 217	217 ≦ L
287 ＜ W	50	50	28
274 ＜ W ≦ 287	50	50	28
253 ＜ W ≦ 274	50	50	28
222 ＜ W ≦ 253	50	50	28
204 ＜ W ≦ 222	33	33	14
175 ＜ W ≦ 204	33	33	28
147 ＜ W ≦ 175	50	50	28
136 ＜ W ≦ 147	50	50	28
W ≦ 136	28	14	14

W ＝用紙幅〔mm〕、L ＝用紙長さ〔mm〕、単位：ページ／分

*3： ESC/P 時は、180dpi

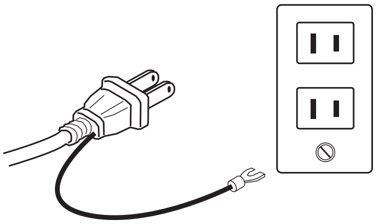
*4： フィニッシャーを装着した場合は、約 300 枚（64g/m^2 用紙の場合）となります。

*5： フィニッシャーへ排出できる用紙種類は普通紙、用紙サイズは A3、A4、B4、B5、レター、リーガルです。（リーガルはトップトレイのみ）

*6： 用紙サイズが A4、B5、レターであり、かつ同一サイズのみの場合

A3、B4 サイズの場合は、約 1,500 枚（64g/m^2 用紙の場合）となります。また、用紙サイズが混在した場合には、排出容量は減少します。

*7： 本プリンタに標準添付されている電源コードのプラグ形状は『平行２極接地用口出線付プラグ』です。コンセントは『平行２極接地用口出線付プラグ』用コンセントをご使用ください。



*8： 30 分以降は 6.5W になります。

*9： 電源オフの状態でのエネルギー消費は、製品の電源プラグをコンセントから抜くことにより避けることができます。

*10：耐用期間のページ数は、連続印刷時の数値です。用紙サイズや用紙種類、印刷条件、オプション構成、およびプリンタ本体の電源 ON・OFF による初期化動作などにより異なります。給紙カセット１から１回の印刷が６ページの片面印刷を行った場合や、１回の印刷が 10 ページの両面印刷を行った場合は、約 140 万ページとなります。

*11: 用紙幅が 140mm 未満の用紙をご使用される場合は、80g/m^2(連量 70kg) 以上の用紙のご使用をお勧めします。80g/m^2 未満の用紙を使用した場合には、排出不良となる場合があります。

フィニッシャーの基本仕様

以下にフィニッシャー（オプション）の主な仕様を示します。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>仕様</th></tr>
<tr><td colspan="2">用紙種類 *1</td><td>・トップトレイ
普通紙（60 ～ 105g/m²）
・スタッカトレイ
普通紙（60 ～ 105g/m²）</td></tr>
<tr><td colspan="2">用紙サイズ</td><td>・トップトレイ
A3、A4、B4、B5、レター、リーガル
・スタッカトレイ
A3、A4、B4、B5、レター</td></tr>
<tr><td colspan="2">排紙容量
（64g/m² 用紙の場合）</td><td>・トップトレイ
約 500 枚
・スタッカトレイ<table><tr><td>A4、B5、レターの場合</td><td>約 3000 枚</td></tr><tr><td>A3、B4 の場合</td><td>約 1500 枚</td></tr><tr><td>用紙サイズが混在した場合 *2</td><td>約 300 枚</td></tr><tr><td>ステープルありの場合</td><td>約 200 部 *3</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="2">オフセット排紙 *6</td><td>トップトレイ不可
スタッカトレイ可</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ステープル
*4 *5</td><td>最大可能枚数</td><td>50 枚（90g/m² 以下の用紙の場合）</td></tr>
<tr><td>ステープル位置</td><td>コーナー（手前または奥）、中央（２か所止め）</td></tr>
<tr><td colspan="2">パンチ *4 *5</td><td>２穴</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td>延長トレイ未使用時：幅 680 ×奥行 639 ×高さ 995mm
延長トレイ使用時：幅 750 ×奥行 639 ×高さ 1050mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>50kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">占有スペース（プリンタ接続時）</td><td>幅 1320 ×奥行 639mm
ご購入時の設置はサービスエンジニアが行います。</td></tr>
</table>

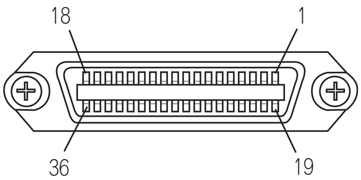
*1： 用紙種類によっては正しく排出されない場合がありますので、ご注意ください。特に用紙裁断部にバリや引っ掛かりのある用紙では正しく排出されません。
*2： 印刷条件が異なる場合も含まれます。（例：パンチあり／なし）
*3： カウンタによる検知。スタッカに排出されたすべての用紙を取り除くまでカウンタはリセットされせん。途中で数部取り除いてもカウンタがリセットされないため、スタッカトレイ上に 200 部なくても、「トレイ　フル」となることがあります。
*4： オフセット排紙、ステープルおよびパンチは組み合わせ可能
*5： 排出方法をスタッカトレイに指定した場合のみ使用可能
*6： 中央（２か所止め）でステープルを行いオフセット排出した場合、オフセット量が小さくなります。

インターフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、パラレルインターフェースおよび USB インターフェースを採用しています。

●パラレルインターフェース仕様とコネクタピン配列

・基本仕様
IEEE 1284 に準拠した双方向パラレルインターフェース
・インターフェースコネクタ
プリンタ側：36 極コネクタ（メス） アンフェノール 57-40360 相当品
ケーブル側：36 極コネクタ（オス） アンフェノール 57-30360 相当品
・ケーブル
1.5m 以下のケーブルを使用してください。
（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。）
・信号レベル
LOW：0.0V ～＋ 0.4V HIGH：＋ 2.4V ～＋ 5.0V
・データ転送方式
８ビットパラレル
・コネクタピン配列



インターフェースコネクタ（36ピン）

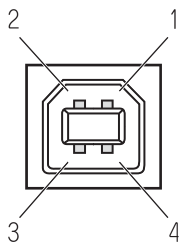
ピン番号	信号名称	発信元
1	＊ Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	＊ Ack	プリンタ
11	Busy	プリンタ
12	Perror	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	＊ AutoFd	パソコン
15	—	−
16	SG	−
17	FG	−
18	+5Vsignal	プリンタ
19	-RET	−

ピン番号	信号名称	発信元
20	-RET	−
21	-RET	−
22	-RET	−
23	-RET	−
24	-RET	−
25	-RET	−
26	-RET	−
27	-RET	−
28	-RET	−
29	-RET	−
30	-RET	−
31	＊ Init	パソコン
32	＊ Fault	プリンタ
33	-RET	−
34	—	−
35	—	−
36	＊ SelectIn	パソコン

注）“＊”は、負論理信号であることを示します。
-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

● USB インターフェース仕様とコネクタピン配列

・基本仕様
USB 仕様の Revision2.0 準拠
・インターフェースコネクタ
プリンタ側：B レセプタクル（メス）
・ケーブル
XL-CBLU2G または、5m 以下の USB 仕様 Revision2.0 に適合したケーブル
・伝送モード
High Speed(最大 480Mbps)、Full Speed(最大 12Mbps)
・電力制御
セルフパワーデバイス
・USB ピン配列



ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源（+5v）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

付

オプション品一覧

本製品は、次のオプションを用意しています。必要に応じてご購入ください。
なお、オプション品の情報は、本書発行時点のものです。
最新情報は富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

●拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット -A	XL-EF110MA	3、4段目の給紙ユニットです。約 550 枚（64g/m^2 用紙の場合）積載可能な給紙カセット2段で構成されています。
拡張給紙ユニット -B	XL-EF230MA	3、4段目の給紙ユニットです。約 1,000 枚（64g/m^2 用紙の場合）積載可能な給紙カセットと、約 1,300 枚（64g/m^2 用紙の場合）積載可能な給紙カセットで構成されています。

●フィニッシャー

品名	型名	内容
フィニッシャー	XL-FINMA	500 枚（トップトレイ）と 3,000 枚（スタッカトレイ）の排出が可能なユニットです。スタッカトレイ排出時には、パンチ（2穴）処理、ステープル処理が可能です。 ご購入時の設置はサービスエンジニアが行います。

●プリンタ拡張 RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ拡張 RAM モジュール -256MB	XL-EM256MA	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

●プリンタケーブル

・パラレルケーブル

品名	型名	備考
プリンタケーブル	FMV-CBL716	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。

・USB ケーブル

品名	型名	備考
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU2G	Windows 98/Me/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。

有寿命部品／消耗品／定期交換部品について

●有寿命部品について

・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。

・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、適切な使用環境（22 ℃／ 55%RH）において１日約８時間のご使用で約５年、または 200 万ページ印刷（A4 サイズ横送り）のいずれか早い方です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。

・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。

・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。交換の際は「ハードウェア修理相談センター」（236 ページ）にご連絡ください。

・補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後５年間です。

・本製品をより長く安定してご利用いただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

光学ユニット、制御基板、電源基板、高圧電源基板、用紙搬送ガイド、用紙搬送ローラ

●消耗品について

トナーカートリッジやドラムカートリッジ等の消耗品（サプライ品）は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

参照　「サプライ品一覧」（224 ページ）参照

●定期交換部品について

・本製品には、その性能／機能を維持するために適時交換が必要な定期交換部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要となります。定期交換部品の種類および交換周期は、「定期交換部品一覧」（225 ページ）をご参照ください。

参照　「定期交換部品一覧」（225 ページ）参照

・定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています（ご契約によっては有償となりますので、詳細は弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください）。なお、保守サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守サービスに関する詳細は富士通公開ホームページ「製品サポート」のコーナーをご覧ください。（http://segroup.fujitsu.com/fs/products/）

・定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後５年間です。

● 24 時間以上の連続使用について

・本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

付

サプライ品一覧

本製品に適用されているサプライ品は次の表のとおりです。
なお、サプライ品の情報は、本書発行時点のものです。最新情報は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。サプライ品のご購入については、本製品をお買い求めの販売店、または富士通コワーコ *1 へご相談ください。PPC 用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

注意

故 障　トナーカートリッジ／ドラムカートリッジは、本プリンタ専用品を取り付けてください。専用品以外のカートリッジを取り付けると、カートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となる恐れがあります。

商品名		商品番号	備考
普通紙推奨用紙 オフィス用紙 W	A3	0411650	500 枚× 3 冊で 1 ケース
	B4	0411620	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	A4（Y）	0411612	
	B5（Y）	0411645	
	A5	0411630	
再生オフィス用紙 EC100	A3	0414355	500 枚× 3 冊で 1 ケース
	B4	0414325	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	A4	0414315	
	B5	0414345	
トナーカートリッジ LB316		0808110	約30,000ページの印刷が可能なトナーカートリッジです。*2、*4
ドラムカートリッジ LB316		0808410	約60,000ページの印刷が可能なドラムカートリッジです。*3、*4
ステープル針		0808710	フィニッシャー用のステープル針です。 5,000 針× 3 セット

*1：「富士通コワーコお客様総合センター」
通話料無料　0120-505-279
月曜～金曜 9:00 ～ 17:30（祝日・年末年始を除く）
URL:http://jp.fujitsu.com/group/coworco/

*2：A4 サイズ、印字率 5％原稿を連続印刷した場合の目安です。

*3：A4 サイズ横送り、片面連続印刷（フェイスダウントレイ排紙）を行った場合の目安です。
間欠印刷や両面印刷の場合は下表のようになります。
またフィニッシャーのスタッカトレイへ排紙した場合は、約 75 ～ 90％に低下します。

	印刷ジョブ				
	1 ページ間欠	2 ページ間欠	3 ページ間欠	6 ページ間欠	連続印刷
片面印刷	～ 3 万ページ	～ 4.2 万ページ	～ 5 万ページ	～ 6 万ページ	約 6 万ページ
両面印刷	−	～ 2.7 万ページ	～ 3.4 万ページ	～ 4.7 万ページ	約 6 万ページ

ただし実際の印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙種類、使用環境などや本体の電源 ON・OFF に伴う初期化動作などにより異なることがあります。

ガイド

- トナーカートリッジやドラムカートリッジは富士通純正品をお使用ください。純正品以外のカートリッジを使用されますと、印刷品質の低下やプリンタの故障の原因となることがあります。富士通純正品以外のカートリッジを使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。
- 再生紙に印刷した場合、シワやカールが発生する場合があります。

*4：有効期限は、製造から 2 年間（開封後は 1 年間）です。安定した画質を維持するために、有効期限内でのご使用をお勧めします。

定期交換部品一覧

本製品には、下表の定期交換部品が設定されています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要です。交換の際は、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」(236 ページ)にご連絡ください。なお、定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています（ご契約によっては有償となりますので、詳細は弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください)。保守サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守サービスに関する詳細は富士通公開ホームページ「製品サポート」のコーナーをご覧ください。(http://segroup.fujitsu.com/fs/products/)
定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後５年間です。

品名	交換目安 *1	内容	表示 *2	交換時期の症状 *3
定着器	300,000 ページ	・ 定着器	表示１ テイチャク 表示２ テイチャクコウカン	・ 黒線が印刷される ・ 等間隔に汚れる ・ 指でこすると印字がかすれる ・ 用紙にシワがつく（印刷された後のシワ) ・ 太い文字や図形に影がでる（約 78mm 周期の残像）
定期交換キット A	60,000 ページ	・ 給紙ローラ ・ 給紙パッド（給紙トレイ用）	表示１ キット A 表示２ キット A　コウカン	給紙トレイからの印刷において、 ・ 用紙が傾く（印刷が斜めになっている） ・ 用紙が二重送りされる ・ 給紙トレイ部で用紙がつまる
定期交換キット B *4	300,000 ページ	・ 転写ローラ ・ 搬送ローラ ・ 給紙ローラ（給紙カセット用）	表示１ キット B 表示２ キット B　コウカン	・ 給紙トレイ以外からの印刷において、 - 用紙が傾く（印刷が斜めになっている） - 用紙が二重送りされる - カバー A 部で用紙がつまる - カセット部で用紙がつまる ・ 裏面が汚れる ・ 黒く塗りつぶされた部分に白点がある ・ 用紙にシワがつく（印刷される前のシワ）
定期交換キット C *4	300,000 ページ	・ 転写ローラ ・ 搬送ローラ ・ 給紙ローラ（給紙カセット用）	表示１ キット C 表示２ キット C　コウカン	・ 給紙トレイ以外からの印刷において、 - 用紙が傾く（印刷が斜めになっている） - 用紙が二重送りされる - カバー A 部で用紙がつまる - カセット部で用紙がつまる ・ 裏面が汚れる ・ 黒く塗りつぶされた部分に白点がある ・ 用紙にシワがつく（印刷される前のシワ）

*1：推奨紙 A4 サイズ横送り、印字率５%原稿にて連続印刷したときの目安（平均ページ数）です。用紙の種類や使用条件などによっては、減少します。以下に、定着器および定期交換キット B ／ C の各印刷条件による交換目安（ページ数）を示します。

	印刷ジョブ				
	１ページ間欠	３ページ間欠	６ページ間欠	８ページ間欠	連続印刷
A4 横送り・片面印刷	80,000	157,000	206,000	224,000	300,000
B4 縦送り・片面印刷	70,000	124,000	152,000	162,000	198,000
A3 縦送り・片面印刷	66,000	111,000	134,000	141,000	168,000

オプションのフィニッシャーを装着し、排紙先をスタッカトレイに指定して印刷した場合には、さらに約 75 ～ 90%に低下します。

付

*2：オペレータパネルの液晶ディスプレイの下段左側に表示されます。
表示１：　交換時期が近づいてきたときに表示されます。ただし、用紙の種類や使用条件などによっては、このメッセージが表示された時点で交換が必要な場合があります。
表示２：　交換時期になると表示されます。

表示例

インサツチュウ　ＬＡＮ
キットＡ　コウカン　１－Ａ４

*3：表中に記載されている症状が頻繁に発生するようになったときには、定期交換部品の早期交換をお勧めします。
*4：拡張給紙ユニットをお使いの場合は定期交換キット C、拡張給紙ユニットを使われていない場合は定期交換キット B になります。

用紙関係

本プリンタは、給紙カセットや給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。
以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応、印刷可能領域を示します。

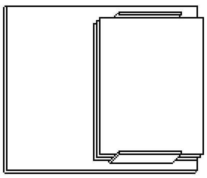
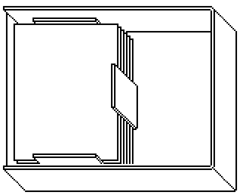
印刷方向

印刷の向き、印刷面、とじ方などの設定と、印刷されるイメージの方向との関係は次のとおりです。

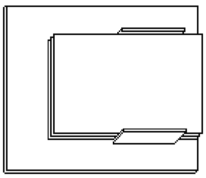
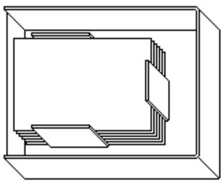
参照　印刷の向き、印刷面、とじ方などの設定については、プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

●通常の印刷方向

・A4、B5、レター、はがきサイズの用紙の場合

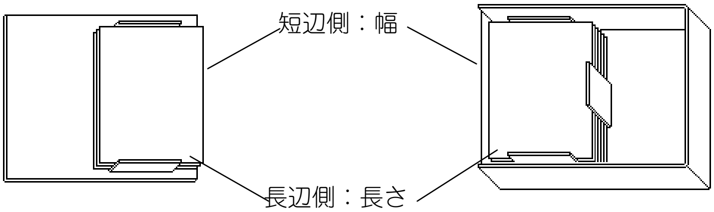
用紙セット方向	印刷の向き（Nup）	印刷面	とじしろ位置（太線（▒）部分） 長辺とじ（左または上）（*1） 排紙した状態（排紙方向） 裏	長辺とじ（左または上）（*1） 右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態 表	短辺とじ（上または左）（*2） 排紙した状態（排紙方向） 裏	短辺とじ（上または左）（*2） 右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態 表
・給紙トレイ 給紙方向  セット時の上面が、片面印刷の裏側、両面印刷の表側になります。	縦（1up/4up/16up） 横（2up/8up）	片面		ABCD・・・ ・・・・・・・・		ABCD・・・ ・・・・・・・・
		両面（*4）	EFGH・・・ ・・・・・・・・	ABCD・・・ ・・・・・・・・	EFGH・・・ ・・・・・・・・	ABCD・・・ ・・・・・・・・
・給紙カセット（*3） 給紙方向  セット時の上面が、片面印刷の表側、両面印刷の裏側になります。	横（1up/4up/16up） 縦（2up/8up）	片面		ABCD・・・ ・・・・・・・・		ABCD・・・ ・・・・・・・・
		両面（*4）	EFGH・・・ ・・・・・・・・	ABCD・・・ ・・・・・・・・	EFGH・・・ ・・・・・・・・	ABCD・・・ ・・・・・・・・

・ A3、B4、A5、リーガル、ユーザ定義サイズ (*5) の用紙の場合

用紙セット方向	印刷の向き（Nup）	印刷面	とじしろ位置（太線（▒）部分） 長辺とじ（左または上）（*2） 排紙した状態 排紙方向 裏	 右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態 表	 短辺とじ（上または左）（*1） 排紙した状態 排紙方向 裏	 右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態 表
・給紙トレイ 給紙方向  セット時の上面が、片面印刷の裏側、両面印刷の表側になります。	縦（1up/4up/16up） 横（2up/8up）	片面		ABCD・・・		ABCD・・・
		両面（*4）	EFGH・・・	ABCD・・・	EFGH・・・	ABCD・・・
・給紙カセット (*3) 給紙方向  セット時の上面が、片面印刷の表側、両面印刷の裏側になります。	横（1up/4up/16up） 縦（2up/8up）	片面		ABCD・・・		ABCD・・・
		両面（*4）	EFGH・・・	ABCD・・・	EFGH・・・	ABCD・・・

*1：右または下とじの場合は、印刷イメージが 180 度回転するのでとじしろ位置は同じになります。
*2：右または下とじの場合は、印刷イメージの向きは同じでとじしろ位置が対辺側になります。
*3：はがきは給紙カセットにはセットできません。また、ユーザ定義サイズは給紙カセット 3,4 にはセットできません。
*4：はがき、ユーザ定義サイズは、両面印刷できません。

*5：ユーザ定義サイズは、横長の用紙の場合も幅で指定した方が短辺、長さで指定した方が長辺となります。

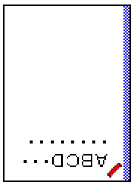
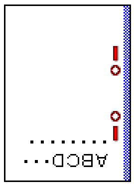
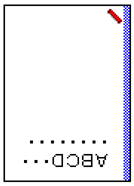
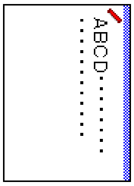
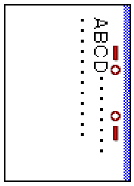
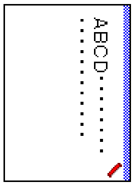
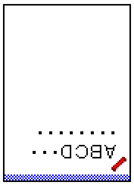
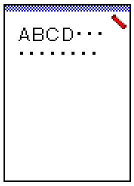
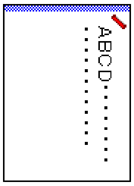
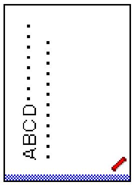


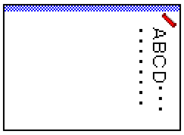
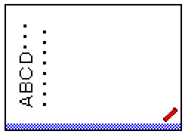
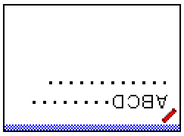
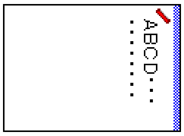
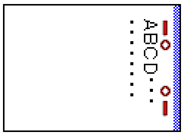
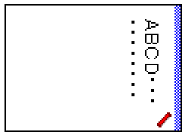
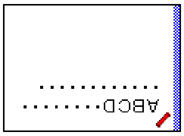
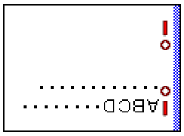
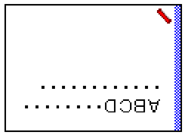
●パンチ・ステープルの位置

フィニッシャーによるパンチ・ステープルは、「●通常の印刷方向」で「表に返した状態」の右辺側のみ可能です。各用紙サイズととじ位置によるパンチ・ステープルとの位置関係は次の通りです。

※ はがき、A5、リーガル、ユーザ定義サイズの用紙にはパンチ・ステープルできません。

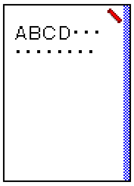
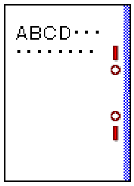
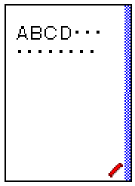
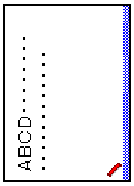
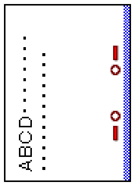
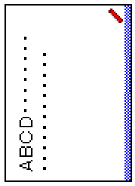
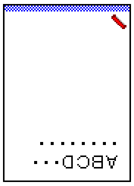
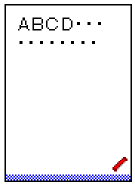
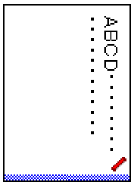
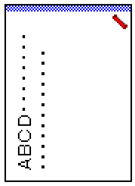
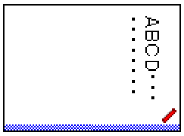
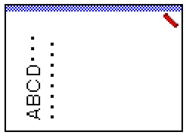
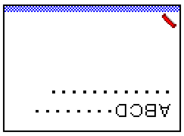
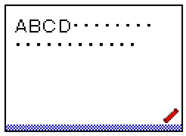
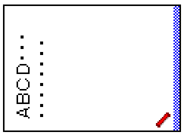
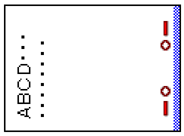
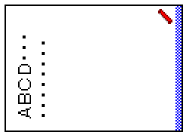
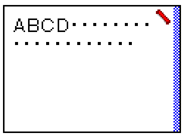
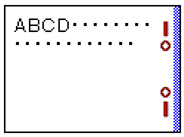
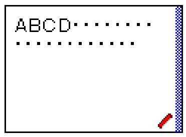
・左または上とじの場合

用紙サイズ	とじ位置	ステープル（左上）	パンチ・ステープル（左中央または中央上）	ステープル（左下または右上）
A4 B5 レター	長辺左		 左中央	 左下
	長辺上		 中央上	 右上
	短辺上		×（指定不可） (*1)	 右上 (*2)
	短辺左		×（指定不可） (*1)	 左下 (*2)

用紙 サイズ	とじ 位置	ステープル （左上）	パンチ・ ステープル （左中央または中央上）	ステープル （左下または右上）
A3 B4	長辺左		×（指定不可） (*1)	 左下 (*2)
	長辺上		×（指定不可） (*1)	 右上 (*2)
	短辺上		 中央上	 右上
	短辺左		 左中央	 左下

*1：とじ位置とパンチ・ステープル（左中央または中央上）可能な位置があわないため指定できません。
*2：印刷イメージを 180 度回転してステープル指定位置にあわせます。

・右または下とじの場合

用紙サイズ	とじ位置	ステープル（右上または左下）	パンチ・ステープル（右中央または中央下）	ステープル（右下）
A4 B5 レター	長辺右	 右上	 右中央	
	長辺下	 左下	 中央下	
	短辺下	 左下	×（指定不可） (*1)	 (*2)
	短辺右	 右上	×（指定不可） (*1)	 (*2)
A3 B4	長辺右	 右上	×（指定不可） (*1)	 (*2)
	長辺下	 左下	×（指定不可） (*1)	 (*2)
	短辺下	 左下	 中央下	
	短辺右	 右上	 右中央	

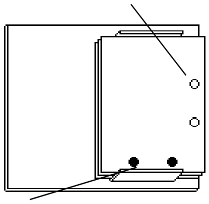
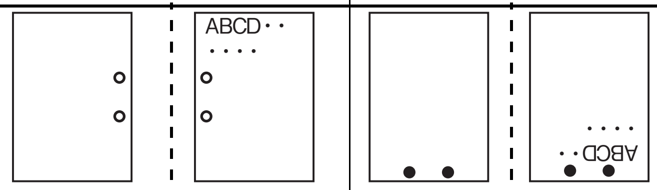
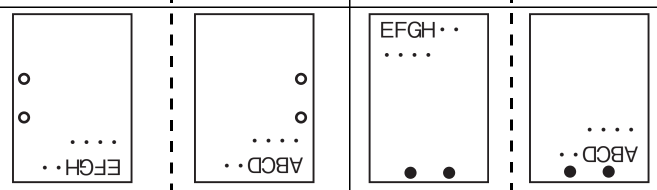
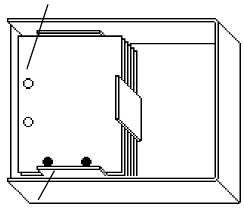
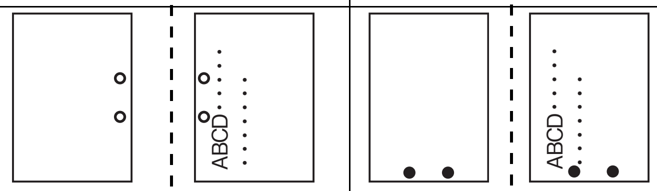
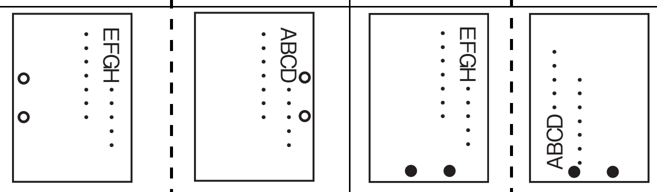
*1：とじ位置とパンチ・ステープル（右中央または中央下）可能な位置があわないため指定できません。
*2：印刷イメージを 180 度回転してステープル指定位置にあわせます。

●用紙のセット方向を基準にするときの印刷方向

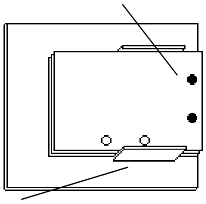
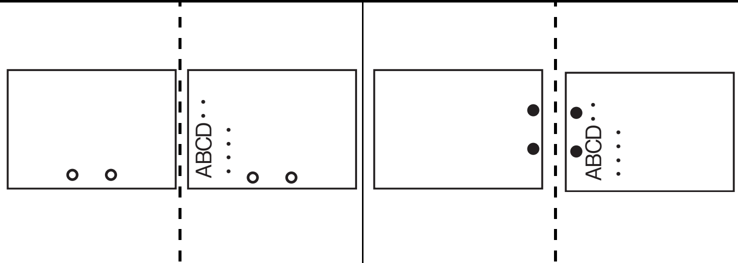
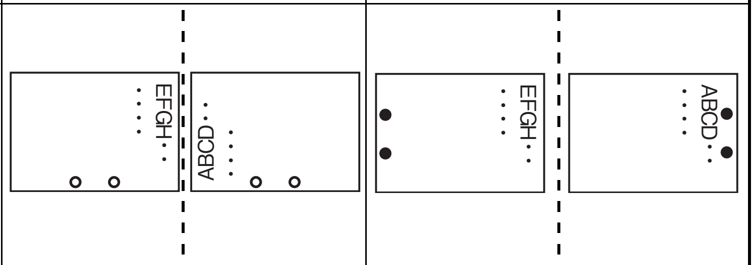
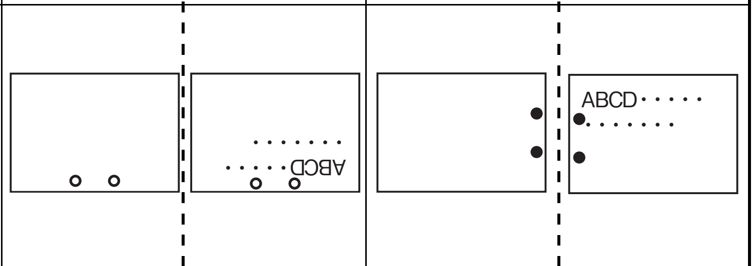
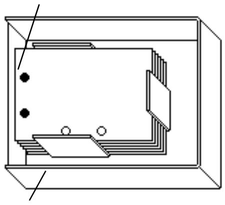
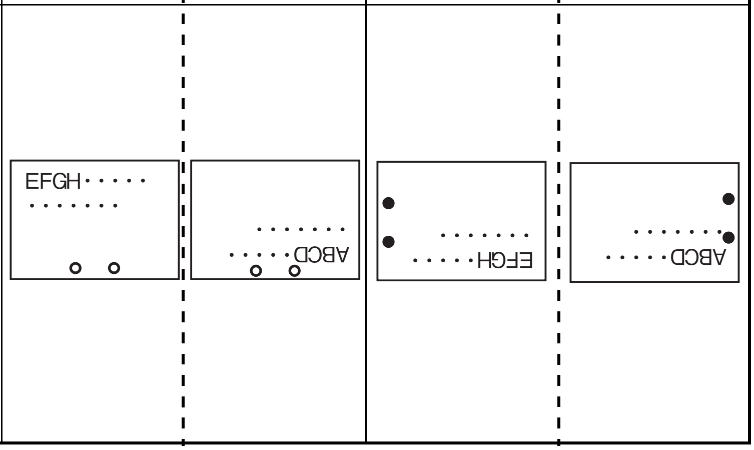
とじ穴のある用紙など、用紙のセット方向を常に同じ向きにして使いたい場合は、プリンタドライバの［印刷オプション］ダイアログの「用紙のセット方向を基準にする」のチェックを☑にします。（フィニッシャーでパンチ・ステープルを行う場合はチェック☐で固定となります。）

参照　「用紙のセット方向を基準にする」については、プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

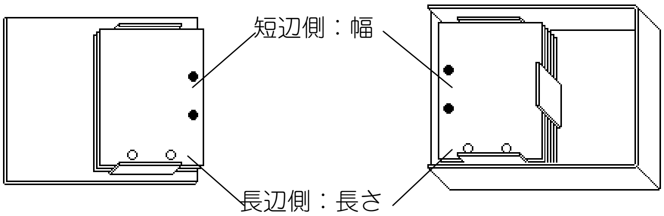
このときの、用紙のセット方向と印刷方向は次のとおりです。
・A4、B5、レター、はがきサイズの用紙の場合（用紙のセット方向基準）

用紙セット方向	印刷の向き（Nup）	印刷面	とじしろ位置			
			長辺とじ（左または上）（*1）		短辺とじ（上または左）（*1）	
			排紙した状態 排紙方向→	右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態	排紙した状態 排紙方向→	右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態
			裏	表	裏	表
・給紙トレイ 給紙方向→  セット時の上面が、片面印刷の裏側、両面印刷の表側になります。	縦（1up/4up/16up） 横（2up/8up）	片面				
		両面（*3）				
・給紙カセット（*2） ←給紙方向  セット時の上面が、片面印刷の表側、両面印刷の裏側になります。	横（1up/4up/16up） 縦（2up/8up）	片面				
		両面（*3）				

・A3、B4、A5、リーガル、ユーザ定義サイズ(*4)の用紙の場合(用紙のセット方向基準)

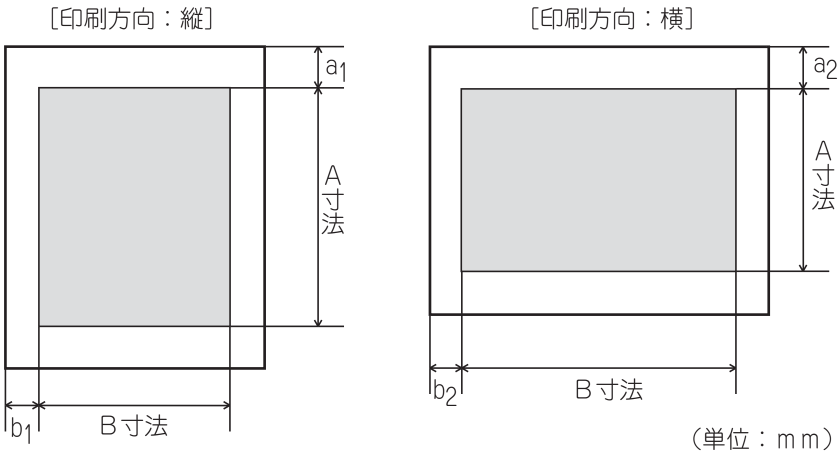
用紙セット方向	印刷の向き(Nup)	印刷面	とじしろ位置 長辺とじ(左または上)(*1) 排紙した状態	とじしろ位置 長辺とじ(左または上)(*1) 右側の辺(点線側)を軸にして表に返した状態	とじしろ位置 短辺とじ(上または左)(*1) 排紙した状態	とじしろ位置 短辺とじ(上または左)(*1) 右側の辺(点線側)を軸にして表に返した状態
			排紙方向 裏	表	排紙方向 裏	表
・給紙トレイ 給紙方向 短辺とじ時のとじ穴  長辺とじ時のとじ穴	縦(1up/4up/16up) 横(2up/8up)	片面				
		両面(*3)				
セット時の上面が、片面印刷の裏側、両面印刷の表側になります。 ・給紙カセット(*2) 給紙方向 短辺とじ時のとじ穴	横(1up/4up/16up) 縦(2up/8up)	片面				
 長辺とじ時のとじ穴 セット時の上面が、片面印刷の表側、両面印刷の裏側になります。		両面(*3)				

*1：右または下とじの場合は、印刷イメージが 180 度回転するのでとじしろ位置は同じになります。
*2：はがきは給紙カセットにはセットできません。また、ユーザ定義サイズは給紙カセット3,4 にはセットできません。
*3：はがき、ユーザ定義サイズは、両面印刷できません。
*4：ユーザ定義サイズは、横長の用紙の場合も幅で指定した方が短辺、長さで指定した方が長辺となります。



印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。



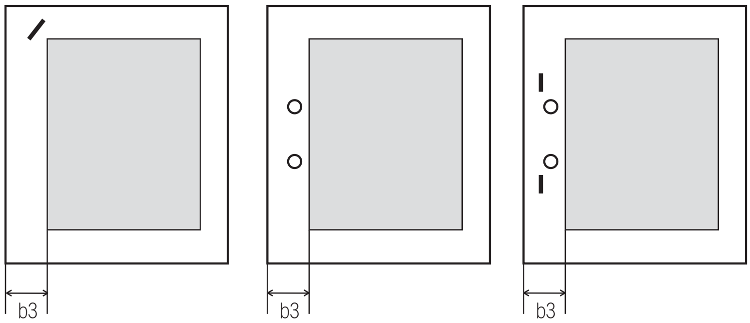
（単位：mm）

・ Printia XL ドライバ使用時
a1=a2=5mm、b1=b2=5mm

用紙方向	用紙サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

ガイド

・パンチやステープルを行う場合は、綴じ側の余白を 20mm 以上に設定することをお勧めします。



ステープル　　パンチ　　パンチ&ステープル

b3≧20mm

・パンチ・ステープルの位置精度はおおよそ以下のようになります。
- パンチ　　1.5mm 程度
- ステープル　　2.0mm 程度

・ESC/P モード使用時
a1=a2=8.5mm または 22mm(はがき :10mm)、b1=b2=5mm

用紙方向	用紙サイズ		A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	8.5mm 時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22mm 時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
	B 寸法		287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	8.5mm 時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22mm 時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B 寸法		410	345	287	247	200	345	269	138

アフターサービスについて

- お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より６ケ月です。詳細は保証書をご覧ください。
- 本製品の定期交換部品、補修用性能部品の最低保有期間は製造終了後５年です。ご了承ください。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- 本製品は、純正のトナーカートリッジやドラムカートリッジ使用時に最高の性能が得られるように設計されています。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。純正品以外のカートリッジご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご留意ください。
- 故障の際は下記にご連絡ください。
  「ハードウェア修理相談センター」
  通話料無料　0120-422-297
  受付時間：平日 9:00 ～ 17:00
  （土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）
- プリンタのご使用に関する技術的なご相談は、下記にご連絡ください。
  『富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口』
  通話料無料　0120-950-222
  受付時間：平日 9:00 ～ 17:00
  （土曜・日曜・祝日およびメンテナンス日を除く）

●使用済みカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みカートリッジを無償で回収しております。下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

通話料無料　0120-300-693
月曜～金曜　8:40 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30
（祝日・年末年始を除く）

●修理装置の返却準備 ～お客様へ～

「ハードウェア修理相談センター」に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、以下の手順で準備いただきますようお願い申し上げます。

1 設定の一覧を印刷する

オペレータパネルで次の操作を行い、設定を復元するために必要な情報を印刷します。

① 印刷可能状態

↓「メニュー」スイッチ押下

```
メニュー
▶ システム　インサツ　　　　▼
```

②

↓「▼」スイッチ押下

```
　システム インサツ
▶ セッテイ ノ インサツ　　　▲
```

↓「設定」スイッチ押下

↓

③ 印刷終了

```
　システム インサツ
▶ セッテイ ノ インサツ　　　▲
```

2 拡張給紙ユニットを取り外す

参照 「拡張給紙ユニットを取り外す」（80 ページ）参照

⚠ 注意	けが	・必ず 3 人で行ってください。 ・プリンタの電源スイッチを切り、ケーブル類（電源コード、パラレルケーブル、USB ケーブル、LAN ケーブル）を外してから行ってください。

本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

索 引

ページプリンタ　XL-9500

取扱説明書

B5WY-0901-04-00

発行日　2008 年 4 月

発行責任　富士通株式会社

Printed in China